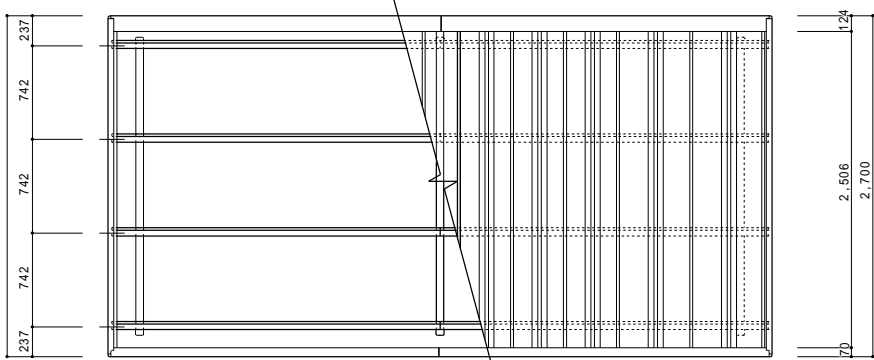
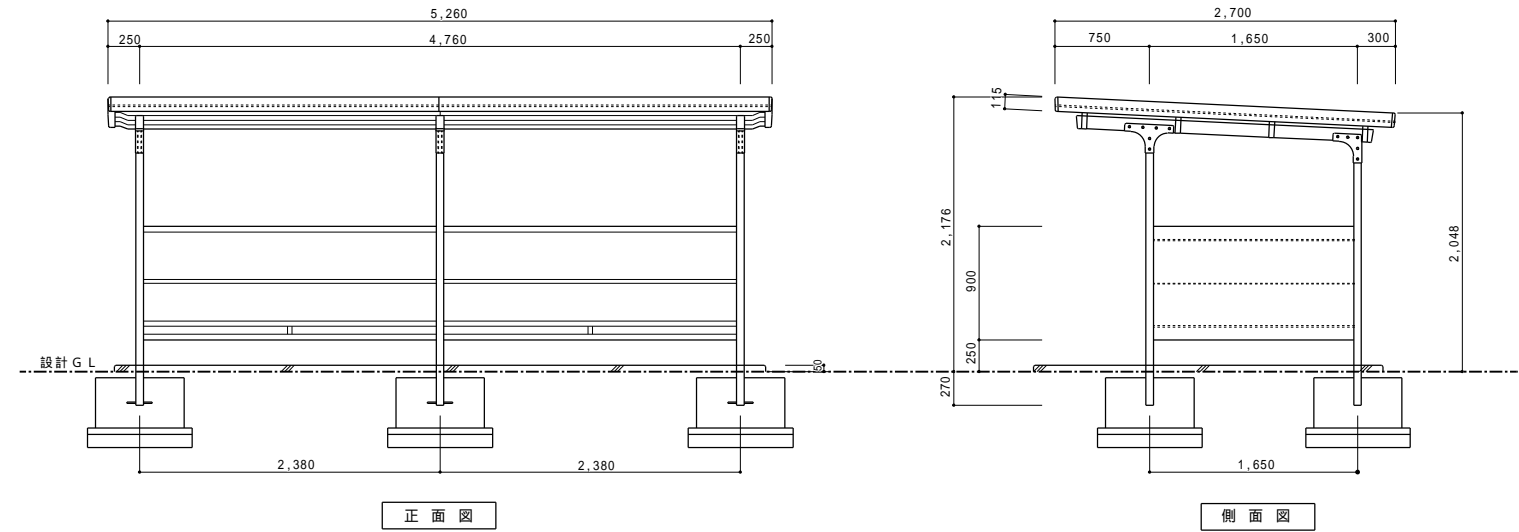
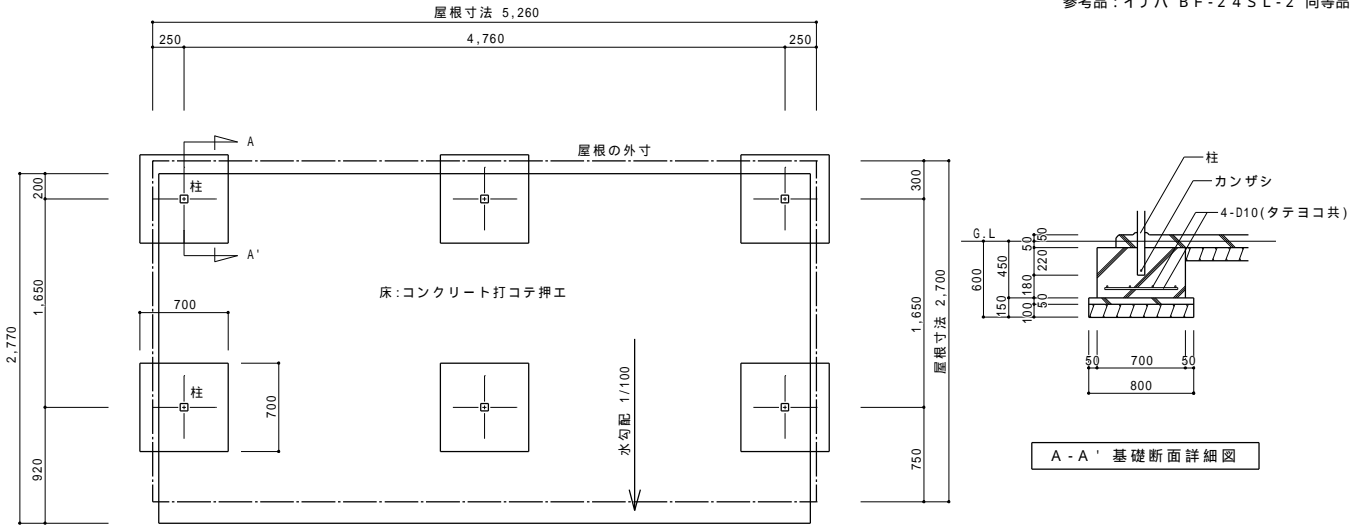


参考品：イナバ B F - 2 4 S L - 2 同等品



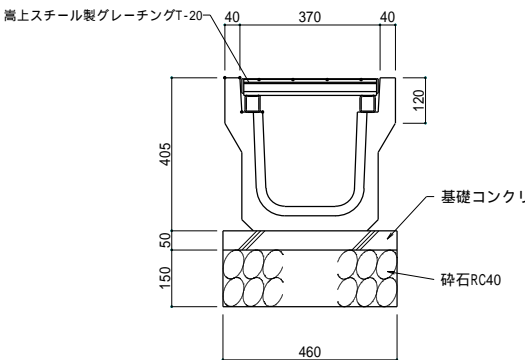
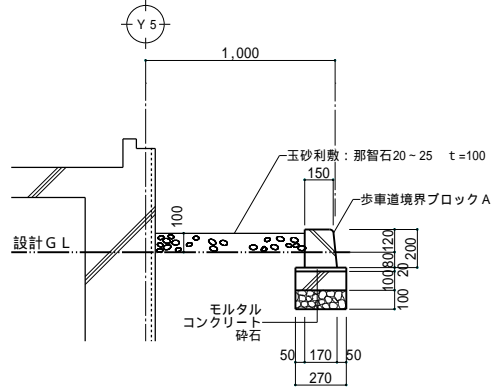
品番	部 品 名	材料(材質)	単位	mm
1	柱	PZ	2.3	
2	梁	F12	2.3	
3	母屋	F12	2.3	
4	梁中屋根板	Y10	1.0	
5	腰パネル	F12	0.6	
6	屋根パネル	Y10	0.5	
7	妻板	Y10	0.7	
8	鼻隠シ	Y10	0.7	
9	プレート	F12	2.3	
10	車止メ棒	F12	1.2	

PZ 一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466)
F12 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)
Y10 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)



犬走り玉砂利敷詳細図

コンクリート側溝250型詳細図

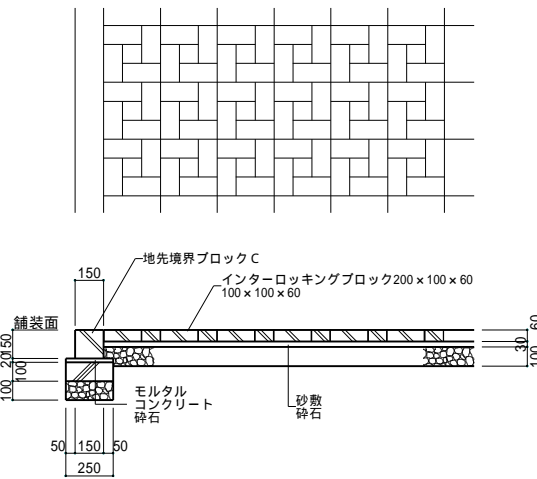
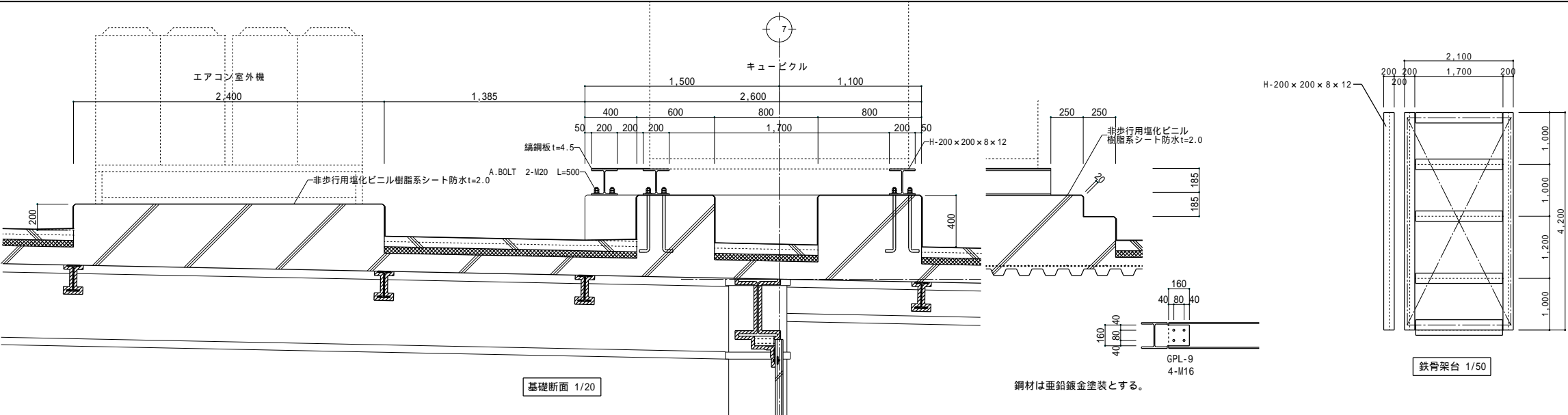


2階屋上 機械基礎詳細図

A1 S=1/20
A3 S=1/40

インターロッキングブロック詳細図

A1 S=1/20
A3 S=1/40



備考欄

青森県五所川原市金木町中柏木館石250番地
日 東 綜 合 株 式 有 限 公 司
代表取締役 山中政広
TEL 0173-53-2481 FAX 0173-53-2483

管 理 建 築 士

一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号
大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一

承認

設計

担当

縮尺

各詳細図による

設計年月日

H30.12

工事名称

金木庁舎新築(建築)工事

図面名称

雑詳細図 5

NO.

A - 61

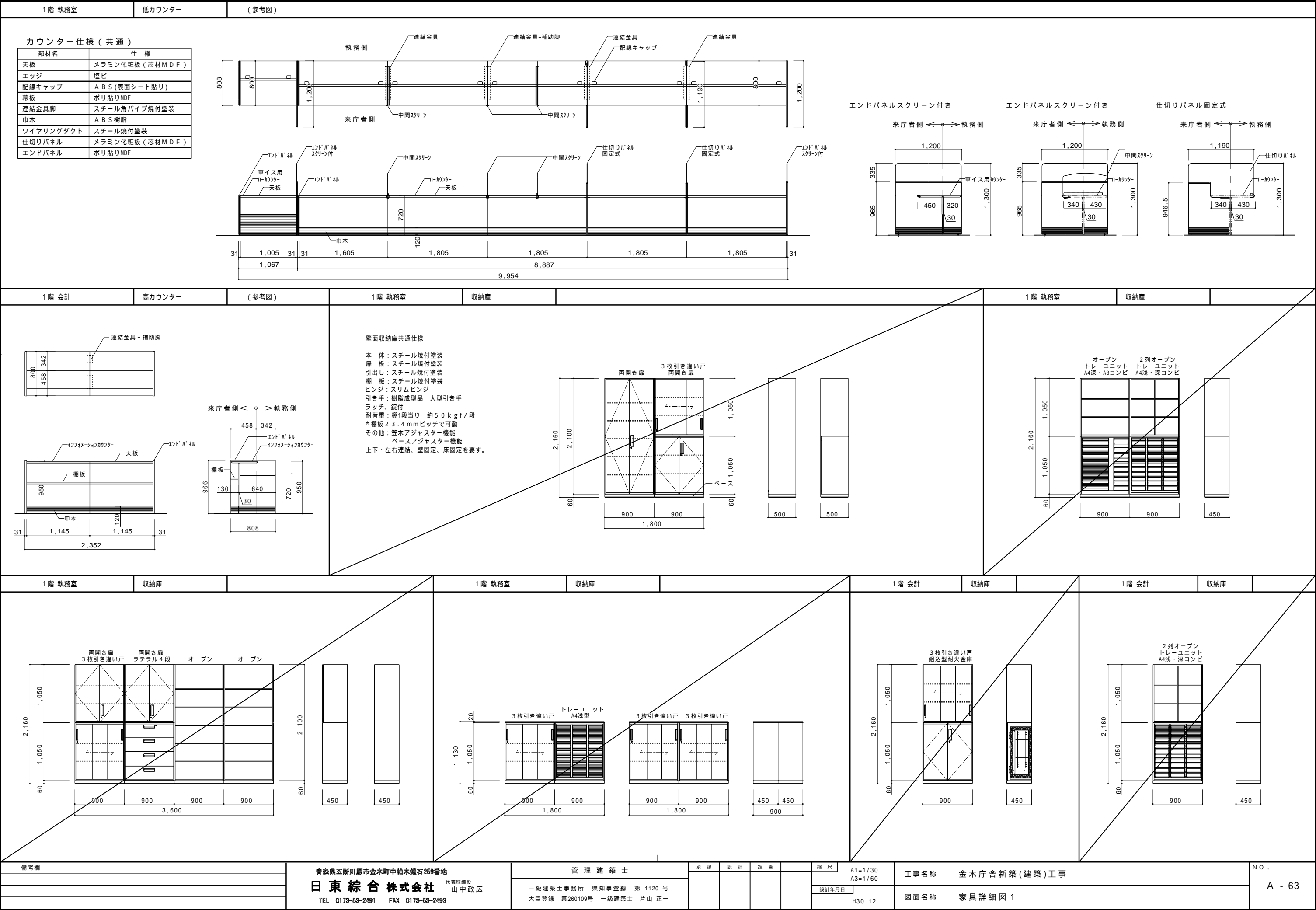


1 階サインレイアウト図 S=1/150



2 階サインレイアウト図 S=1/150

凡 例		
記 号	仕 様	数 量
	室名サイン 平付型 (アルミ、80×254)、文字	27
	室名サイン 多機能型 [空室/使用中] (アルミ、264×122)	4
	室名サイン 平付型 (アルミ、250×254)、イラスト	6
	室名サイン 平付型 (アルミ、300×304)、イラスト	2
	室名サイン 突出型 (アルミ、250×254)、イラスト	6
	室名サイン 突出型 (アルミ、250×254)、文字	2
階	階数表示板 平付型 (アルミ、200×203)	2
課名1	課名サイン (吊下) W10000	1
課名2	課名サイン (吊下) W2500	1
館内	館内案内板 (1200×900)	1
	シャッター部分カッティングシート文字切貼 (150角/字)	37



1階 執務室

収納庫

1階 執務室

収納庫

1階 会計

収納庫

1階 会計

収納庫

両開き扉

3枚引き違い戸

両開き扉

ラテラル4段

オープン

オープン

2,160

1,050

60

900

900

900

900

3,600

450

450

3枚引き違い戸

トレ-ユニット

A4浅型

3枚引き違い戸

3枚引き違い戸

1,130

20

1,050

60

900

900

1,800

900

450

450

900

3枚引き違い戸

組込型耐火金庫

2,160

1,050

60

900

450

2列オープン

トレ-ユニット

A4浅・深コンビ

2,160

1,050

60

900

450

備考欄

青森県五所川原市金木町中柏木鐵石259番地

代表取締役 山中政広

日 東 綜 合 株 式 会 社

TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493

管 理 建 築 士

一級建築士事務所 県知事登録 第1120号

大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一

縮 尺

A1=1/30

A3=1/60

設計年月日

H30.12

工事名称

金木庁舎新築(建築)工事

図面名称

家具詳細図1

NO.

A - 63

1階 書庫		複柱書架（複式）		（参考図）		1階 書庫		複柱書架（単式）		（参考図）		部 品 名		材 質		備 考																																																																									
						<table><tr><td>部 品 名</td><td>材 質</td><td>備 考</td></tr><tr><td>支 柱</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>天 板</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>棚 板</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>棚 受</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>ブ レ - ス</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>ビ - ム</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>ベ - ス</td><td>スチ-ル</td><td>メッキ</td></tr><tr><td>側 幕 板</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>背面ブレース</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>中間ブレース</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr></table> <p>棚板1枚あたり耐荷重：7 8 4 N（約 8 0 k g f）</p>						部 品 名	材 質	備 考	支 柱	スチ-ル	焼付塗装	天 板	スチ-ル	焼付塗装	棚 板	スチ-ル	焼付塗装	棚 受	スチ-ル	焼付塗装	ブ レ - ス	スチ-ル	焼付塗装	ビ - ム	スチ-ル	焼付塗装	ベ - ス	スチ-ル	メッキ	側 幕 板	スチ-ル	焼付塗装	背面ブレース	スチ-ル	焼付塗装	中間ブレース	スチ-ル	焼付塗装							<table><tr><td>部 品 名</td><td>材 質</td><td>備 考</td></tr><tr><td>支 柱</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>天 板</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>棚 板</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>棚 受</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>ブ レ - ス</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>ビ - ム</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>ベ - ス</td><td>スチ-ル</td><td>メッキ</td></tr><tr><td>側 幕 板</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>背面ブレース</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>中間ブレース</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr></table> <p>棚板1枚あたり耐荷重：7 8 4 N（約 8 0 k g f）</p>						部 品 名	材 質	備 考	支 柱	スチ-ル	焼付塗装	天 板	スチ-ル	焼付塗装	棚 板	スチ-ル	焼付塗装	棚 受	スチ-ル	焼付塗装	ブ レ - ス	スチ-ル	焼付塗装	ビ - ム	スチ-ル	焼付塗装	ベ - ス	スチ-ル	メッキ	側 幕 板	スチ-ル	焼付塗装	背面ブレース	スチ-ル	焼付塗装	中間ブレース	スチ-ル	焼付塗装
部 品 名	材 質	備 考																																																																																							
支 柱	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
天 板	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
棚 板	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
棚 受	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
ブ レ - ス	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
ビ - ム	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
ベ - ス	スチ-ル	メッキ																																																																																							
側 幕 板	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
背面ブレース	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
中間ブレース	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
部 品 名	材 質	備 考																																																																																							
支 柱	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
天 板	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
棚 板	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
棚 受	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
ブ レ - ス	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
ビ - ム	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
ベ - ス	スチ-ル	メッキ																																																																																							
側 幕 板	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
背面ブレース	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
中間ブレース	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
1階 倉庫		タイヤラック		（参考図）		1階 倉庫		重量ラック		（参考図）		1階 倉庫		重量ラック		（参考図）																																																																									
2階 物品庫		ノンボルト中量ラック		（参考図）		部 品 名		材 質		備考及び図番																																																																															
						<table><tr><td>部 品 名</td><td>材 質</td><td>備考及び図番</td></tr><tr><td>支柱</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>棚板</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>上段棚受</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>棚受</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>ビ-ム</td><td>スチ-ル</td><td>焼付塗装</td></tr><tr><td>ベ-ス</td><td>ポリエチレン</td><td></td></tr><tr><td>ファスナー</td><td>6ナイロン</td><td></td></tr></table> <p>*棚板は5 0 mmピッチで段替え可能 *耐荷重： 約5 0 0 k g f / 段 約2 0 0 0 k g f / 連</p>						部 品 名	材 質	備考及び図番	支柱	スチ-ル	焼付塗装	棚板	スチ-ル	焼付塗装	上段棚受	スチ-ル	焼付塗装	棚受	スチ-ル	焼付塗装	ビ-ム	スチ-ル	焼付塗装	ベ-ス	ポリエチレン		ファスナー	6ナイロン																																																							
部 品 名	材 質	備考及び図番																																																																																							
支柱	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
棚板	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
上段棚受	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
棚受	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
ビ-ム	スチ-ル	焼付塗装																																																																																							
ベ-ス	ポリエチレン																																																																																								
ファスナー	6ナイロン																																																																																								
備考欄		青森県五所川原市金木町中泊木鐘石259番地 日 東 綜 合 株 式 有 限 公 司 TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493				管 理 建 築 士		承認		設計		担当		縮 尺		工事名称		金木庁舎新築(建築)工事		NO.																																																																					
						一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一								A1=1/30 A3=1/60						A - 64																																																																					
														設計年月日		図面名称		家具詳細図 2																																																																							
														H30.12																																																																											

1階 図書館		木製書架A型 直立単式7連7段		(参考図)																									
<div>木製書架A型共通仕様</div> <table><tr><th>部品名</th><th>仕 様</th></tr><tr><td>天板</td><td>合板フラッシュ (ロールコア) 両面突板</td></tr><tr><td>見出部</td><td>単材+合板、見付突板、ケンドン式</td></tr><tr><td>側板</td><td>合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板</td></tr><tr><td>中帆立</td><td>合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板</td></tr><tr><td>可動棚</td><td>積層合板、両面突板、木口4t挽板</td></tr><tr><td>背板</td><td>合板フラッシュ、見付突板</td></tr><tr><td>地板</td><td>積層合板、上面突板、木口4t挽板、スライド式</td></tr><tr><td>巾木</td><td>積層合板、見付突板</td></tr><tr><td>棚柱</td><td>アルミ合金押出型材 (アルマイト加工) 可動P=12.5mm</td></tr><tr><td>ダボ付棚受金具</td><td>ステンレス1.5t (SUS304)</td></tr><tr><td>補強金具</td><td>スチール1.6t、クロメートメッキ</td></tr></table> <div></div>						部品名	仕 様	天板	合板フラッシュ (ロールコア) 両面突板	見出部	単材+合板、見付突板、ケンドン式	側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板	中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板	可動棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板	背板	合板フラッシュ、見付突板	地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板、スライド式	巾木	積層合板、見付突板	棚柱	アルミ合金押出型材 (アルマイト加工) 可動P=12.5mm	ダボ付棚受金具	ステンレス1.5t (SUS304)	補強金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
部品名	仕 様																												
天板	合板フラッシュ (ロールコア) 両面突板																												
見出部	単材+合板、見付突板、ケンドン式																												
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板																												
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板																												
可動棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板																												
背板	合板フラッシュ、見付突板																												
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板、スライド式																												
巾木	積層合板、見付突板																												
棚柱	アルミ合金押出型材 (アルマイト加工) 可動P=12.5mm																												
ダボ付棚受金具	ステンレス1.5t (SUS304)																												
補強金具	スチール1.6t、クロメートメッキ																												
1階 図書館		木製書架A型 直立単式5連7段		(参考図)																									
<div></div>																													
1階 図書館		木製書架A型 直立単式2連7段		(参考図)																									
<div></div>																													
備考欄		青森県五所川原市金木町中柏木館石259番地 日 東 綜 合 株 式 会 社 TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493		管 理 建 築 士 一級建築士事務所 奥知事登録 第 1120 号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一																									
		代表取締役 山中政広		承 認 設 計 担 当																									
				規 尺 A1=1/20 A3=1/40 設計年月日 H30.12																									
				工事名称 金木庁舎新築(建築)工事 図面名称 家具詳細図 3 (図 書 館)																									
				NO . A - 65																									

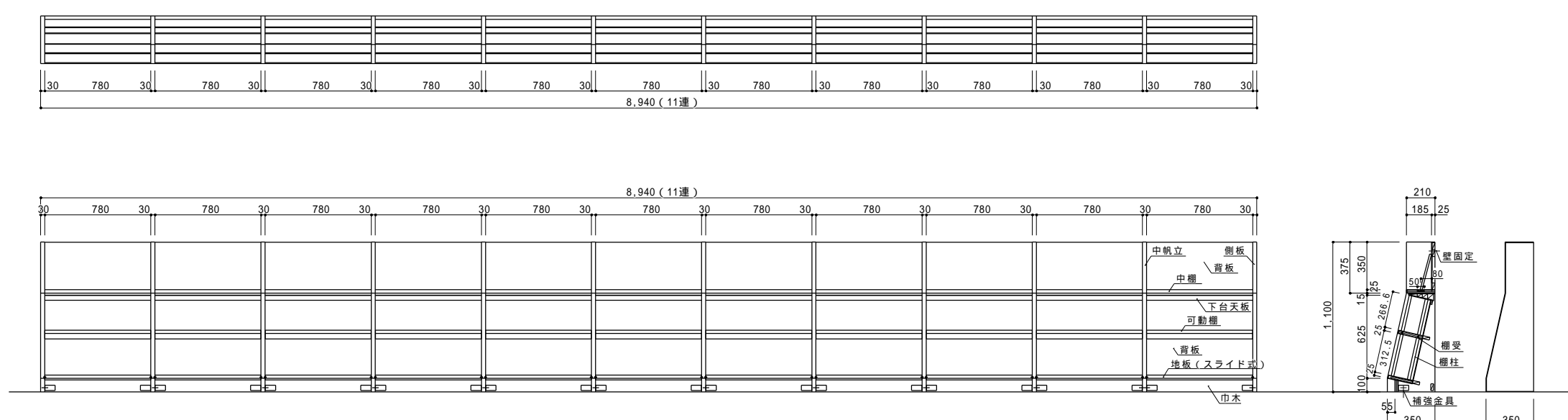
1階 図書館

木製窓下書架 傾斜単式11連3段

(参考図)

木製窓下書架共通仕様

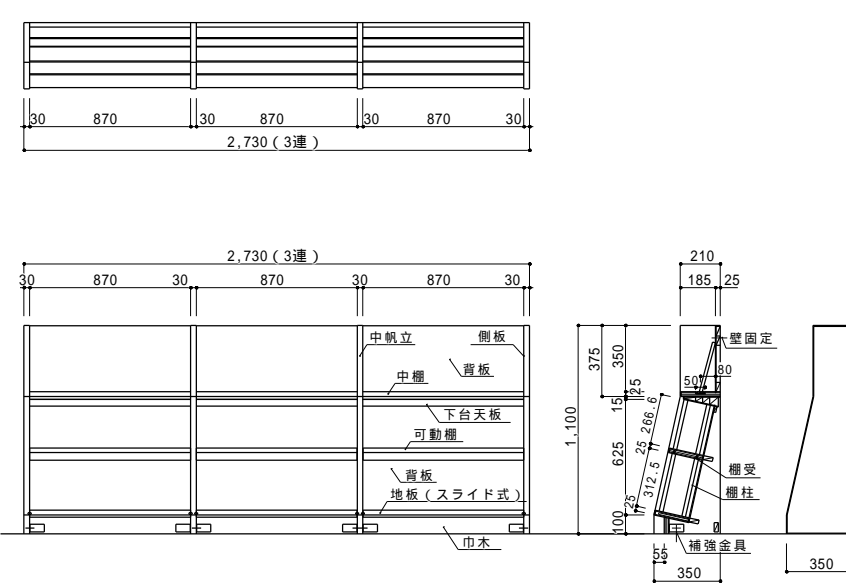
部品名	仕 様
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
中棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板、展示用ミゾ付
下台天板	ランバコア合板、下面突板、木口4t挽板
可動棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板、スライド式
巾木	積層合板、見付突板
背板	合板フラッシュ、見付突板、木口4 t 挽板
棚柱	アルミ合金押出型材 (アルマイト加工) 可動P=12.5mm
ダボ付棚受金具	ステンレス1.5t (SUS304)
補強金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
フィラー	4t化粧合板、現場にて削り合わせ



1階 図書館

木製窓下書架 傾斜単式3連3段

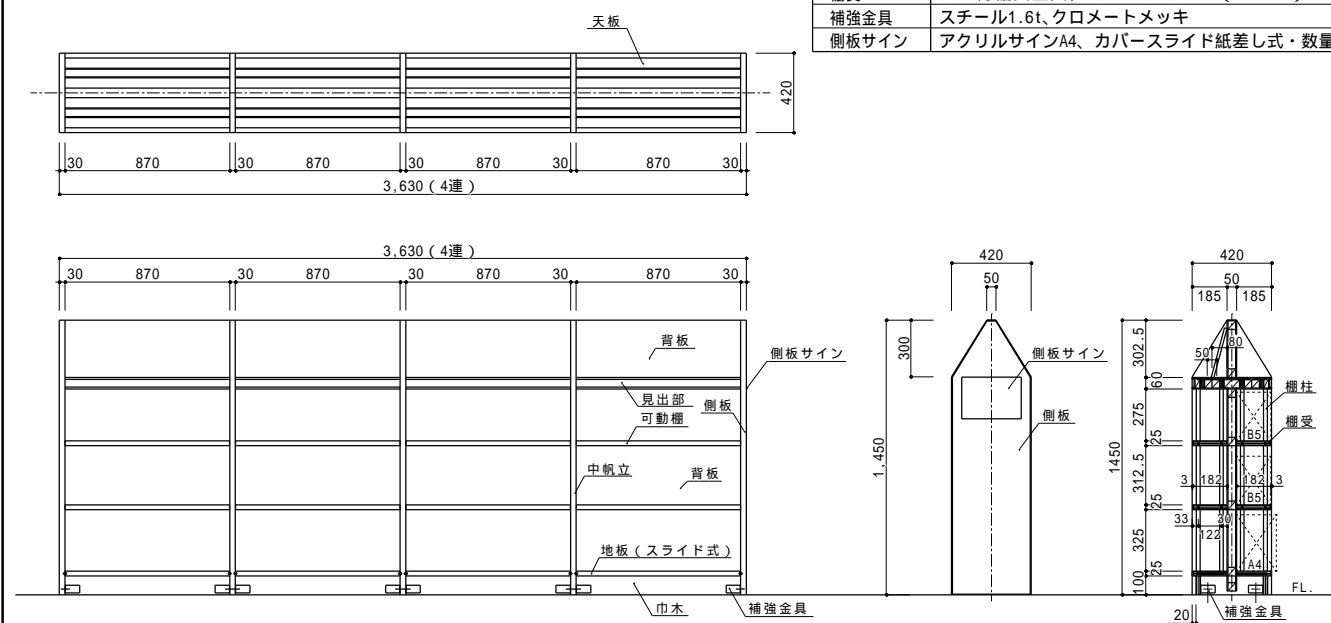
(参考図)



1階 図書館

木製書架A型 直立複式4連4段

(参考図)



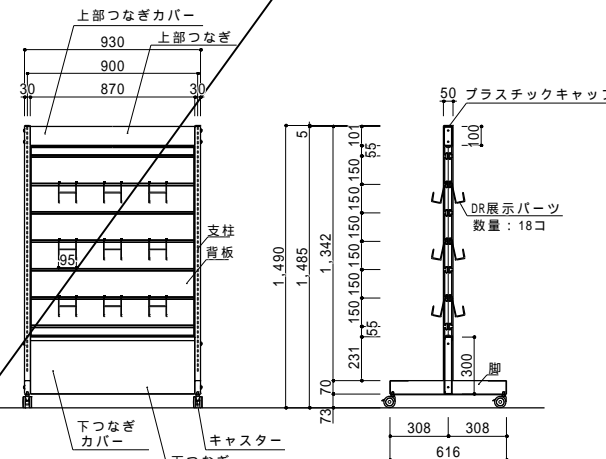
部品名	仕 様
天板	合板フラッシュ (ロールコア) 両面突板、展示用ミゾ付
見出部	単材+積層合板、見付突板、ケンドン式
側板	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
中帆立	合板フラッシュ、両面突板、木口4t挽板
可動棚	積層合板、両面突板、木口4t挽板
地板	積層合板、上面突板、木口4t挽板、スライド式
巾木	積層合板、見付突板
背板	合板フラッシュ、両面突板
棚柱	アルミ合金押出型材 (アルマイト加工) 可動P=12.5mm
棚受	ダボ付棚受金具、 ステンレス1.5t (SUS304)
補強金具	スチール1.6t、クロメートメッキ
側板サイン	アクリルサインA4、カバースライド紙差し式・数量：6台

1階 図書館

DRディスプレイウォール

(参考図)

部品名	仕 様
支柱	30×50×2.3 t スチール角パイプ
上部つなぎ	1.6 t 銅板
上部つなぎカバー	1 t 銅板
脚	30×70×2.3 t スチール角パイプ
背板	合板下地、表面コルクシート貼り
	DRアルミレール埋込 (両面)
キャスター	双輪キャスター、60 (ブラック) ストップバー付
DR展示パーツ	4 、ワイヤーブックスタンド 数量：18コ



備考欄

青森県五所川原市金木町中泊木鍬石259番地

日 東 綜 合 株 式 会 社

TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493

管 理 建 築 士

一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号
大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一

承認 設計 担当

縮 尺

A1=1/20
A3=1/40
設計年月日
H30. 12

工事名称

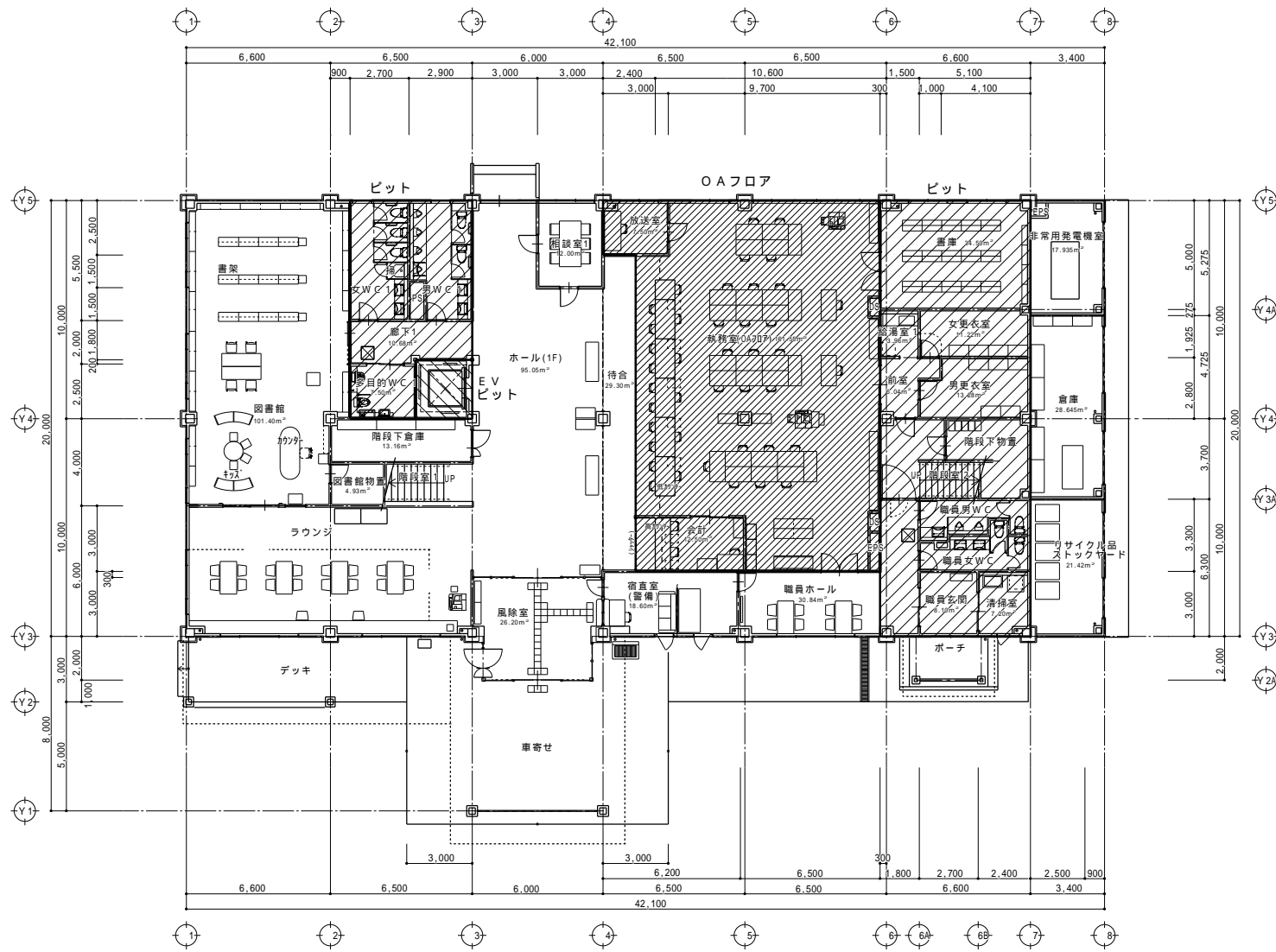
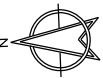
金木庁舎新築 (建築) 工事

図面名称

家具詳細図 4 (図書館)

NO .

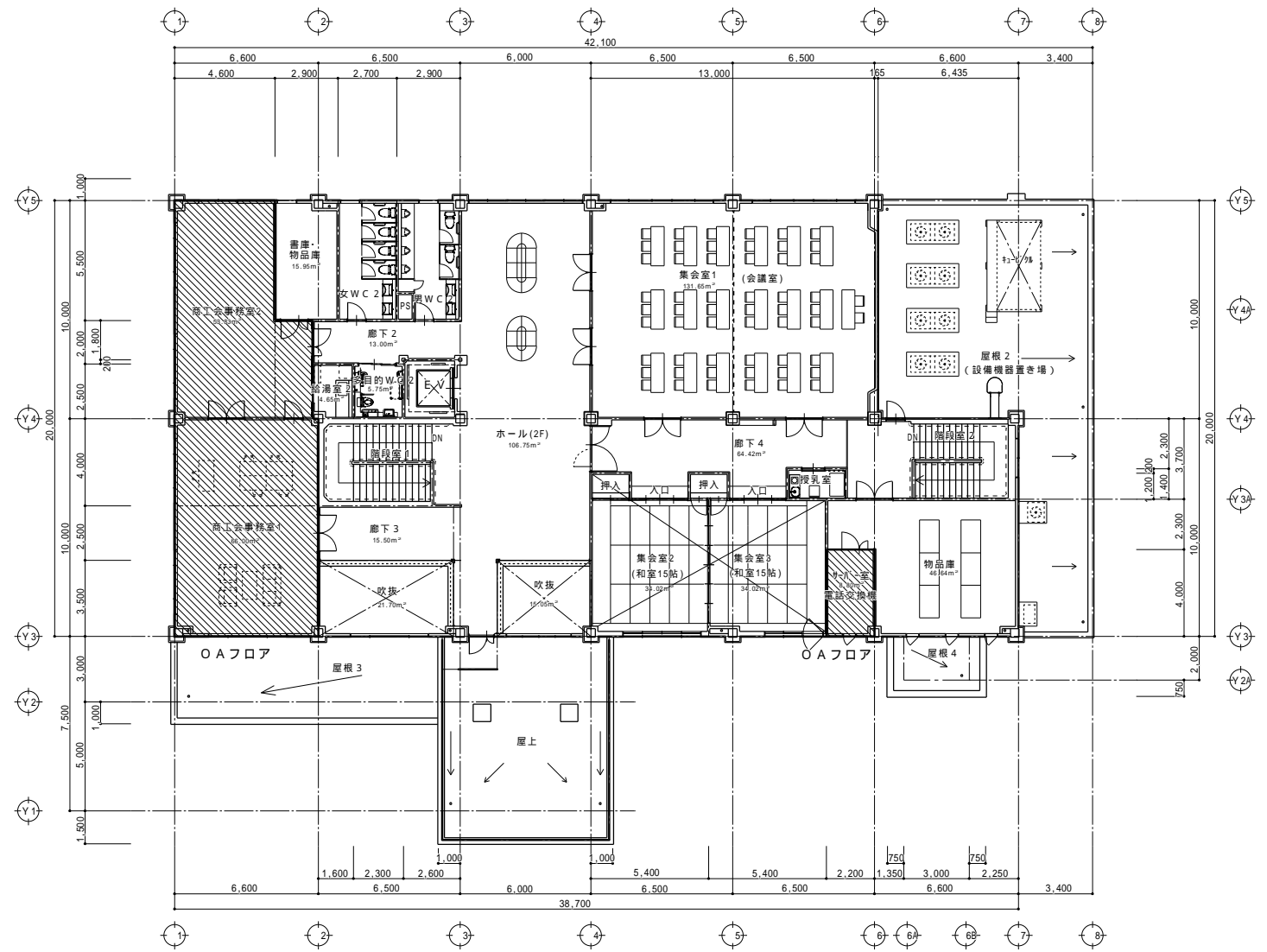
A - 66



1階ビット・OAフロア範囲図 S=1/150

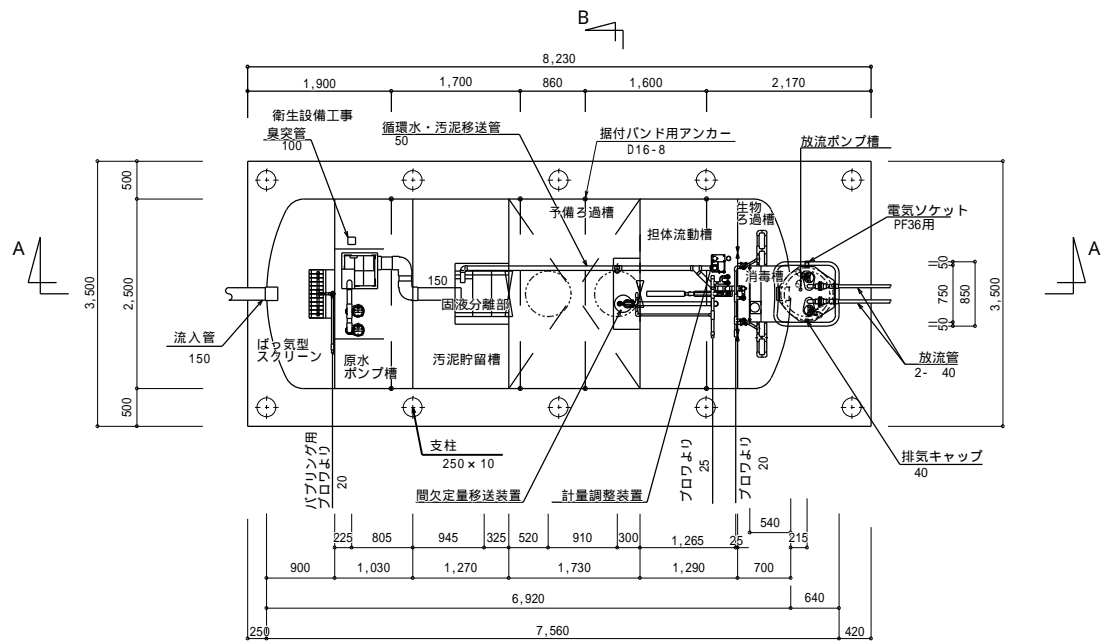
梁位置等は構造図参照

凡 例	
	ビット - FL-1,660
	ビット - FL-1,250
	OAフロア - FL-400 (-380)
	OAフロア - FL-110

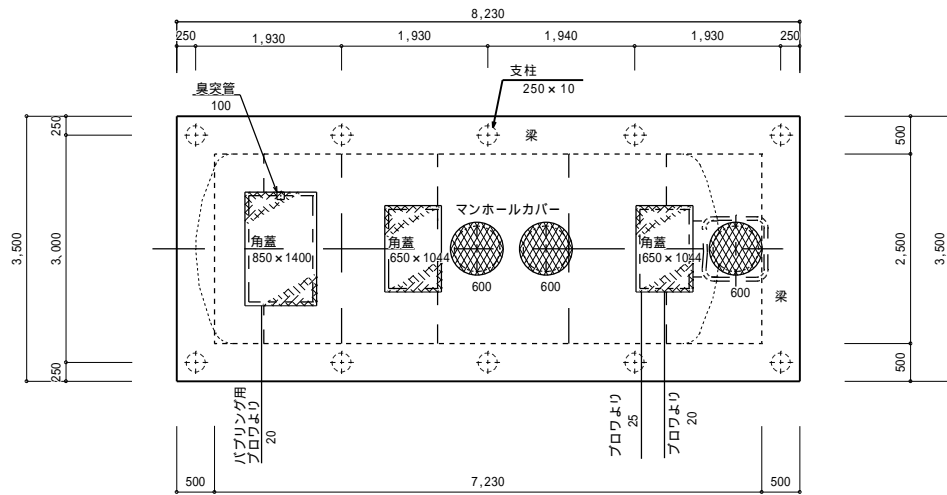


2階ビット・OAフロア範囲図 S=1/150

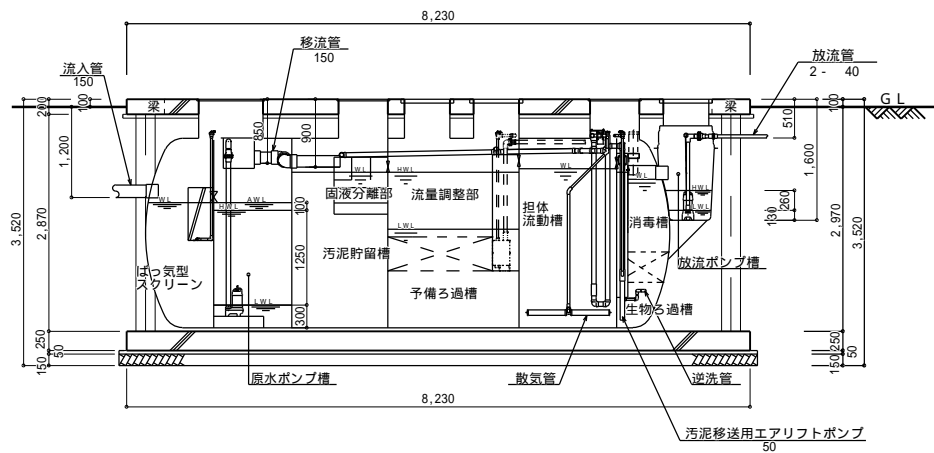
梁位置等は構造図参照



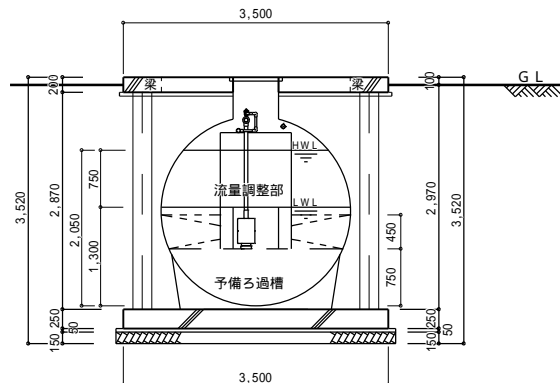
平面図 S=1/50



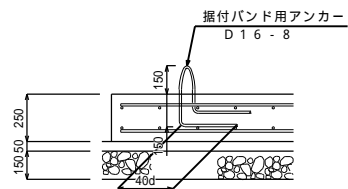
スラブ平面図 S=1/50



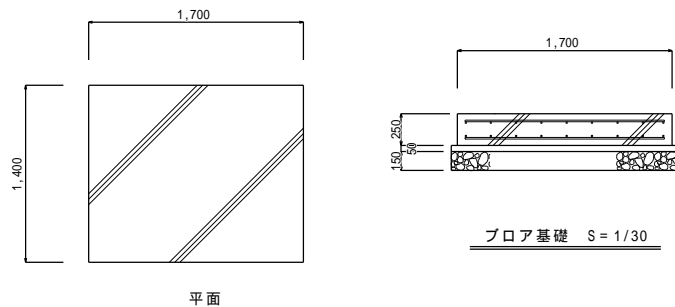
A-A断面図 S=1/50



B-B断面図 S=1/50

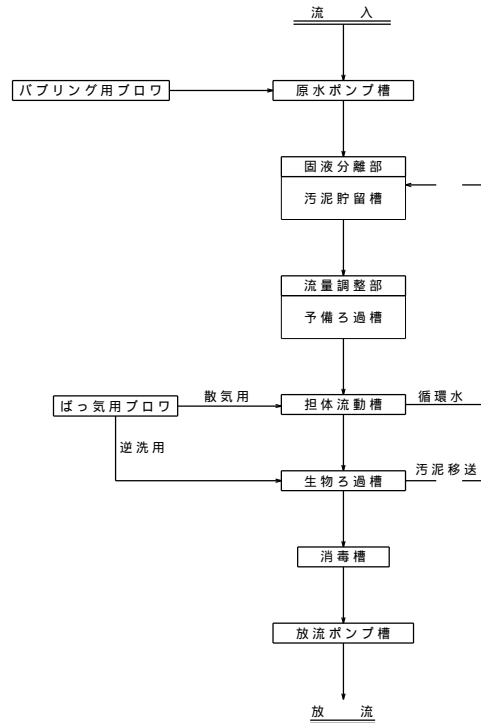


振付バンド用アンカー詳細 S=1/20



フロア基礎 S=1/30

フローシート



建築基準法第68条の2第1項の規定に基づき、同法施行令第35条第1項の大臣認定による固液分離型流量調整付担体流動生物ろ過槽方式		
型式適合認定	認定番号	型01Cafoa1004499
	認定年月日	平成28年10月7日
型式認定	認定番号	2-16-K-H-001-7
	認定年月日	平成28年11月1日
型式(参考)	カヤバ浄化槽 KAL-100A3型	
処理対象人員	100人	
日平均汚水量	17m ³ /日	
流入BOD	200mg/L	
放流BOD	20mg/L	

容量表	
<項目>	<設計容量/m ³ >
ばっ気型スクリーン	2.507
原水ポンプ槽	2.949
原水ポンプ槽総容量	5.456
<項目>	<設計容量/m ³ >
汚泥貯留槽	5.470
(固液分離部)	(0.187)
予備ろ過槽	7.452
(流量調整部)	(2.990)
担体流動槽	5.678
生物ろ過槽	2.054
消毒槽	0.219
放流ポンプ槽	0.099
浄化槽総容量	20.972

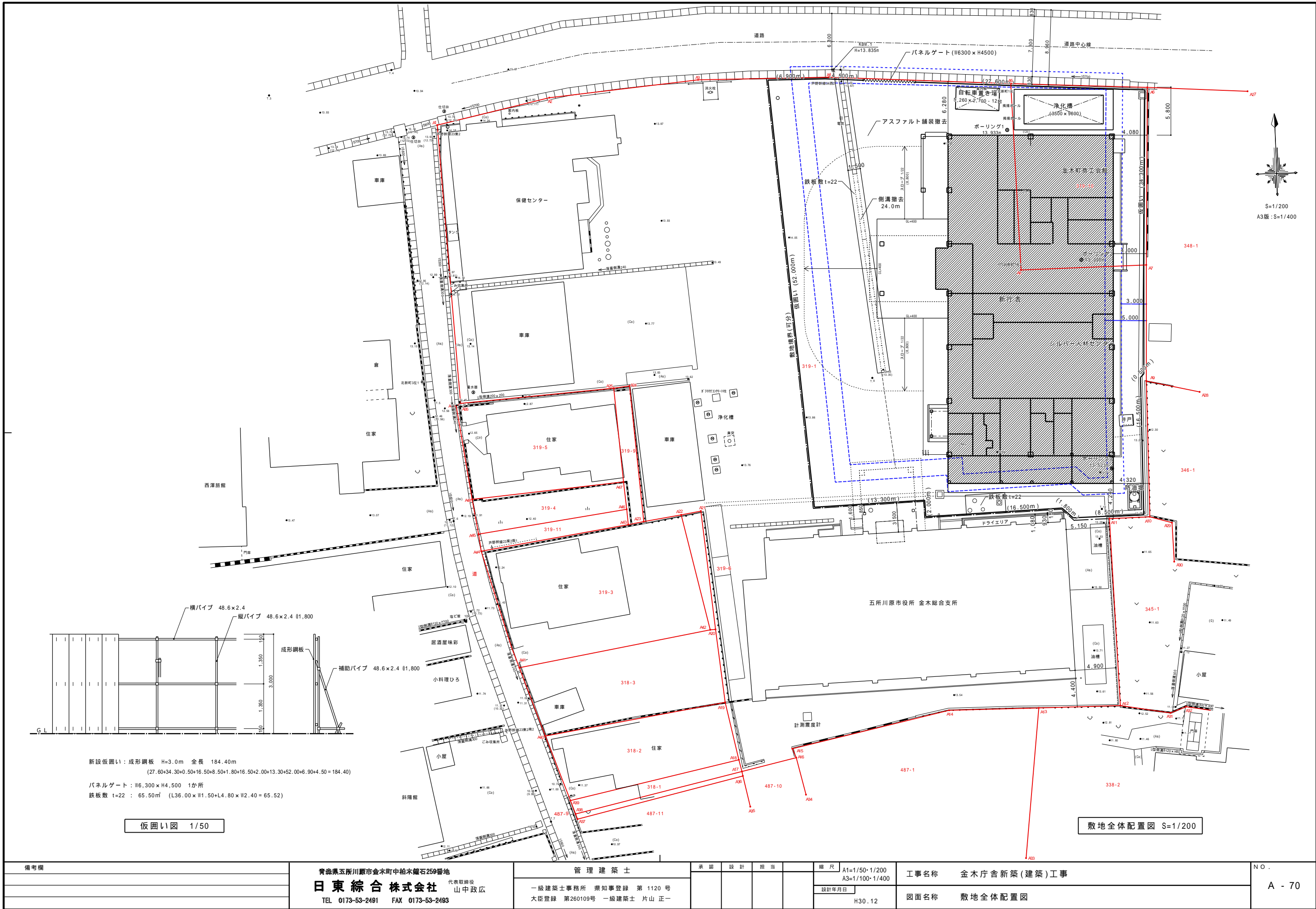
機器仕様表 (三相・200V)				
機器名	口径	出力	吐出量	台数
ばっ気用ブロウ	25A	0.75kw	0.50m ³ /min	1台
バブリング用ブロウ	20A	0.20kw	0.12m ³ /min	1台
原水ポンプ	50A	0.15kw	0.10m ³ /min	2台
放流ポンプ	40A	0.15kw	0.08m ³ /min	2台

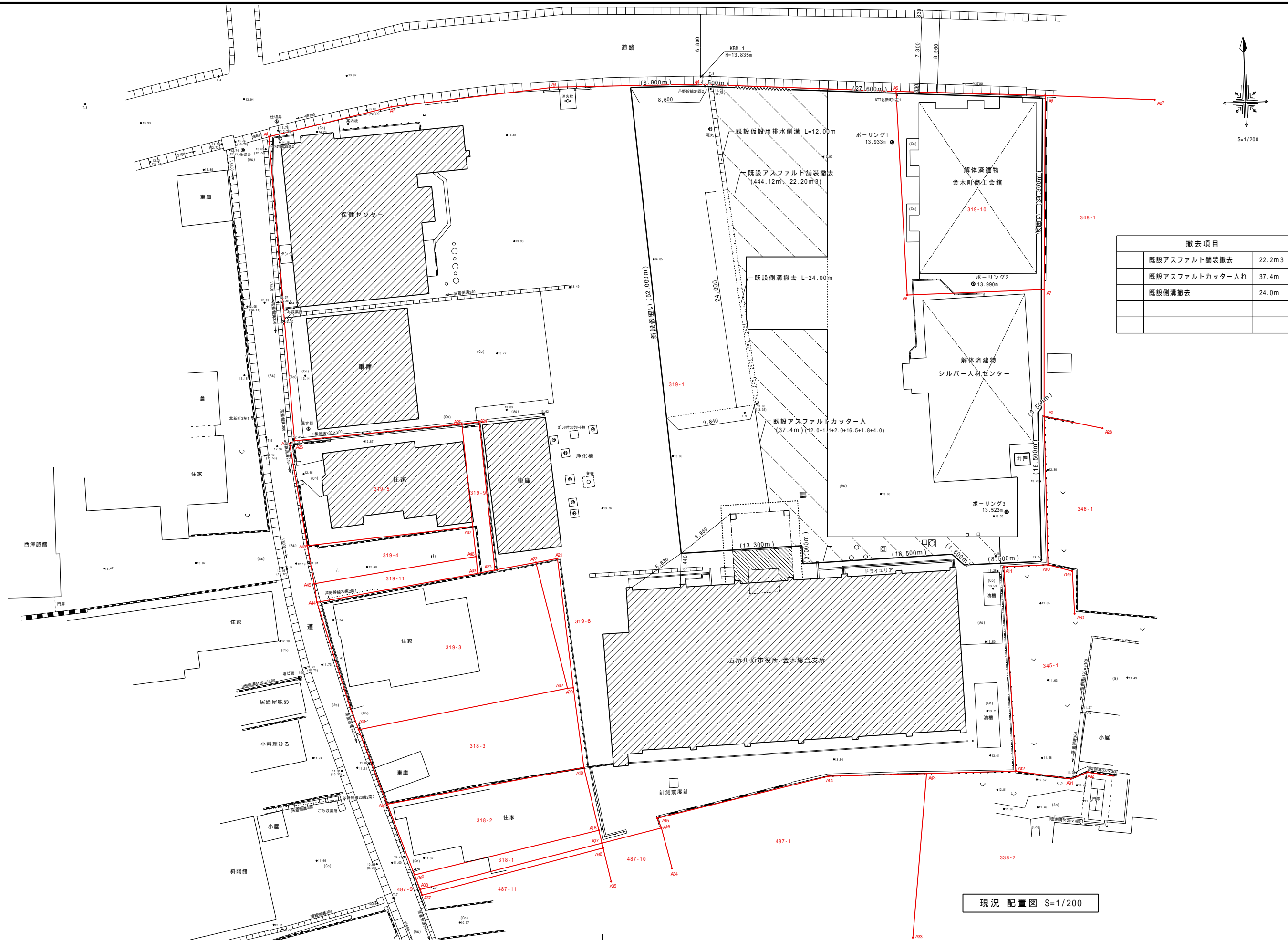
管理用水栓は10m以内に設置すること(浄化槽工事範囲外)
原水ポンプ着脱式の場合、ポンプ配置変更する場合あり
全高にはかさ上げ300H含む

上蓋仕様表					
名称	寸法	数量	材質	安全荷重	備考
マンホールカバー	600	3	鉄鋳	5.0kN	ボルト締め
角蓋	650×1044	2			
	850×1400	1			

配筋仕様表		
名称	記号	寸法 mm
スラブ		厚200
底版		厚250
支柱		250
梁		D 200 b 500
開口部補強筋		
タテ筋 1-D13 (上・下筋共) ヨコ筋 1-D13 (上・下筋共) ナメ筋 1-D10 (上・下筋共)		

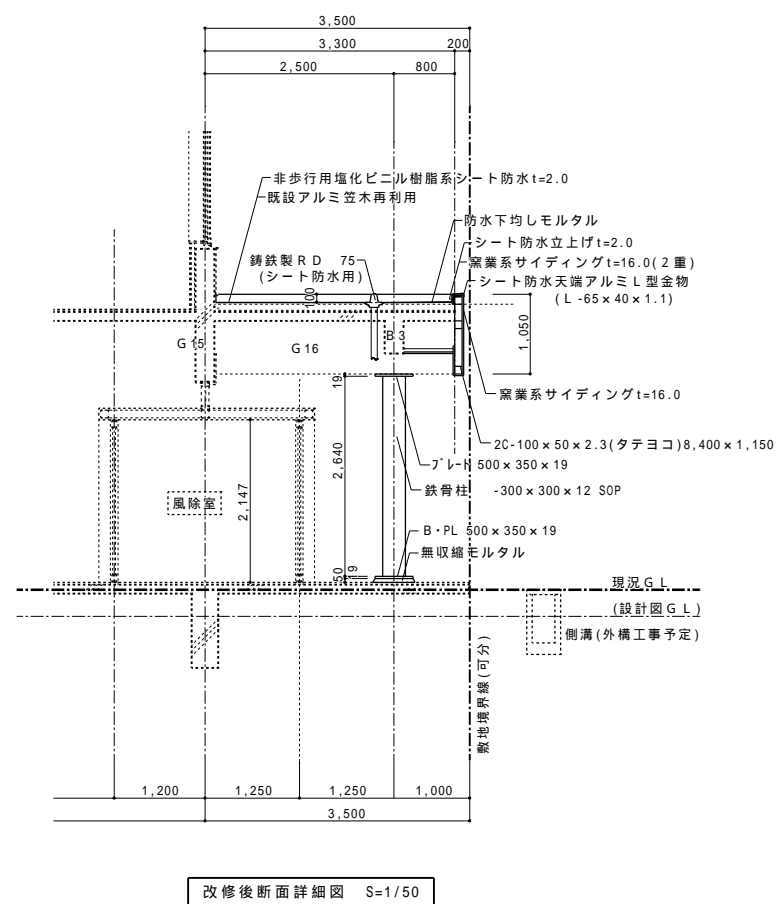
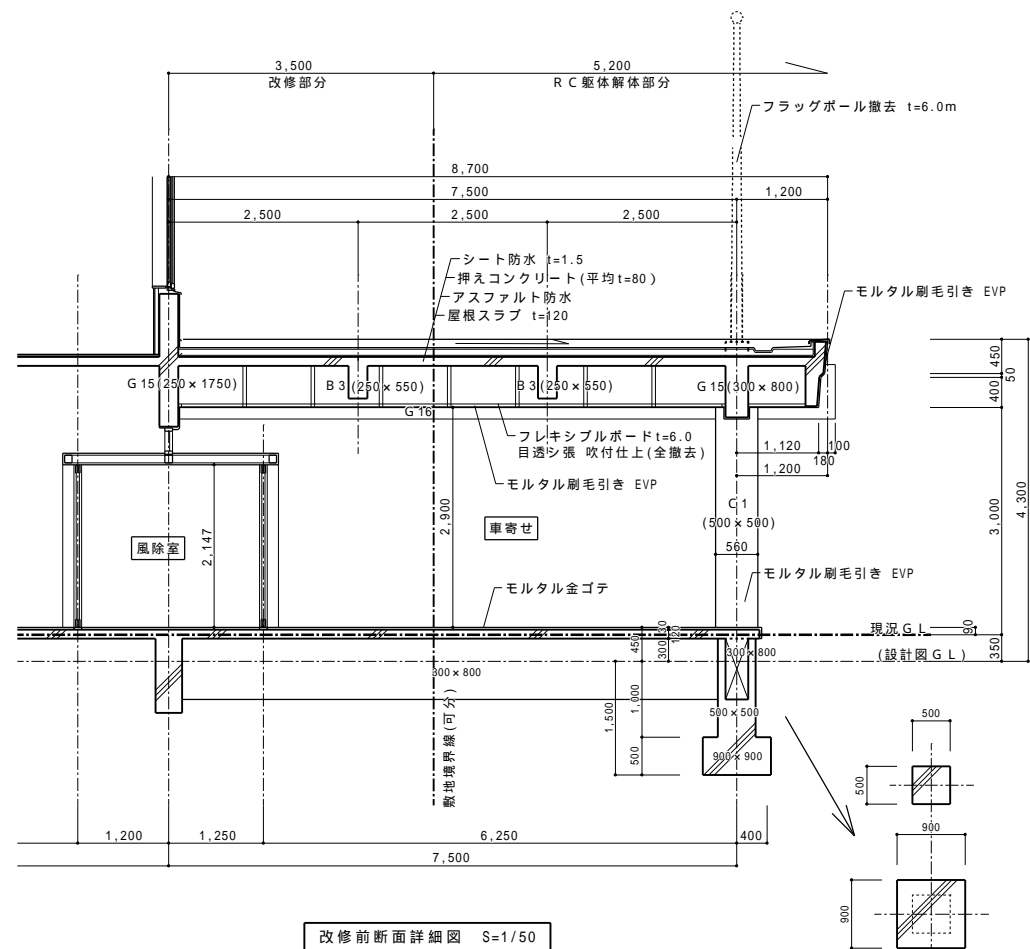
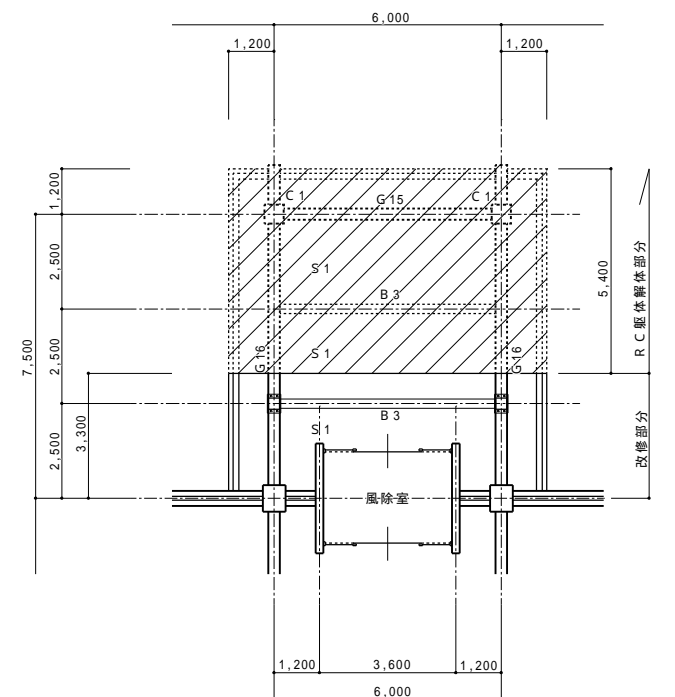
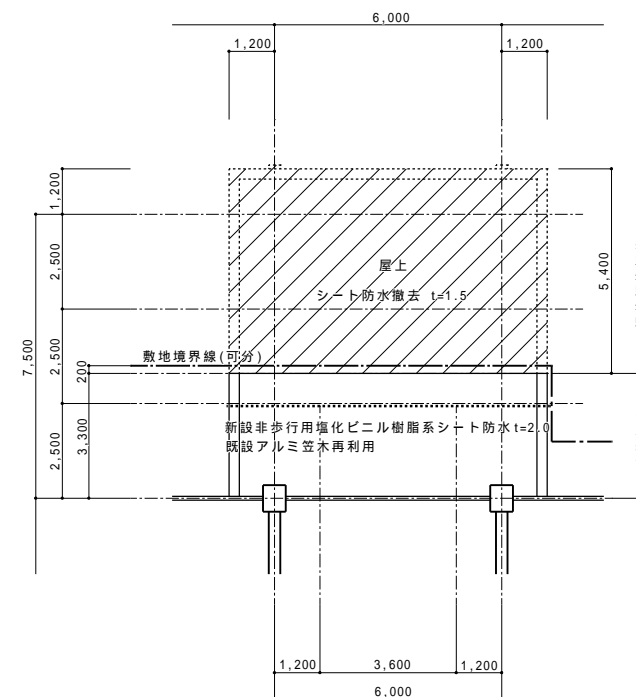
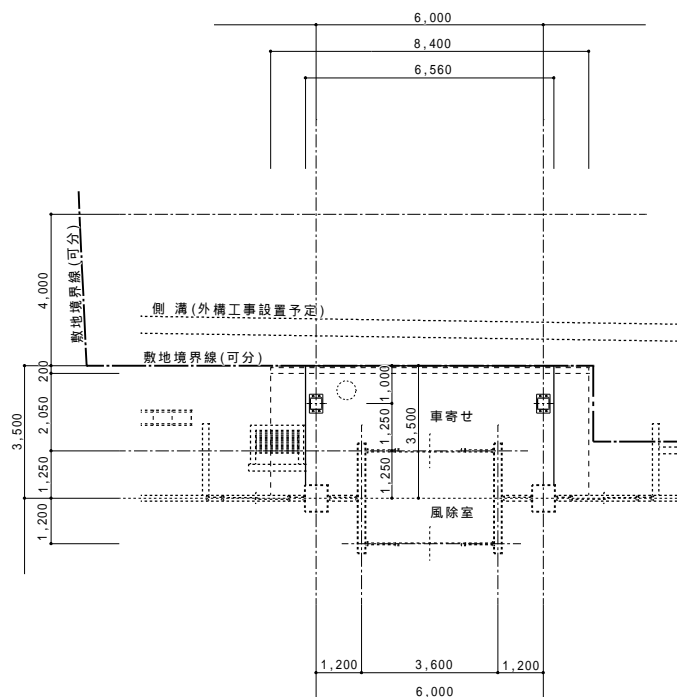
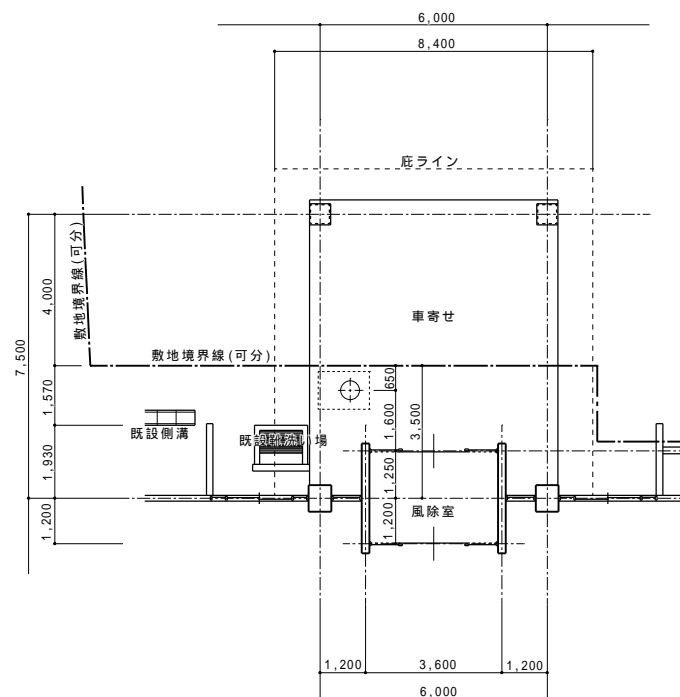
使用材料共通事項	
材料名称	強度 または 種類
鉄筋コンクリート	Fc: 21 N/mm ²
均しコンクリート	Fc: 18 N/mm ²
鉄筋	SD295A












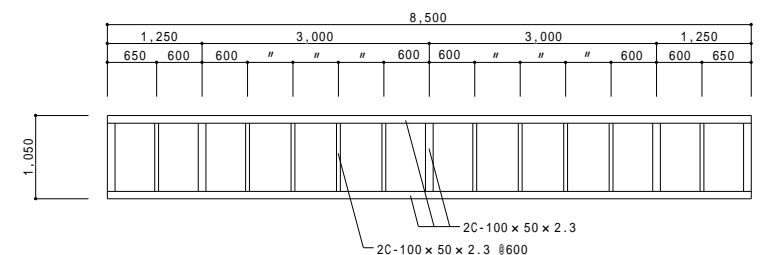
撤去項目		
既設アスファルト舗装撤去	22.2m ³	
既設アスファルトカッター入れ	37.4m	
既設側溝撤去	24.0m	

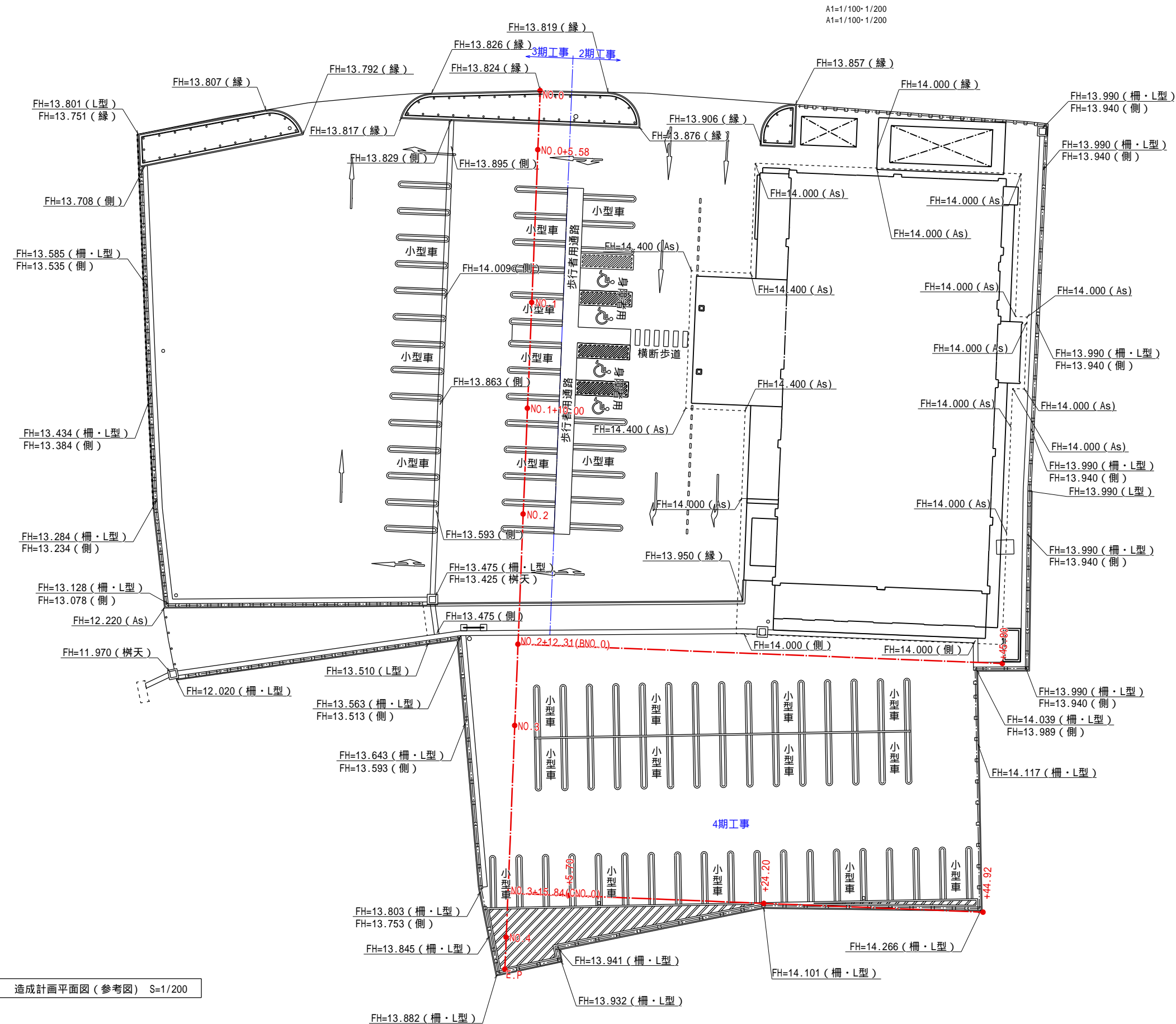
備考欄	青森県五所川原市金木町中柏木館石258番地		管 理 建 築 士		承認	設計	担当		縮 尺	A1=1/100・1/200	工事名称	金木庁舎新築(建築)工事	NO.	
	日 東 綜 合 株 式 有 限 公 司 代表取締役 山中政広 TEL 0173-53-2481 FAX 0173-53-2483		一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一							A3=1/200・1/400				
										設計年月日				
										H30.12				図面名称



符 号	新 設 柱
断 面	
サイズ	- 300 × 300 × 12 (BCR295)
上下プレート	500 × 350 × 19 (SN490B)
A・BOLT	4 × M20 (接着系パカ、既存コンクリートに200mm埋込)

既存 梁・スラブリスト				
符 号	G 15		G 16	
断 面				
	端部		中央	
B × D	300 × 800		300 × 800	
上 端 筋	3 - D22	2 - D22	4 - D22	2 - D22
下 端 筋	2 - D19	3 - D22	2 - D19	3 - D22
スターラップ				
符 号	B 3		S 1	
断 面				
	端部		中央	
B × D	250 × 550		t=120	
上 端 筋	3 - D16	2 - D16	9#250(Ⅱ)	
下 端 筋	2 - D16	5 - D16		
スターラップ				





造成計画平面図 (参考図) S=1/200

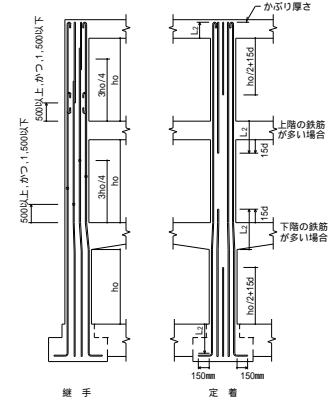
備考欄	青森県五所川原市金木町中柏木礎石250番地 代表取締役 日 東 綜 合 株 式 会 社 山 中 政 広 TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493	管 理 建 築 士 一級建築士事務所 奥知事登録 第1120号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一	承認	設計	担当	縮 尺 A1=1/200 A3=1/400 設計年月日 H30.12	工事名称	金木庁舎新築(建築)工事	NO. A - 73
							図面名称	造成計画平面図(参考図)	

鉄筋コンクリート造 配筋要領図(2)

2.1
柱主筋の
継手、定着
及び余長

2節 柱の配筋

【柱主筋の継手、定着及び余長 〇各部配筋参考図2.1による・図示】



- 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
- 隣り合う継手の位置は、標丈(表5.3.3)による。

図2.1 柱主筋の継手、定着及び余長

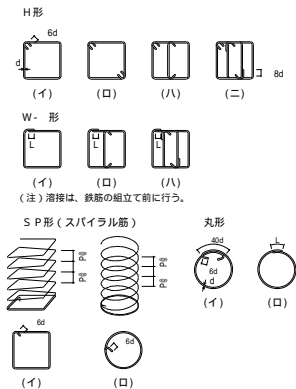
【その他記載すべき事項】

- 鉄筋の種類及び呼び径(mm)
- 継手の方法
- かぶり厚さ

【設計注意事項】

- 柱頭定着長さ L_2 が確保できない場合は、構造計算等により必要長さの確保を行うものとする。
- 柱頭柱主筋について、梁上端主筋との取合いを考慮し、適切なかぶり厚さを確保する。

【帯筋組立の形及び割付け 〇各部配筋参考図2.2による・図示】



- H形を標準とする。
- フック及び継手の位置は、交互とする。
- 溶接する場合の溶接長さは、両面フラア溶接の場合は5d以上、片面フラア溶接の場合は10d以上とする。
- S形において、柱頭及び柱筋の端部は1.5巻以上の巻巻きを行う。
- H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W・I形とする。

図2.2 帯筋組立の形

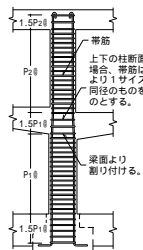


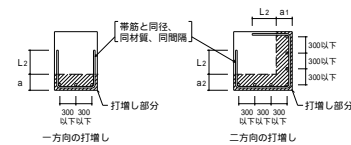
図2.3 帯筋の割付け

【その他記載すべき事項】

- 鉄筋の種類及び呼び径(mm)
- 帯筋組立の形
- 帯筋の間隔(mm)

柱に取り付け梁に段差がある場合、帯筋の間隔を $1.5P_1$ 又は $1.5P_2$ とする。範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。なお、 P_1 、 P_2 は、特記された帯筋の間隔を示す。2.3
柱の打増し補強

【柱の打増し補強 〇各部配筋参考図2.3による・図示】



- 柱の打増し幅(a、a₁、a₂)が70mm以上の場合の補強を示す。
- 帯筋と同一方向の補強筋は、帯筋と同径、同材質、同間隔とし定着長さは L_2 とする。
- 軸方向の補強筋間隔は300mm以下とする。

図2.4 柱の打増し補強配筋

【その他記載すべき事項】

- 鉄筋の種類及び呼び径(mm)
- 軸方向の補強筋本数
- 打増し幅

3節 梁の配筋

【大梁主筋の継手、定着及び余長 〇各部配筋参考図3.1による・図示】

(a) 大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、(2)により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図3.1による。



図3.1 梁主筋の梁内定着

(2) 梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。

- なお、定着の方法は、標丈(5.3.4(d)(3))による。
- 上端筋：曲げ降ろす。
- 下端筋：原則として曲げ上げる。

(3) 段違い梁は、図3.2による。

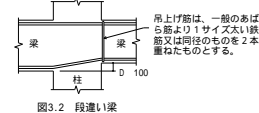


図3.2 段違い梁

(b) ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長

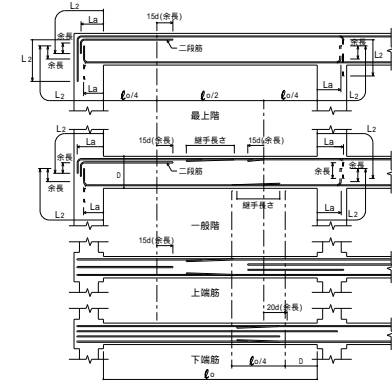


図3.3 大梁の重ね継手、定着及び余長

(c) ハンチのある場合の重ね継手、定着及び余長

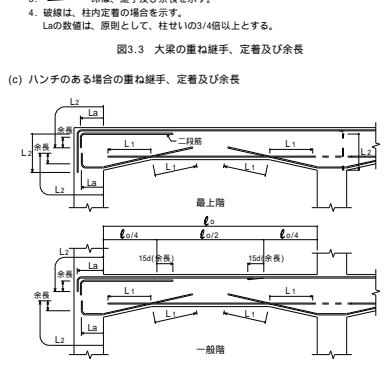


図3.4 ハンチのある大梁の定着及び余長

(1) 標丈(5.3.2(b)(2))で定めた鉄筋には、フックを付ける。

(2) 溶接は、原則として、柱せい1/3以上とする。

(3) 溶接は、柱内定着の場合を示す。

(4) 溶接は、原則として、柱せい1/3以上とする。

(5) 溶接は、原則として、柱せい1/3以上とする。

青森県五所川原市金木町中柏木礎石259番地

日東綜合株式会社

TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493

3.2
あばら筋
(小梁、片持ち梁、
基礎を含む)
の組立の形
及び割付け等

【その他記載すべき事項】

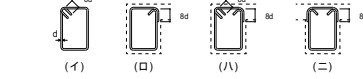
- 鉄筋の種類及び呼び径(mm)
- ハンチ部分の傾斜

【設計注意事項】

- 梁下端筋を、やむを得ず下階の柱に曲げ下げる場合は、下柱に十分な量の帯筋を配するなど注意が必要である。
- 柱に取り付け梁の引張り鉄筋の定着長さは、建築基準法施行令第36条及び第73条の規定に注意が必要である。

【あばら筋の組立の形及び割付け等 〇各部配筋参考図3.2による・図示】

(a) あばら筋組立の形及びフックの位置



- (イ)形を標準とする。ただし、L形梁の場合は、(ロ)又は(ハ)、T形梁の場合は、(ロ)～(ニ)とすることができる。
- フックの位置は、(イ)の場合は交互とし、(ロ)の場合は、L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。
- なお、(ハ)の場合は取合いの付く側を90°折曲げとする。

図3.5 あばら筋組立の形

(b) あばら筋の割付け

(1) 間隔が一様で、ハンチのない場合



図3.6 あばら筋の割付け(その1)

(2) 間隔が一様で、ハンチがある場合



図3.7 あばら筋の割付け(その2)

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合

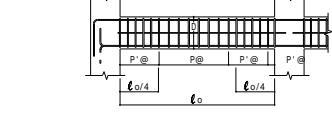


図3.8 あばら筋の割付け(その3)

(c) 腹筋及び幅止め筋

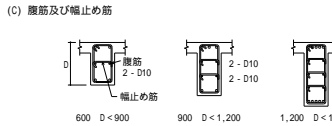


図3.9 腹筋及び幅止め筋

(1) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。

(2) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000程度とする。

図3.9 腹筋及び幅止め筋

【その他記載すべき事項】

- 鉄筋の種類及び呼び径(mm)
- あばら筋組立の形

【設計注意事項】

- 腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ及び定着長さは、別途定めること。

【梁の打増し補強 〇各部配筋参考図3.3による・図示】

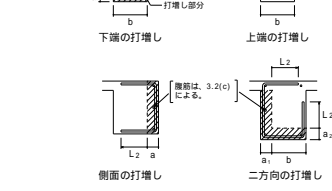


図3.10 梁の打増し補強配筋

(1) 梁の打増し幅(a、a₁、a₂)が70mm以上の場合の補強を示す。

- あばら筋と同一方向の補強筋は、あばら筋と同径、同材質、同間隔とし、定着長さは L_2 とする。

【その他記載すべき事項】

- 鉄筋の種類及び呼び径(mm)
- 軸方向の補強筋本数
- 打増し幅

【小梁主筋の継手、定着及び余長 〇各部配筋参考図3.4による・図示】

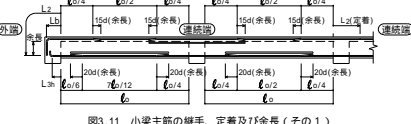


図3.11 小梁主筋の継手、定着及び余長(その1)

3.5
片持梁主筋の
継手、定着
及び余長

(b) 単独小梁の場合

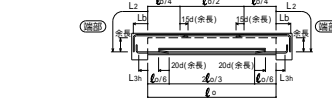


図3.12 小梁主筋の継手、定着及び余長(その2)

- 印は、余長位置を示す。
- 梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合は、斜めにしてもよい。
- 図示のない事項は、1.3及び3.1に準ずる。

【その他記載すべき事項】

鉄筋の種類及び呼び径(mm)

【片持梁主筋の定着及び余長 〇各部配筋参考図3.5による・図示】

(a) 先端に小梁のない場合

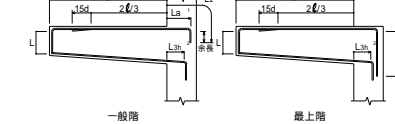
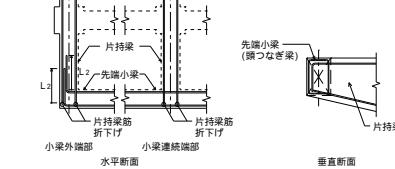


図3.13 片持梁主筋の定着及び余長

- 図示のない事項は、1.3に準ずる。
- 先端の折曲げ長さは、梁せいがかぶり厚さを除いた長さとする。
- 図示のない事項は、3.1による。

【片持梁先端の定着及び余長 〇各部配筋参考図3.5による・図示】



- 図示のない事項は、(a)による。
- 先端小梁先端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
- 先端小梁の連続筋は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図3.14 片持梁主筋の定着

4節 壁及びその他の配筋

【壁の基準配筋 〇各部配筋参考図4.1による・図示】

(a) 壁の基準配筋は表4.1による。

種別	縦筋及び横筋	断面図(mm)
W12	D10-200 @シングル	120
W15A	D10-150 @シングル	150
W15B	D10-100 @シングル	150
W18A	D10-200 @ダブル	180
W18B	D10-150 @ダブル	180
W20A	D10-200 @ダブル	200
W20B	D10-150 @ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

(b) 片持スラブ形階段を受ける壁の基準配筋は表4.2による。

種別	縦筋及び横筋	断面図(mm)	階段の配筋種別(表6.1)
K11	縦筋 D13-200 @ダブル 横筋 D10-200 @ダブル	180	KA1 KA3
K12	縦筋 D15-150 @ダブル 横筋 D10-200 @ダブル	200	KA2 KA4

(注) 縦筋は、横筋の外側に配置する。

【その他記載すべき事項】

- 配筋種別
- 壁の厚さ
- 鉄筋の種類

【壁の継手及び定着 〇各部配筋参考図4.2による・図示】

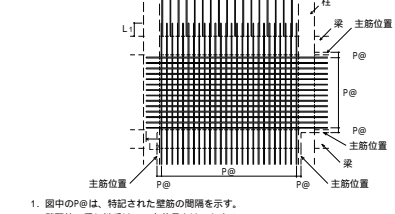


図4.1 壁の配筋

(1) 図中のPは、特記された壁筋の間隔を示す。

(2) 壁筋の重ね継手は、定着長さとしとする。

(3) 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000程度とする。

【その他記載すべき事項】

- 鉄筋の種類及び呼び径(mm)
- 壁筋の間隔

4.3
壁の交差部
及び端部の配筋

【設計注意事項】

- 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはならない。
- 耐力壁の重ね継手の長さは、建築基準法施行令第36条及び第73条の規定に注意が必要である。

【壁の交差部及び端部の配筋 〇各部配筋参考図4.3による・図示】

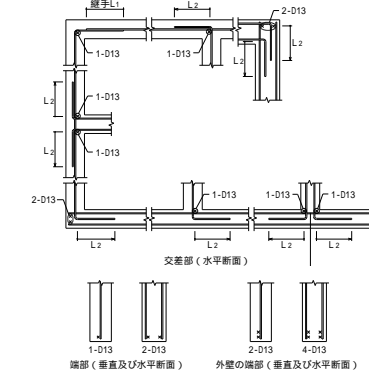


図4.2 壁の交差部及び端部の配筋

【その他記載すべき事項】

- 鉄筋の種類及び呼び径(mm)

【壁の開口部補強 〇各部配筋参考図4.4による・図示】

(a) 耐震壁を除く開口部の補強筋は、A形は表4.3、B形は表4.4とする。

壁の種類	縦筋	斜め
W12、W15	1-D13	1-D13
W18、W20	2-D13	2-D13

壁の種類	縦筋	斜め
W12、W15	2-D13	1-D13
W18、W20	4-D13	2-D13

(b) 壁開口部補強筋の定着長さは図4.3による。

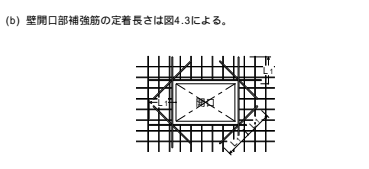


図4.3 壁開口部補強筋の定着長さ

(c) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることににより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

【設計注意事項】

- コンクリートの厚さは、別途定めること。

【壁の打増し補強 〇各部配筋参考図4.5による・図示】

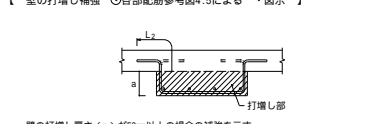


図4.4 壁の打増し補強配筋

(1) 鉄筋の種類及び呼び径(mm)

(2) 鉄筋及び横筋の間隔

(3) 打増し幅

【壁の打増し補強 〇各部配筋参考図4.5による・図示】

【パラベットの配筋 〇各部配筋参考図4.6による・図示】

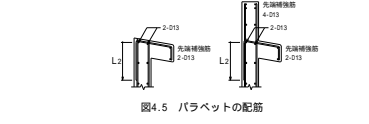


図4.5 パラベットの配筋

【その他記載すべき事項】

- 鉄筋の種類及び呼び径(mm)
- 縦筋及び横筋の間隔
- コンクリートの厚さ(mm)

構造設計者 一級建築士 第241724号・構造設計一級建築士 第467号 小野芳美

NO.

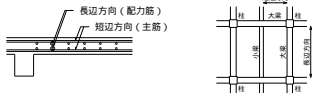
S 03

鉄筋コンクリート造 配筋要領図（３）

5.1
スラ
ブの
基
準
配
筋5節 スラ
ブの配筋【 スラ
ブの基
準配筋 ・各部配筋参考図5.1による ・図示 】

表5.1 スラ ブの基 準配筋				
配筋 種別	短辺方向(主筋) 全 域	長辺方向(配力筋) 全 域	配筋 種別	短辺方向(主筋) 全 域
S 1	D13-100 @	D13-100 @	S 8	D10、D13-150 @
S 2	同 上	D13-150 @	S 9	同 上
S 3	同 上	D10、D13-150 @	S10	D10、D13-200 @
S 4	D13-150 @	D13-150 @	S11	同 上
S 5	同 上	D10、D13-150 @	S12	同 上
S 6	同 上	D10-150 @	S13	D10-200 @
S 7	D10、D13-150 @	D10、D13-150 @	S14	同 上

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



1. 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
2. 鉄筋の重ね継手長さは、L₁とする。

図5.1 スラ
ブの配筋

【 その他記載すべき事項 】

- (1) 配筋種別
- (2) スラ
ブ厚さ (mm)
- (3) 鉄筋の種類

【 設計注意事項 】

- (1) 土間スラ
ブ下の砂利地盤厚さ及び強コンクリート厚さは、別途定めること。
- (2) 土間コンクリート補強筋の配筋及びコンクリート厚さは、別途定めること。

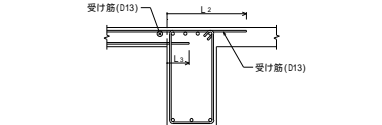
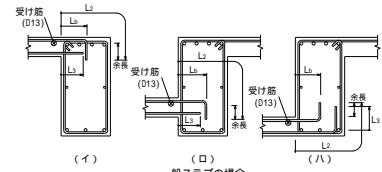
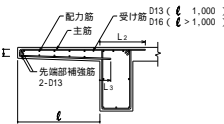
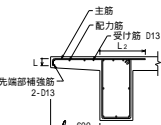
【 スラ
ブ筋の定着及び受け筋 ○各部配筋参考図5.2による ・図示 】図5.2 スラ
ブ筋の定着長さ及び受け筋（その１）図5.3 スラ
ブ筋の定着長さ及び受け筋（その２）【 その他記載すべき事項 】
鉄筋の種類及び呼び径 (mm)【 片持スラ
ブの基
準配筋 ・各部配筋参考図5.3Cによる ・図示 】

表5.2 片持スラ ブの基 準配筋			
配筋種別	主 筋	配筋種別	主 筋
CS1	上 D13-100 @	CS5	上 D10-200 @
	下 D13-200 @		下 D10-400 @
CS2	上 D13-150 @	CS6	上 D10、D13-200 @
	下 D13-300 @		下 —
CS3	上 D10、D13-150 @	CS7	上 D10-200 @
	下 D10、D13-300 @		下 —
CS4	上 D10、D13-200 @		
	下 D10-200 @		

図5.4 片持スラ
ブの配筋（CS1からCS5）図5.5 片持スラ
ブの配筋（CS6及びCS7）

1. 先端の折り曲げ長さL₁は、スラ
ブ厚さよりかぶり厚さをいれた長さとする。
2. スラ
ブに段差のない場合は、主筋を引き通してスラ
ブに定着してもよい。

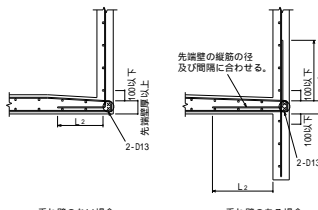
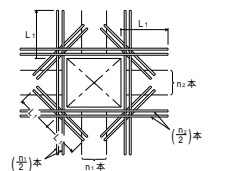
5.4
片持ちスラ
ブの
先端に壁が付く
場合の配筋【 その他記載すべき事項 】
(1) 配筋種別
(2) スラ
ブ厚さ (mm)
(3) 鉄筋の種類及び呼び径 (mm)【 片持ちスラ
ブ先端に壁が付く場合の配筋○各部配筋参考図5.4による ・図示 】

図5.6 先端に壁が付く場合の配筋

【 スラ
ブの開口部補強 ○各部配筋参考図5.5による ・図示 】

1. スラ
ブ開口部によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周面を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (≧2L₁) シングルを上下筋の内側に配筋する。
2. スラ
ブ開口部の最大径が両方向の鉄筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

図5.7 スラ
ブ開口部の補強配筋【 設計注意事項 】
スラ
ブ開口部の最大径が700mm以下の場合に限る。

【 出隅及び入隅部の補強配筋 ○各部配筋参考図5.6による ・図示 】

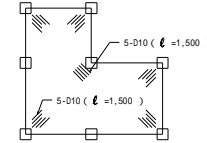
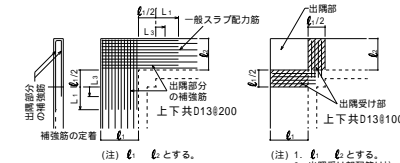
(a) 屋根スラ
ブの出隅及び入隅部

図5.8 出隅及び入隅部の補強配筋

(b) 片持ちスラ
ブの出隅部図5.9 片持ちスラ
ブ出隅部の補強配筋

【 その他記載すべき事項 】

- (1) 配筋種別
- (2) スラ
ブ厚さ (mm)
- (3) 鉄筋の種類及び呼び径 (mm)
- (4) 鉄筋の間隔 (mm) 又は本数

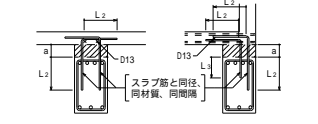
【 スラ
ブの打継ぎ補強配筋等 ○各部配筋参考図5.7による ・図示 】(a) 土間スラ
ブの打継ぎ補強

図5.10 打継ぎ補強配筋

(b) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

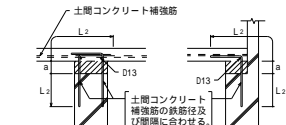


図5.11 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

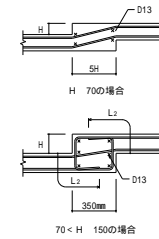
5.8
段 差 の 有
る
スラ
ブの補強【 設計注意事項 】
(1) 土間コンクリートとは、土に接するスラ
ブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は土間スラ
ブとして、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
(2) aが300mm以下の場合に限る。【 段差のあるスラ
ブの補強配筋 ○各部配筋参考図5.8による ・図示 】図5.12 段差のあるスラ
ブの補強配筋【 設計注意事項 】
150mm以下の段差のあるスラ
ブの場合に限る。6節 階
段の配筋【 片持スラ
ブ形階段の基
準配筋 ・各部配筋参考図6.1による ・図示 】

表6.1 片持スラ ブ形階段の基 準配筋	
配筋種別	配筋図
KA1	D13-100 @
KA2	D13-150 @
KA3	D13-100 @
KA4	D13-150 @

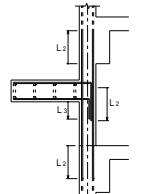
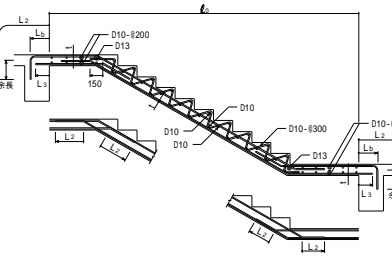
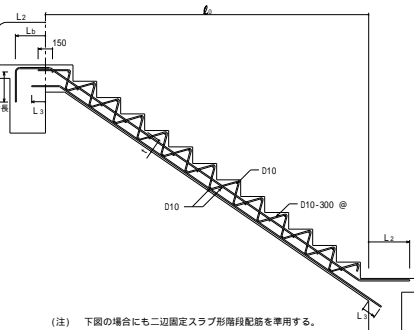
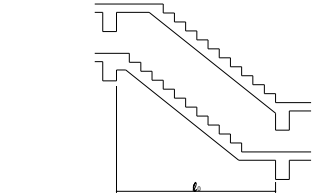
図6.1 片持スラ
ブ形階段配筋の定着【 その他記載すべき事項 】
(1) 配筋種別
(2) スラ
ブ厚さ (mm)
(3) 鉄筋の種類【 二辺固定スラ
ブ形階段の基
準配筋 ○各部配筋参考図6.2による ・図示 】

表6.2 二辺固定スラ ブ形基 準配筋	
配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
KB1	D13-200 @
KB2	D13-150 @
KB3	D13-100 @
KB4	D13、D16-150 @
KB5	D16-150 @
KB6	D16-125 @
KB7	D16-100 @

図6.2 二辺固定スラ
ブ形階段配筋（その１）7.1
梁貫通孔の配筋(注) 下図の場合にも二辺固定スラ
ブ形階段配筋を準用する。図6.3 二辺固定スラ
ブ形階段配筋（その２）

【 その他記載すべき事項 】

- (1) 配筋種別
- (2) スラ
ブ厚さ (mm)
- (3) 鉄筋の種類

7節 梁貫通孔及びその他配筋

【 梁貫通孔の配筋 ・各部配筋参考図7.1による ・図示 】

- (1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、図7.1による。
- (2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこの外接円とする。
- (3) 孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3(Dは梁せい)の範囲には設けてはならない。
- (4) 孔は、柱面から、原則として、1.5D(Dは梁せい)以上離す。ただし、基礎梁、壁付専梁は除く。
- (5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- (6) 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- (7) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図7.2による。
- (8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- (9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- (10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋1-13のリング筋を取り付ける。
- (11) 溶接金網の割付け始点は、補強筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。

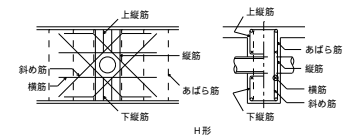


図7.1 梁貫通孔補強筋の名称等

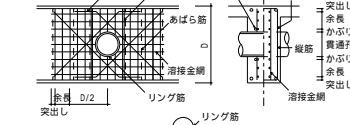


図7.2 補強筋の定着長さ

7.2
梁貫通孔の
補強形式

【 梁貫通孔の補強形式 ・各部配筋参考図7.2による ・図示 】

○ 梁貫通孔補強は大臣認定品を使用する。

表7.1 H形配筋				
配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	配筋図
H 1	なし	なし	なし	
H 2	2-2-D13	なし	なし	
H 3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H 4	4-2-D16	2-2-D13	2-2-D13	
H 5	4-2-D16	2-2-D13	3-2-D13	
H 6	4-2-D19	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22	2-2-D13	3-2-D13	

(注) - - - は、一般部のあばら筋を示す。

表7.2 M形配筋

配筋種別	斜め筋	溶接金網	配筋図
M 1	2-2-D13	なし	
M 2	4-2-D13		
M 3	4-2-D13	2-6 -100φ	
M 4	6-2-D13		

(注) - - - は、一般部のあばら筋を示す。

表7.3 W形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
W1	2-2-D13	なし	なし	
W2	2-2-D13			
W3	2-2-D13	2-6 -100φ	なし	
W4	4-2-D13			
W5	4-2-D16	2-6 -100φ	なし	
W6	4-2-D16			
W7	4-2-D19	2-6 -100φ	なし	

(注) - - - は、一般部のあばら筋を示す。

【 その他記載すべき事項 】

- (1) 配筋種別
- (2) 鉄筋の種類

【 設計注意事項 】

○ 大臣認定による既製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

【 コンクリートブロック積造との取合い ○各部配筋参考図7.3による ・図示 】

(a) 控壁の配筋

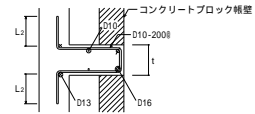


図7.3 控壁の配筋（水平、垂直とも）

(b) 積造が土間コンクリート上に設置される場合の補強

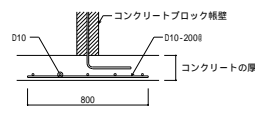


図7.4 壁付き土間コンクリートの補強配筋

【 その他記載すべき事項 】

- (1) 鉄筋の種類及び呼び径 (mm)

備考欄

青森県五所川原市金木町中泊水鏡石259番地

日東綜合株式会社 代表取締役 山中政広

TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493

管理建築士

一級建築士事務所 県知事登録 第1120号

大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一

承認

設計

担当

縮尺

設計年月日

H30.12

工事名称

金木庁舎新築(建築)工事

図面名称

鉄筋コンクリート造 配筋要領図（３）

構造設計者 一級建築士 第241724号 ・ 構造設計一級建築士 第467号 小野芳美

NO.

S 04

鉄骨構造標準図(1)

1. 一般事項

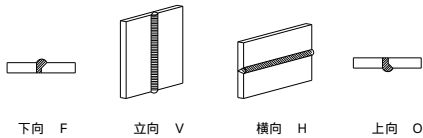
- (1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが 40mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監督者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼のひずみ矯正は、冷間矯正とする

(3) 高力ボルト接合

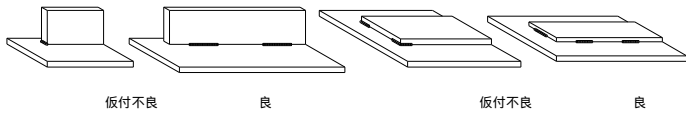
- (a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

(4) 溶接接合

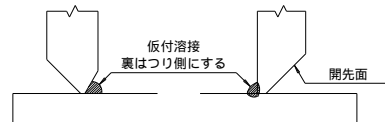
- (a) 溶接技能者
- 溶接技能者は施工する溶接に適用する JIS Z3801 (手溶接) または JIS Z3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
- (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 放電ガスアーク半自動溶接機
- (ロ) アークエアーガウジング機 (直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
- (ハ) サブマージアーク溶接機 1 式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
- (c) 溶接方法
- アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
- セルブ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアーガウジング (AAG)
- (d) 溶接姿勢



- (e) 仮付溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
- 仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

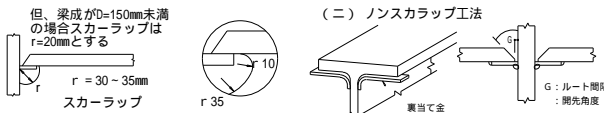


- (ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(f) 溶接施工

- (イ) エンドタブ
- 突合せ溶接、部分溶け込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
- エンドタブの材質は、母材と同質とする
- エンドタブの長さは、MC: 35mm以上 NGC、GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上とする。
- フレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監督者の承認を得る
- (ロ) 裏あて金
- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
- (ハ) スカーラップ 半径は30~35mmと、10mmのダブルールとする



- (ホ) 裏はつり
- 規準図の溶接において AAG と記載のある部分は全て、溶接監督者の確認を励行し、部材に確認マークをつける
- (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行う

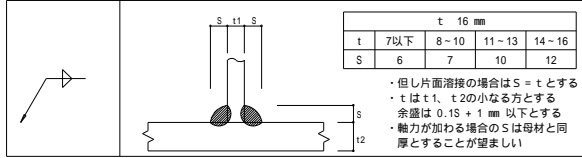
(5) 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

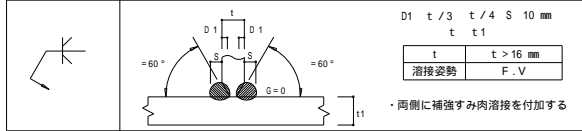
2. 溶接基準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

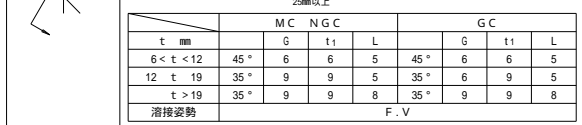
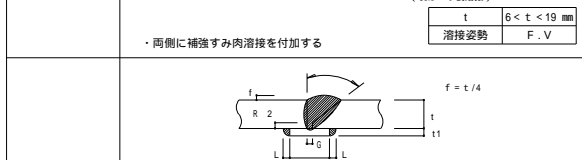
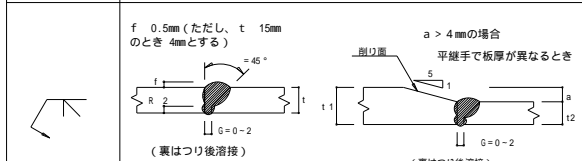
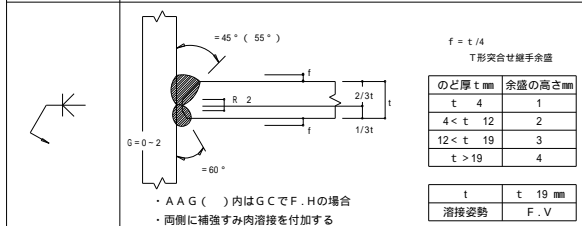
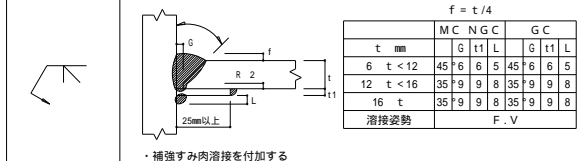
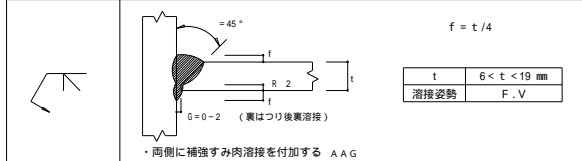
(1) スミ肉溶接



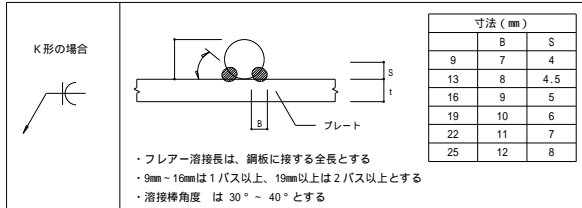
(2) 部分溶け込み溶接 (使用箇所) に注意



(3) 突合せ溶接 (平継手 T形継手)



(4) フレアー溶接



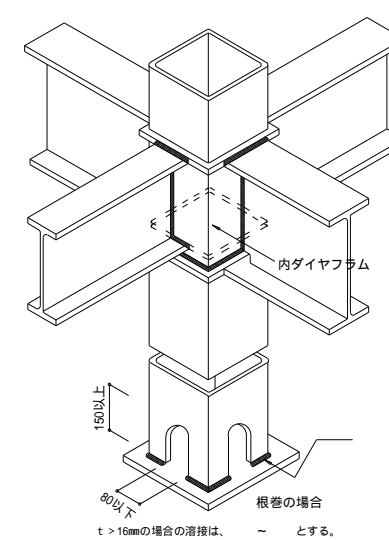
鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス温度差 ()
400N 級鋼	JIS Z 2311, 3212, 3214	40以下	350以下
	Y G W-11, 15		
	Y G W-18, 19		
490N 級鋼	Y G A-50W, 50 P	40以下	350以下
	JIS Z 3212, 3214		
	Y G W-11, 15		

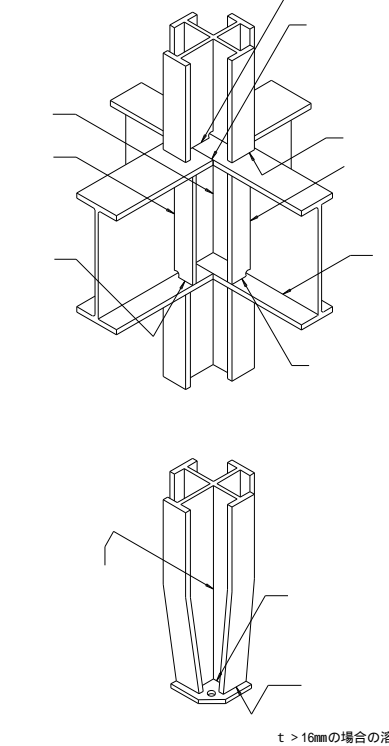
STKR, BCR, BCP の場合の溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス温度差 ()
STKR, BCR, BCP 400N 級	Y G W-11, 15	30以下	250以下
	Y G W-18, 19	40以下	350以下
STKR, BCP 490N 級	Y G W-18, 19	30以下	250以下

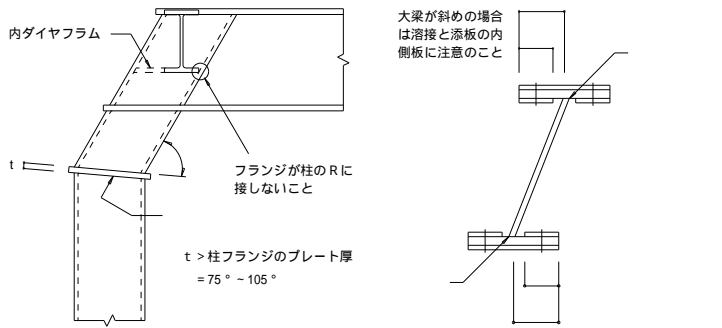
BOX 型 (通しダイヤフラムの場合)



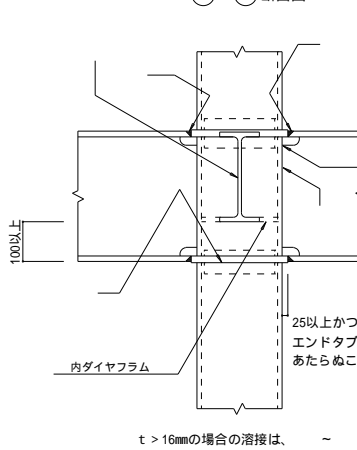
中、H、H 型



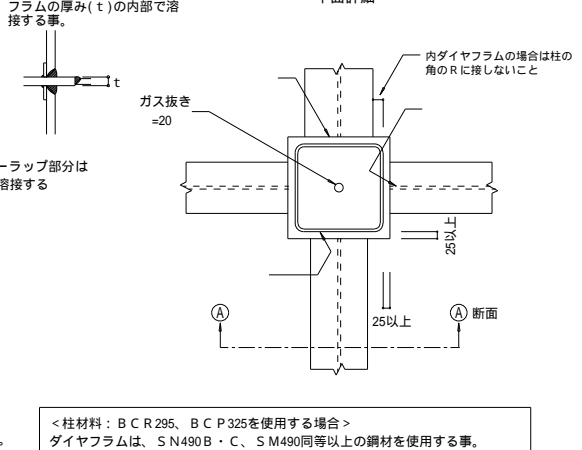
柱が途中で折れる場合 及梁成が異なる場合



A - A 断面図

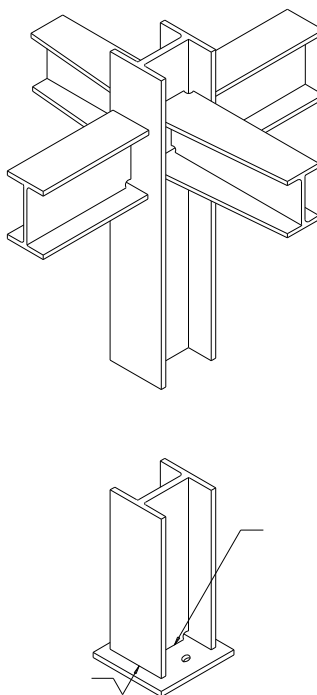


平面詳細

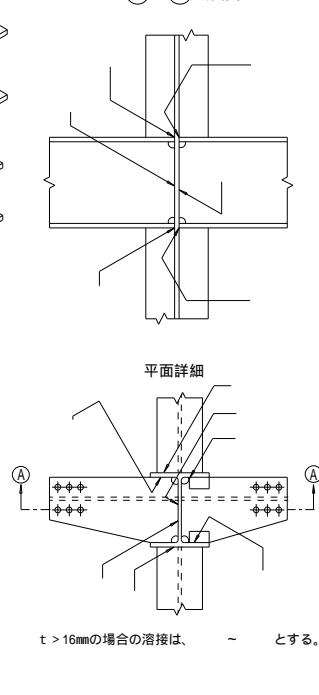


<柱材料: BCR295、BCP325を使用する場合>
ダイヤフラムは、SN490B・C、SM490同等以上の鋼材を使用する事。
ダイヤフラム厚は、接合する柱、梁の最大厚の2サイズアップとする事。

B.H方式



A - A 断面図



t > 16mm の場合の溶接は、 ~ とする。

構造設計者 一級建築士 第241724号 構造設計一級建築士 第467号 小野芳美

鉄骨構造標準図 (2)

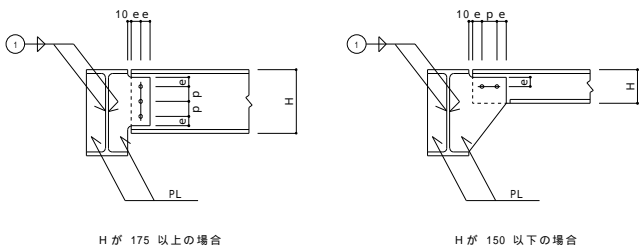
4 . 継手規準図、その他

(1) ボルトピッチ (P) ボルト穴径・最小縁端距離 (mm)

呼 び	ボルト 穴 径	最 小 縁 面 距 離 (e)				ピ ッ チ (p)	
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最 小	標 準
M16	18.0	40	28	22	35	40	60
M20	22.0	50	34	26	40	50	70
M22	24.0	55	38	28	40	55	70
M24	26.0	60	44	30	45	60	70

注) (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

(2) ピン接合梁継手リスト



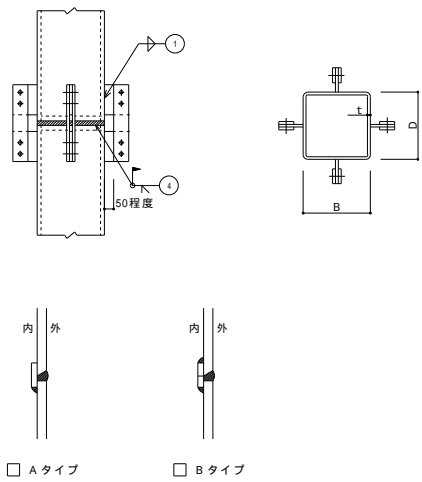
(3) 剛接合梁・柱継手リスト

剛接合梁・柱継手リストは設計図による

(4) 角形鋼管

角形鋼管柱継手（現場溶接）

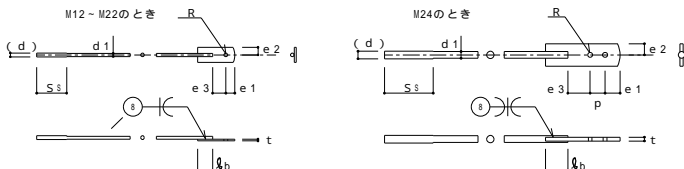
注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行う



(5) 丸鋼ブレース

(J I S 規格品とする・・・JIS A5540 - 5542・・・1982)

羽子板ボルト



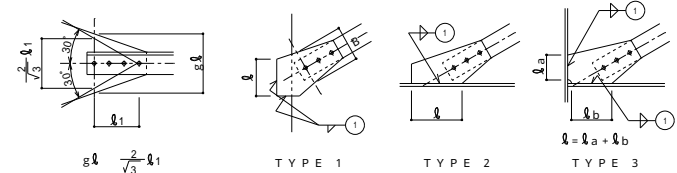
ねじの呼び (d)		M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d 1	最 大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最 小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ S s		100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差 +0,-0.5mm		R	13	17	17	21.5	21.5	23.5
はしあき (最小) (2) e 1		35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき (1) (最小) e 2	22	28	28	34	34	38	38
	板 厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき (1) (最小) e 2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5
	板 厚 t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト軸から取付ボルト 穴心のあき (最小) e 3		47	52	59	66	66	73	70
溶 接 長 さ (最小) l b		40	50	55	60	75	85	85
(2) 取付ボルト	種 類	JIS B 1186 2種高力ボルト (F8T, 10T)						
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本 数	1	1	1	1	1	1	2

注) (1) e1、e2 が確保されていれば形状は自由でよい
(2) 羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする

(6) 平鋼・山形鋼・溝形鋼ブレース

ガセットブレ - トの大きさ

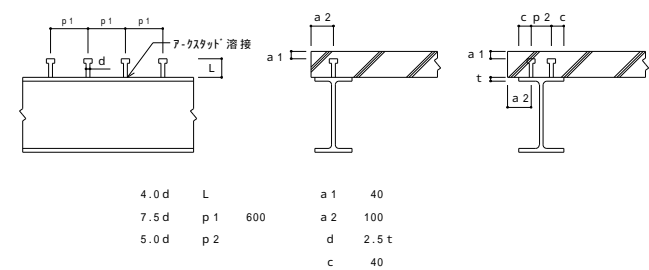
ガセットプレ - トの溶接



部 材 サ イ ズ		高力ボルト		滑 接 長 (mm)			94A	備 考
		本数・径	厚×幅	TYPE 1	TYPE 2	TYPE 3		
平 鋼	FB - 65 x 6	2 - M16	6 x 65	117	71	83	6	
	FB - 75 x 6	2 - M16	6 x 75	142	83	95	6	
	FB - 65 x 9	3 - M16	9 x 65	131	82	98	8	
	FB - 75 x 9	3 - M16	9 x 75	159	96	112	8	
	FB - 90 x 9	3 - W20	9 x 90	190	111	127	8	
	FB - 100 x 9	3 - W20	9 x 100	218	125	141	8	
	FB - 90 x 12	3 - W20	12 x 90	202	121	141	10	
	FB - 100 x 12	4 - W20	12 x 100	232	136	156	10	
山 形 鋼	L - 65 x 65 x 6	5 - M16	9 x 90	170	101	117	8	
	L - 75 x 75 x 6	5 - M16	9 x 95	202	117	133	8	
	L - 75 x 75 x 9	5 - M16	9 x 125	291	162	178	8	
	L - 75 x 75 x 12	6 - M16	9 x 160	362	197	213	8	
	L - 90 x 90 x 7	5 - W20	9 x 125	282	157	173	8	
	L - 90 x 90 x 10	5 - W20	9 x 165	389	211	227	8	
	L - 90 x 90 x 13	6 - W20	12 x 160	395	218	238	10	
	L - 100 x 100 x 10	5 - W20	9 x 185	443	238	254	8	
山 形 鋼	L - 100 x 100 x 13	6 - W20	12 x 180	448	244	264	10	
	2L - 65 x 65 x 6	5 - M16	9 x 165	399	216	232	8	
	2L - 75 x 75 x 6	5 - M16	9 x 190	474	253	269	8	
	2L - 75 x 75 x 9	5 - W20	12 x 205	531	286	306	10	
	2L - 75 x 75 x 12	7 - M16	12 x 260	667	354	374	10	
	2L - 90 x 90 x 7	5 - W20	12 x 205	529	285	305	10	
	2L - 90 x 90 x 10	5 - W20	12 x 270	733	387	407	10	
	2L - 90 x 90 x 13	7 - W20	12 x 340	933	487	507	10	
山 形 鋼	2L - 100 x 100 x 10	6 - W20	12 x 305	832	438	456	10	
	2L - 100 x 100 x 13	8 - W20	12 x 385	1062	551	571	10	

(7) その他

(a) 頭付スタッド (JIS1198)



スタッドの標準形状・寸法

ス タ ュ ッ ド 材

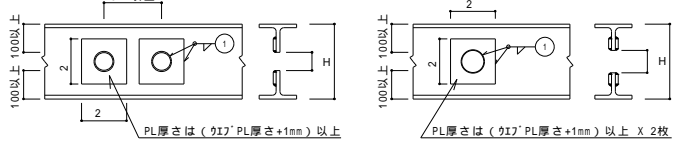
The diagram shows a vertical stud bolt. The top part is a hexagonal head with diameter 'D' and height 'T'. The lower part is a cylindrical shaft with diameter 'd'. The total length of the shaft is labeled 'L'.

呼び名	軸 径 d mm	頸 径 D mm	頸 高さ T mm	溶接後の長さ L mm
13 mm	13.0	22.0	10.0	50, 80, 100, 130
	12.7	25.4	7.9	
16 mm	16.0	29.0	10.0	80, 100, 130
	15.8	31.7	7.9	
19 mm	19.0	32.0	10.0	80, 100, 130, 150
	19.0	31.7	9.5	
22 mm	22.0	35.0	10.0	100, 130, 150
	22.2	34.9	9.5	

(b) 梁貫通補強

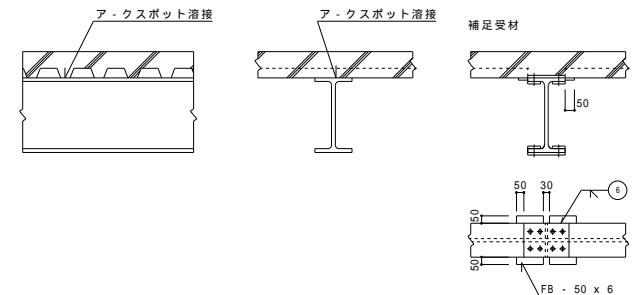
・タイプ (0.2H < 0.3H)

・タイプ ($0.3H < \quad 0.4H$)

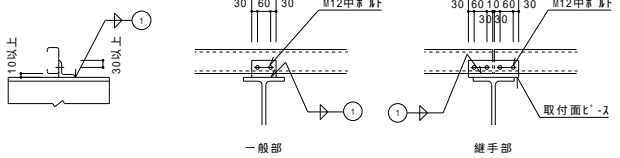


- ・ 0.2 H 以下は補強なし
- ・ 特記なき補強方法は上図によるが孔径 () は
0.4 H 以下とし、そのピッチは3.0 以上とする
- ・ 原則としてスリ - プは梁端部 (スパンの $\frac{1}{4}$ 以内かつ2H 以内) は避ける
止むおえない場合は、工事監理者の了解を得ること
(その場合でも、梁端から貫通孔の中心まで 1.20 以上離す)
上記を満足しない場合は、既製品 (認定品) を使用すること

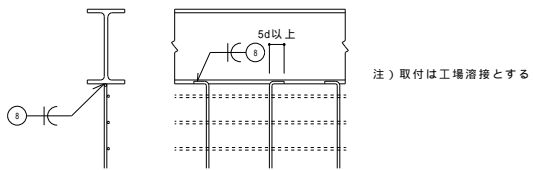
(c) デッキプレートの収まり (合成床の場合は設計図書による)



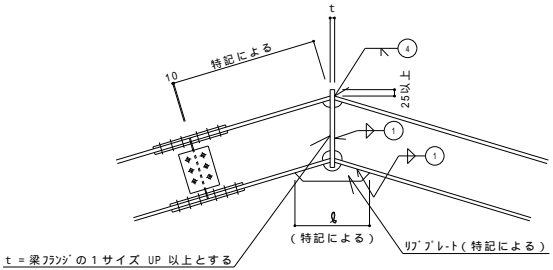
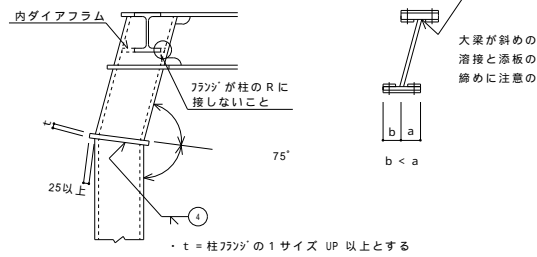
(d) 母屋、胴縁



(e) ブロック造壁の鉄筋の収まり



(f) 柱梁が途中折れの場合及び梁成が異なる場合



(同等品を使用する)

ハイベースNEO工法 各種寸法及び基礎柱形設計例 (Fc24の場合) (ハイベースNEO工法Gタイプは、S造及びCFT造に適用) 大臣認定
角形鋼管柱用 150 ~ 550 (ハイベースNEO工法エコタイプは、S造に適用) BCIJ認定

MSTL-0404、0180(Gタイプ用ベースプレート)

MBLT-0042 - 0046(アンカーボルト)

BCIJ認定-ST0058 (Gタイプ)

BCIJ認定-ST0059 (エコタイプ)

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規程、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 J A S S 5 鉄骨工事、建築工事標準仕様書
同解説 J A S S 5 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

2017/6

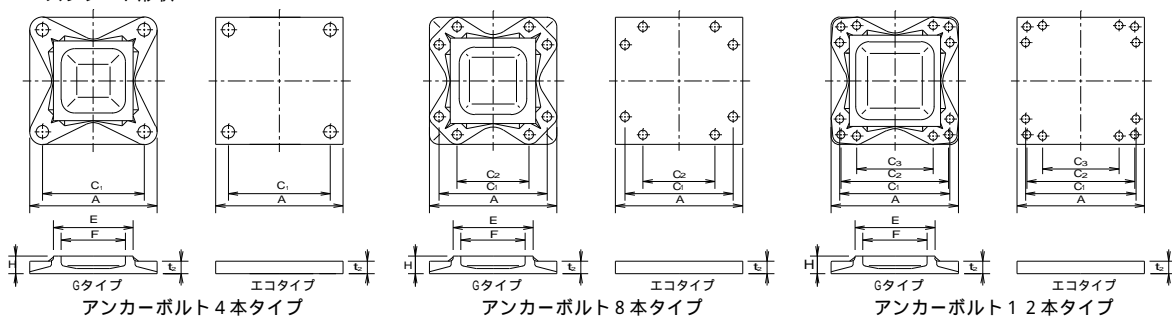
型式表示例

エコタイプ: EB350 - 8 - 36

Gタイプ: GB500 - 8 - 42

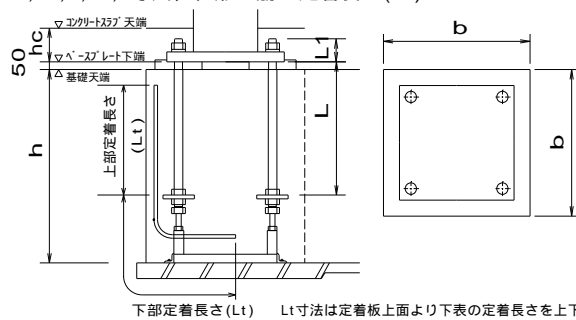
アンカーボルト径
アンカーボルト本数
柱外形寸法
角形鋼管柱用

ベースプレート形状



・ハイベースNEO工法
(角形鋼管柱用 150 ~ 550)

L, L1, h, hc, b寸法、柱形主筋の定着長さ(Lt)



エコタイプはシングルナット仕様 (コンクリートスラブに埋込)
Gタイプはダブルナット仕様 (露出が標準)
注) 表中のh寸法は杭がない場合です。
杭がある場合は表中のh寸法に+100mm以上確保して下さい。
Gタイプでコンクリートスラブに埋め込む場合、スラブ厚(c寸法)は
"L1寸法+最低40mm以上のかぶり" となる寸法を確保してください。

採用		適用柱		ハイベースNEO型式		アンカ ボルト	回転バネ 定数 X10 ⁴ kn・m/rad	寸法（mm）								質量（kg）			L (mm)	L1 (mm)	基礎深さ・ 埋込コンクリート深さ	バリエーション 2方・13方・7方深	基礎柱形の設計例(Fc24) < 側・隅柱用 >										基礎柱形の設計例(Fc24) < 中柱用（4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示す。）>									
柱符号	数量	柱サイズ	板厚範囲	エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	C3	E	F	H	t ₂	ベースプレート	部品	セット質量					Iゾーン			Iゾーン			鉄筋の定着長さ Lt（mm）	Iゾーン			Iゾーン			鉄筋の定着長さ Lt（mm）						
																							柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋		柱形 b (mm)	主筋量	帯筋										
		150	4.5～12	EB150-4-24		4-M24	14.0	290	210	-	-	-	-	25	17	14	31	400	80	550以上	120	500	8-D16	D13 [Ⓢ] 150	500	16-D16	D13 [Ⓢ] 150	210	500	8-D16	D13 [Ⓢ] 150	500	16-D16	D13 [Ⓢ] 150	210							
		175	4.5～12	EB175-4-24		4-M24	17.9	310	230	-	-	-	-	25	19	14	33	400	80	600以上	120	520	8-D16	D13 [Ⓢ] 150	520	16-D16	D13 [Ⓢ] 150	200	520	8-D16	D13 [Ⓢ] 150	520	16-D16	D13 [Ⓢ] 150	200							
C5	2					4-M24	21.9	340	260					25	23	14	37	400	80	600以上	120	550	8-D16	D13 [Ⓢ] 150	550	16-D16	D13 [Ⓢ] 150	190	550	8-D16	D13 [Ⓢ] 150	550	16-D16	D13 [Ⓢ] 150	190							
		200	6～12	EB200-4	-24	4-M30	35.4	360	270					32	33	23	56	400	102	600以上	150	570	8-D19	D13 [Ⓢ] 150	570	16-D19	D13 [Ⓢ] 150	300	570	8-D19	D13 [Ⓢ] 150	570	16-D19	D13 [Ⓢ] 150	300							
					-30	4-M36	41.4	360	270					40	41	36	77	480	117	700以上	160	580	12-D19	D13 [Ⓢ] 150	580	20-D19	D13 [Ⓢ] 150	340	580	12-D19	D13 [Ⓢ] 150	580	20-D19	D13 [Ⓢ] 150	340							
C2、C4	7					4-M24	32.2	390	310					25	30	15	45	400	80	600以上	120	600	8-D19	D13 [Ⓢ] 150	600	12-D19	D13 [Ⓢ] 150	190	600	8-D19	D13 [Ⓢ] 150	600	12-D19	D13 [Ⓢ] 150	190							
		250	6～16	EB250-4	-24	4-M30	51.3	410	320					32	43	23	66	400	102	600以上	150	610	8-D19	D13 [Ⓢ] 150	610	16-D19	D13 [Ⓢ] 150	280	610	8-D19	D13 [Ⓢ] 150	610	16-D19	D13 [Ⓢ] 150	280							
					-30	4-M36	59.7	410	320					40	53	36	89	480	117	700以上	160	610	12-D19	D13 [Ⓢ] 150	610	20-D19	D13 [Ⓢ] 150	330	610	12-D19	D13 [Ⓢ] 150	610	20-D19	D13 [Ⓢ] 150	330							
					-36	8-M30	51.1	450	360	190				40	64	51	115	600	110	800以上	150	640	12-D22	D13 [Ⓢ] 150	640	20-D22	D13 [Ⓢ] 150	450	640	12-D22	D13 [Ⓢ] 150	640	20-D22	D13 [Ⓢ] 150	450							
C3	3					4-M30	70.1	460	370					32	54	24	78	400	102	600以上	150	660	8-D19	D13 [Ⓢ] 150	660	16-D19	D13 [Ⓢ] 150	270	660	8-D19	D13 [Ⓢ] 150	660	16-D19	D13 [Ⓢ] 150	270							
					-36	4-M36	82.9	460	370					40	67	37	104	480	117	700以上	160	660	12-D19	D13 [Ⓢ] 150	660	20-D19	D13 [Ⓢ] 150	330	660	12-D19	D13 [Ⓢ] 150	660	20-D19	D13 [Ⓢ] 150	330							
					-30	8-M30	69.4	500	410	240				36	71	51	122	600	106	800以上	150	700	16-D22	D13 [Ⓢ] 150	700	20-D22	D13 [Ⓢ] 150	430	700	16-D22	D13 [Ⓢ] 150	700	20-D22	D13 [Ⓢ] 150	430							
					-36	8-M36	84.0	510	420	220				44	90	82	172	720	121	900以上	170	720	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	720	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	590	720	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	720	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	590							
					EB350-4-30	4-M30	93.1	510	420					32	66	24	90	400	102	600以上	150	710	8-D19	D13 [Ⓢ] 150	710	16-D19	D13 [Ⓢ] 150	240	710	8-D19	D13 [Ⓢ] 150	710	16-D19	D13 [Ⓢ] 150	240							
					-30	8-M30	89.5	550	460	290				36	86	52	138	600	106	800以上	150	750	16-D22	D13 [Ⓢ] 150	750	20-D22	D13 [Ⓢ] 150	470	750	16-D22	D13 [Ⓢ] 150	750	20-D22	D13 [Ⓢ] 150	470							
					-36	8-M36	105	560	470	270				40	99	83	182	720	117	900以上	160	770	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	770	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	560	770	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	770	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	560							
					-42	8-M42	133	590	480	260				48	132	131	263	840	138	1100以上	180	790	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	790	32-D25	D13 [Ⓢ] 150	700	790	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	790	32-D25	D13 [Ⓢ] 150	700							
						4-M42	128	550	440				75	50	107	72	179	840	145	1100以上	-	750	12-D25	D13 [Ⓢ] 150	750	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	480	750	12-D25	D13 [Ⓢ] 150	750	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	480							
					-48	4-M48	156	590	460				90	61	142	113	255	960	168	1200以上	-	790	12-D25	D13 [Ⓢ] 150	790	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	580	790	12-D25	D13 [Ⓢ] 150	790	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	580							
					-30	8-M30	150	540	450	280			55	28	77	52	129	600	95	800以上	-	740	16-D22	D13 [Ⓢ] 150	740	20-D22	D13 [Ⓢ] 150	470	740	16-D22	D13 [Ⓢ] 150	740	20-D22	D13 [Ⓢ] 150	470							
						8-M36	188	560	470	270			65	36	95	83	178	720	116	900以上	-	770	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	770	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	560	770	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	770	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	560							
					-42	8-M42	216	590	480	260			70	45	118	131	249	840	140	1100以上	-	790	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	800	32-D25	D16 [Ⓢ] 100	610	790	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	800	32-D25	D16 [Ⓢ] 100	610							
C1	21				-30	8-M30	111	600	510	340				36	102	52	154	600	106	800以上	150	800	16-D22	D13 [Ⓢ] 150	800	20-D22	D13 [Ⓢ] 150	450	800	12-D22	D13 [Ⓢ] 150	800	20-D22	D13 [Ⓢ] 150	450							
					-36	8-M36	127	610	520	320				40	117	83	200	720	117	900以上	160	820	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	820	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	540	820	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	820	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	540							
					-42	8-M42	175	640	530	310				48	155	131	286	840	138	1100以上	180	840	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	840	32-D25	D13 [Ⓢ] 150	700	840	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	840	32-D25	D13 [Ⓢ] 150	700							
						4-M42	163	600	490				75	49	129	73	202	840	144	1100以上	-	810	12-D25	D13 [Ⓢ] 150	810	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	400	810	12-D25	D13 [Ⓢ] 150	810	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	400							
					-48	4-M48	194	640	510				85	59	165	114	279	960	166	1200以上	-	840	12-D25	D13 [Ⓢ] 150	840	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	500	840	12-D25	D13 [Ⓢ] 150	840	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	500							
					-36	8-M36	234	610	520	320			60	34	110	83	193	720	114	900以上	-	820	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	820	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	540	820	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	820	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	540							
					-42	8-M42	282	640	530	310			70	42	136	131	267	840	137	1100以上	-	840	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	850	32-D25	D16 [Ⓢ] 100	600	840	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	850	32-D25	D16 [Ⓢ] 100	600							
					-48	8-M48	321	680	550	300			80	52	176	211	387	960	159	1300以上	-	880	20-D29	D13 [Ⓢ] 150	890	28-D29	D16 [Ⓢ] 100	790	880	20-D29	D13 [Ⓢ] 150	890	28-D29	D16 [Ⓢ] 100	790							
		450	9～25	EB450-8	-36	8-M36	169	660	570	370				44	150	84	234	720	121	900以上	170	870	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	870	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	520	870	16-D25	D13 [Ⓢ] 150	870	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	520							
			-42		8-M42	199	690	580	360				48	180	132	312	840	138	1100以上	180	890	24-D25	D13 [Ⓢ] 150	890	32-D25	D13 [Ⓢ] 150	680	890	20-D25	D13 [Ⓢ] 150	890	32-D25	D13 [Ⓢ] 150	680								
					-42	4-M42	199	650	540				75	48	153	73	226	840	143	1100以上	-	860	12-D25	D13 [Ⓢ] 150	860	16-D25	D13 [Ⓢ] 150															

(同等品を使用する)

ノンカットパイル

機械式杭頭接合工法

NCPアンカー工法 標準図

(財)日本建築センタ - による技術審査証明

「BCJ - 審査証明 - 3」(2016年6月3日)

Ver2016-1

1.NCPアンカ - 工法概要

NCPアンカー工法は、既製コンクリート杭(PHC杭・PRC杭)の杭頭端板に設けられた雌ねじに、NCPボルトの雄ねじ部を螺合し、かつ、内面に非螺合部(ねじ無し部)を設けたNCPカブラーを雄ねじ部に装着してトルクレンチにより締め付けることにより、杭と基礎フーチングを接合する機械式杭頭接合工法となる。

2.NCPアンカ - 部材形状及び構成

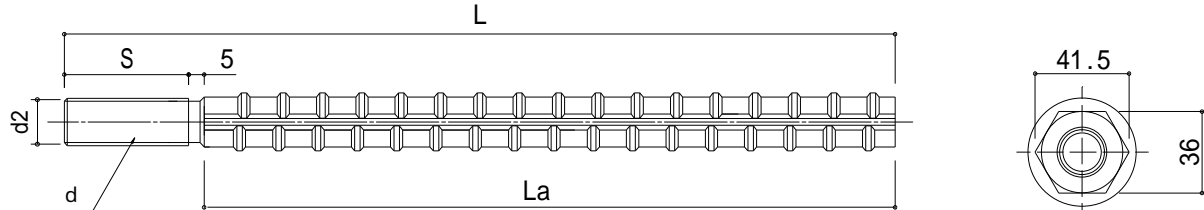


図 - 1 NCP標準タイプ ボルト形状

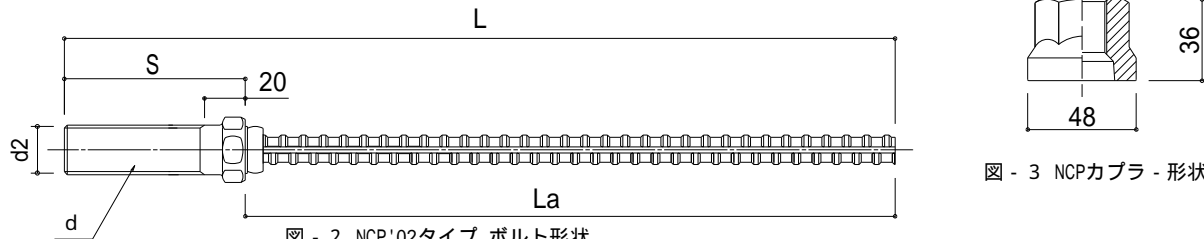


図 - 2 NCP'02タイプ ボルト形状

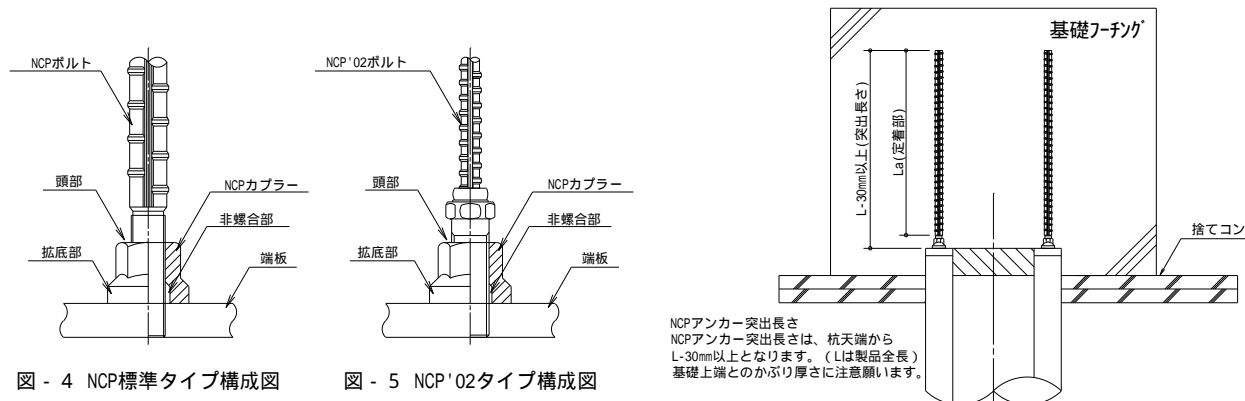


図 - 4 NCP標準タイプ構成図

図 - 5 NCP'02タイプ構成図

図 - 6 NCPアンカ - 工法の一般図

3.杭頭接合仕様

杭仕様			NCPアンカー仕様			
杭径	杭種	杭本数	鉄筋径	本/1杭	製品長さL	備考
300	節付PRC杭(種)	15	D25	6	720	
400	節付PRC杭(種)	16	D25	7	720	
500	節付PRC杭(種)	27	D25	11	720	

【注意事項】

- 1) NCPアンカーの鉄筋径は杭頭端板ねじ径により異なります。
- 2) 杭頭端板ねじ径は、杭メーカー・杭径・杭種により異なります。
- 3) 杭メーカー確定後、杭頭端板ねじ径を確認し上記表中の取付仕様にて接続可能を確認する。
- 4) 杭頭端板ねじ径が異なる場合は、設計時に使用した杭頭部応力にて再検討をする。

4.NCPアンカ - の種類及び寸法(SD345)

NCP タイプ	NCPボルト	NCPカブラー	鉄筋径 D	ねじ外径 d	ねじ有効径 d2	ねじ部 S	ねじ 無し部	定着部 La	製品全長 L	標準トルク値	養生ゴム
NCP 標準	D19 - M18	NCP 18	D19	18	16.376	60	5	485	550	203(N・m)	20
	D19 - W3/4	NCP 3/4		19.050	17.424					238(N・m)	
	D22 - M20	NCP 20	D22	20	18.380			565	630	288(N・m)	22
	D22 - M22	NCP 22		22	20.376					391(N・m)	
	D22 - W7/8	NCP 7/8		22.225	20.418					385(N・m)	
	D25 - M24	NCP 24	D25	24	22.051	75		640	720	497(N・m)	24
	D25 - W1	NCP 1		25.4	23.367					577(N・m)	
	D29 - M27	NCP 27	D29	27	25.051	740		820	727(N・m)	27	
	D29 - W1・1/8	NCP 1・1/8		28.575	26.252		818(N・m)				
NCP'02	D13 - 各ねじサイズ	各ねじサイズ	D13	各ねじ サイズ	各ねじ サイズ	80 (ねじ無し 部含む)	20	520	600	下表	各ねじ サイズ
	D16 - 各ねじサイズ		D16			640		720	下表		

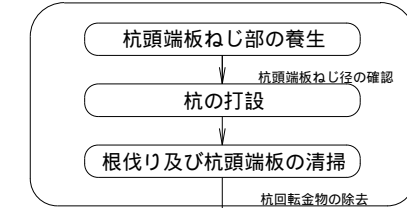
5.NCP'02標準トルク値

ねじ呼び名	M18	W3/4	M20	M22	W7/8	M24	W1
D13	134(N・m)	142(N・m)	149(N・m)	164(N・m)	166(N・m)	179(N・m)	189(N・m)
D16	210(N・m)	222(N・m)	233(N・m)	257(N・m)	259(N・m)	280(N・m)	296(N・m)

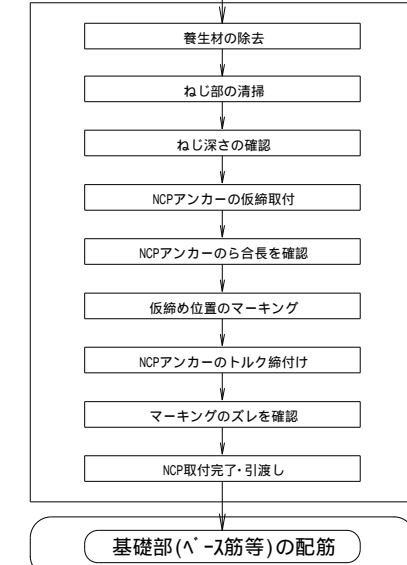
NCP標準,NCP'02共通:トルクの仕様により目盛りが合わない場合は、1目盛り上の値に設定する。

6.NCPアンカー標準施工フロー

【元請作業範囲】



【NCP取付工事範囲】

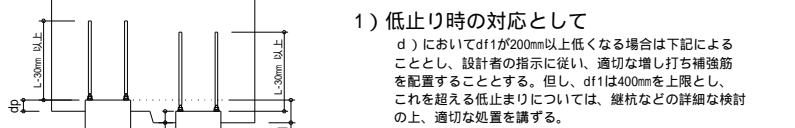
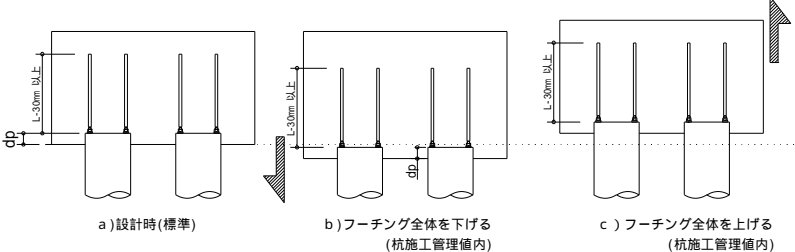


- ・NCP取付工事範囲以外は作業所(元請)の作業範囲とする。
- ・NCP取付工事は同部(グループ)会社の施工指導を受けたものが実施する。
- ・NCPアンカーの取付工事の詳細は、BCJ-審査証明-3「設計・施工マニュアル」及び施工要領書による。

参考-杭頭施工レベル

注意事項: 杭頭部の施工レベルについては参考とするため、詳細については設計者と協議の上、決定することとする。

- 1 杭頭部の基礎への埋込み長さdpは(100mmかつ指定の長さ以上)とする。
- 2 NCPアンカーの長さはご指定により長くする事は可能です。



1) 低止り時の対応として

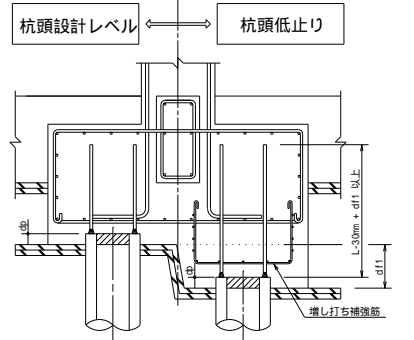
d) においてdf1が200mm以上低くなる場合は下記によることとし、設計者の指示に従い、適切な増し打ち補強筋を配置することとする。但し、df1は400mmを上限とし、これを超える低止まりについては、継杭などの詳細な検討の上、適切な処置を講ずる。

2) 高止り時の対応として

杭頭が高止まりして、ベース筋、基礎梁下端筋等と干渉して配筋に支障を生じた場合は、設計者と協議の上、適切な処置を講ずる。

【参考】

杭頭部を所定の長さまで除去し、杭内部PC鋼線をはつり出した上、中詰め補強筋による補強を行う。(中詰め補強筋の仕様は設計者の指示による)



構造設計者 一級建築士 第241724号 ・ 構造設計一級建築士 第467号 小野芳美

備考欄

青森県五所川原市金木町中給本館石259番地

日東綜合株式会社 代表取締役 山中政広
TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493

管理建築士

一級建築士事務所 県知事登録 第1120号
大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一

承認

設計

担当

縮尺

設計年月日

H30.12

工事名称 金木庁舎新築(建築)工事

図面名称 NCPアンカー工法 標準図

NO.

S 09

(同等品を使用する)

Q Lデッキ合成スラブ設計・施工標準

Q Lデッキ合成スラブの設計・施工は、(社)日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」「鉄骨工事技術指針」「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5鉄筋コンクリート工事及びJASS6鉄骨工事」、(社)日本鉄鋼連盟「デッキプレート床構造設計・施工規程・2004」、合成スラブ工業会「合成スラブの設計・施工マニュアル」、Q Lデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料 / デッキプレート		[ISO 9001 認証取得]	
デッキプレート種類	板厚(mm)	表面処理	
Q Lデッキ		裏面防錆処理(一次塗装) Q Lプライマー(P)	
Q L 99-50	端部加工 有り	亜鉛めっき	[Z12 Z27]
Q L 99-75	無し	ZAM(高耐食溶融めっき鋼板)	[K27 K35]
材 質	JIS G 3352 に定める SDP1T、SDP2、SDP2G		

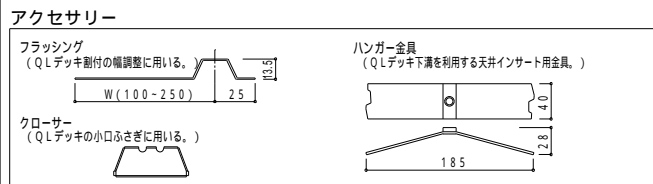
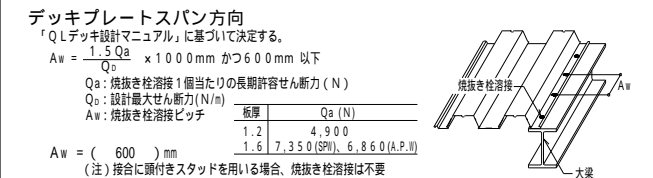
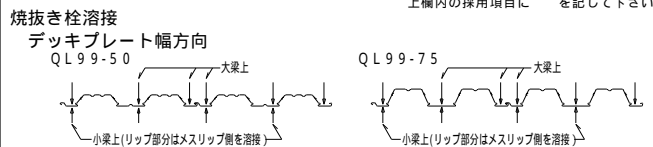
材料 / コンクリート		種類		普通コンクリート		軽量コンクリート (1種 2種)	
設計基準強度	18	21	()	N/mm ²			
厚さ(Q Lデッキ上)	60	70	80	85	90	95	100 ()mm

材料 / 溶接金網・異形鉄筋		溶接金網		異形鉄筋	
溶接金網	JIS G 3551	6-150×150	6-100×100		
異形鉄筋	JIS G 3112、3117	D10-@200	()		

接 合		焼抜き栓溶接		下記焼抜き栓溶接の項による	
溶接金網	JIS B 1198	13	16	19	22
頭付きスタッド					
そ の 他					

耐 火		1 時間		2 時間	
連続支持	FP060FL-9095			FP120FL-9107	
単純支持	FP060FL-9101			FP120FL-9113	
その他	()			()	
指定なし	()			()	

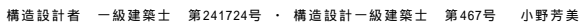
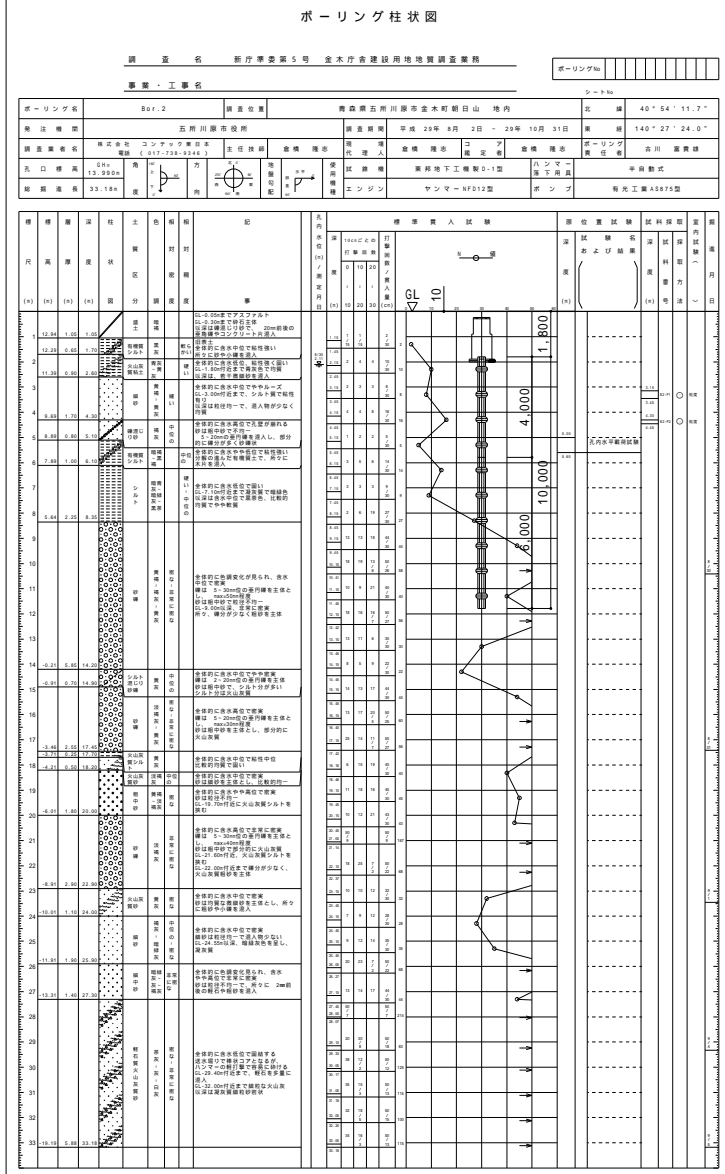
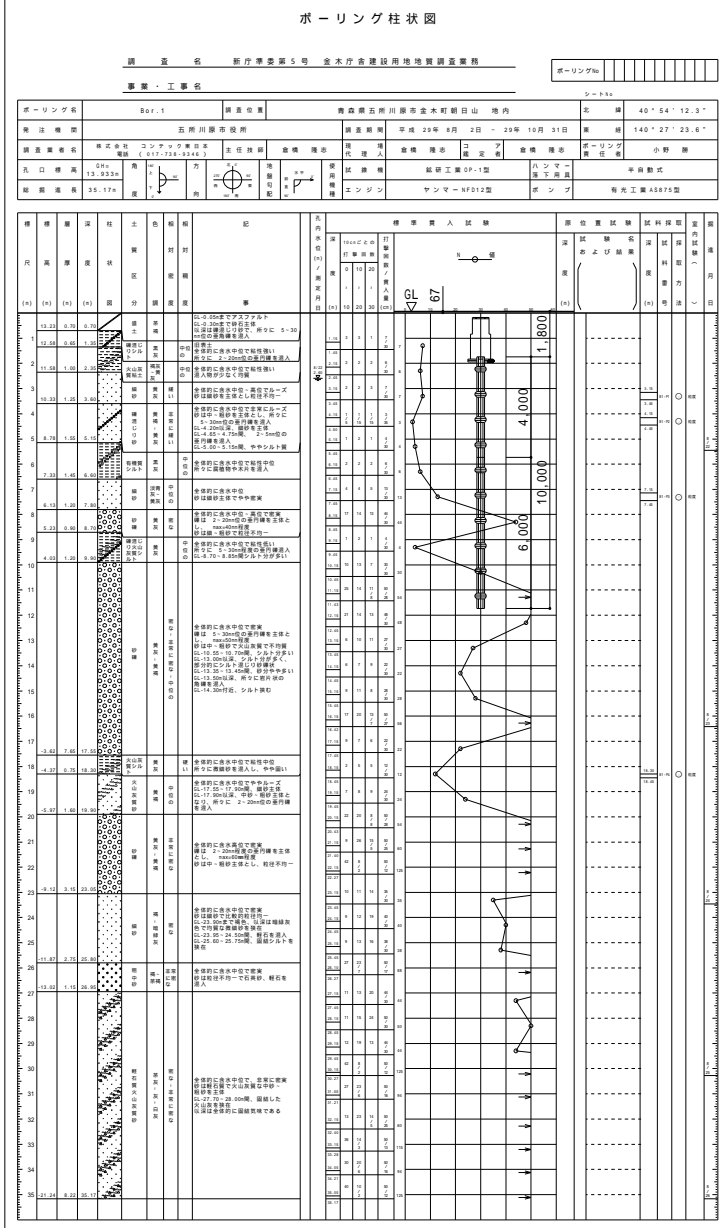
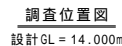
特 記		支保工有無		その他:	
支保工有	有				
支保工無	無				

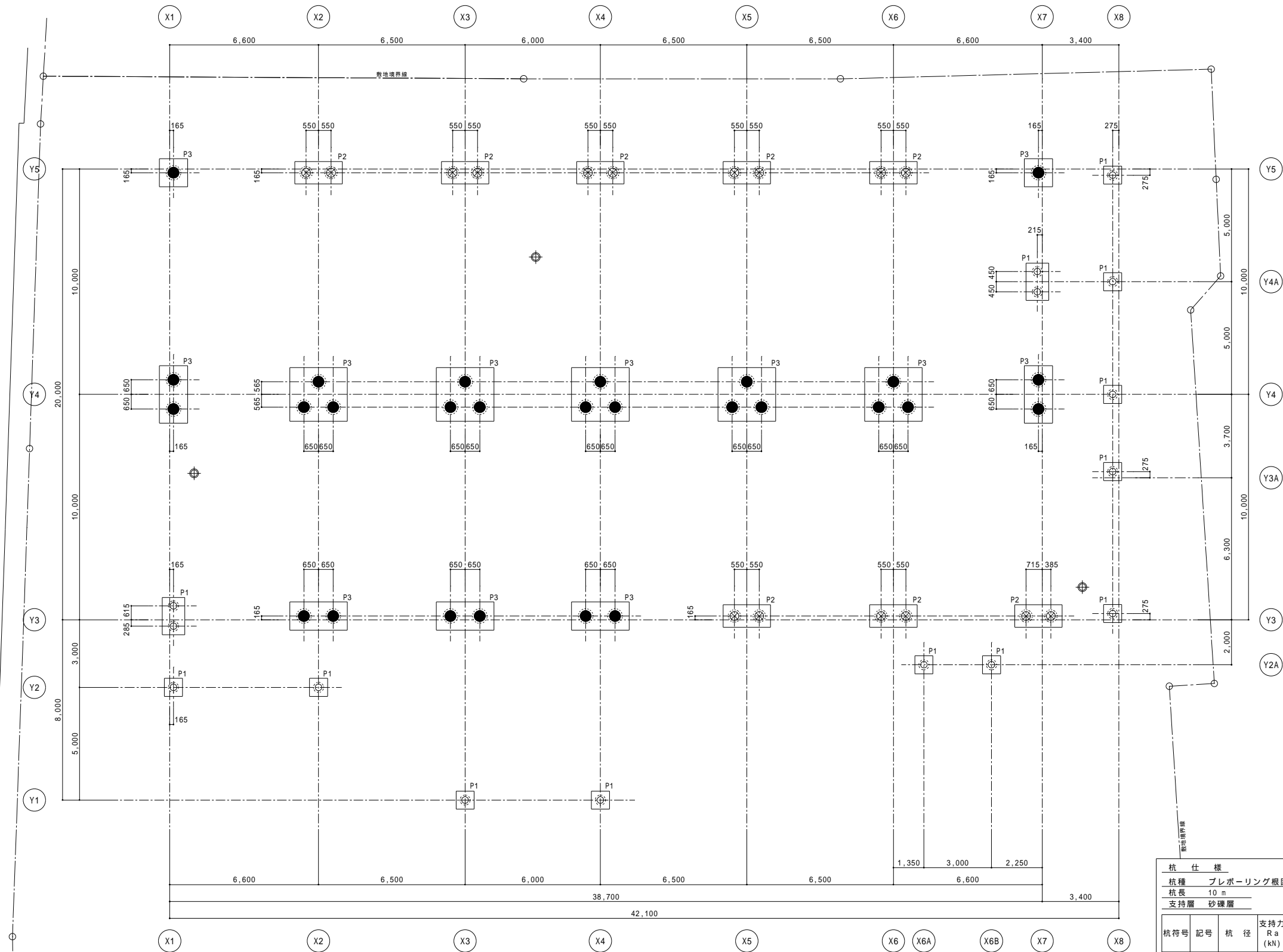


施工順序	敷 込 み	
	鉄骨梁の場合	R C梁または S R C梁の場合
1) 頭付きスタッド	1) 敷出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止の溶接した後、順次適当な枚数(5~10枚)ごとに仮止の溶接する。	1) デッキプレートは梁型枠に止める。
2) 打込み板	2) 各大梁上にデッキプレートの溝部が来るように敷込む。	2) デッキプレートの梁型枠へのめ込みが幅方向10mm以上、長手方向が30mmあることを確認する。
3) 溶接金網敷込み	デッキプレート幅方向のかり代は、50mm以上あることを確認する。(頭付きスタッドの場合は30mm以上)	
4) 溶接金網敷込み	溶接電圧: 190~230A(標準210A)	
5) 検査		
6) コンクリート打設		

耐火仕様

【連続支持合成スラブ】		耐火仕様	
支持梁: 鉄骨(S)梁 及び 大梁: 鉄筋コンクリート(RC)梁又は鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)梁、小梁: 鉄骨(S)梁	コンクリート: 設計基準強度 18 N/mm ² 以上の普通コンクリート、及び、軽量コンクリート (1種・2種)	耐火時間	コンクリート種類
床、1時間耐火 FP060FL-9095	普通コンクリート	品名	支持スパン
	軽量コンクリート	品名	コンクリート厚さ
		品名	溶接金網又は異形鉄筋 (D10-@200)
		品名	許容積載荷重
		品名	算出式 注5)A 参照
		品名	算出式 注5)B 参照
		品名	算出式 注5)C 参照
		品名	算出式 注5)D 参照
		品名	算出式 注5)E 参照
		品名	算出式 注5)F 参照
		品名	算出式 注5)G 参照
		品名	算出式 注5)H 参照
		品名	算出式 注5)I 参照
		品名	算出式 注5)J 参照
		品名	算出式 注5)K 参照
		品名	算出式 注5)L 参照
		品名	算出式 注5)M 参照
		品名	算出式 注5)N 参照
		品名	算出式 注5)O 参照
		品名	算出式 注5)P 参照
		品名	算出式 注5)Q 参照
		品名	算出式 注5)R 参照
		品名	算出式 注5)S 参照
		品名	算出式 注5)T 参照
		品名	算出式 注5)U 参照
		品名	算出式 注5)V 参照
		品名	算出式 注5)W 参照
		品名	算出式 注5)X 参照
		品名	算出式 注5)Y 参照
		品名	算出式 注5)Z 参照
		品名	算出式 注5)aa 参照
		品名	算出式 注5)ab 参照
		品名	算出式 注5)ac 参照
		品名	算出式 注5)ad 参照
		品名	算出式 注5)ae 参照
		品名	算出式 注5)af 参照
		品名	算出式 注5)ag 参照
		品名	算出式 注5)ah 参照
		品名	算出式 注5)ai 参照
		品名	算出式 注5)aj 参照
		品名	算出式 注5)ak 参照
		品名	算出式 注5)al 参照
		品名	算出式 注5)am 参照
		品名	算出式 注5)an 参照
		品名	算出式 注5)ao 参照
		品名	算出式 注5)ap 参照
		品名	算出式 注5)aq 参照
		品名	算出式 注5)ar 参照
		品名	算出式 注5)as 参照
		品名	算出式 注5)at 参照
		品名	算出式 注5)au 参照
		品名	算出式 注5)av 参照
		品名	算出式 注5)aw 参照
		品名	算出式 注5)ax 参照
		品名	算出式 注5)ay 参照
		品名	算出式 注5)az 参照
		品名	算出式 注5)ba 参照
		品名	算出式 注5)bb 参照
		品名	算出式 注5)bc 参照
		品名	算出式 注5)bd 参照
		品名	算出式 注5)be 参照
		品名	算出式 注5)bf 参照
		品名	算出式 注5)bg 参照
		品名	算出式 注5)bh 参照
		品名	算出式 注5)bi 参照
		品名	算出式 注5)bj 参照
		品名	算出式 注5)bk 参照
		品名	算出式 注5)bl 参照
		品名	算出式 注5)bm 参照
		品名	算出式 注5)bn 参照
		品名	算出式 注5)bo 参照
		品名	算出式 注5)bp 参照
		品名	算出式 注5)bq 参照
		品名	算出式 注5)br 参照
		品名	算出式 注5)bs 参照
		品名	算出式 注5)bt 参照
		品名	算出式 注5)bu 参照
		品名	算出式 注5)bv 参照
		品名	算出式 注5)bw 参照
		品名	算出式 注5)bx 参照
		品名	算出式 注5)by 参照
		品名	算出式 注5)bz 参照
		品名	算出式 注5)ca 参照
		品名	算出式 注5)cb 参照
		品名	算出式 注5)cc 参照
		品名	算出式 注5)cd 参照
		品名	算出式 注5)ce 参照
		品名	算出式 注5)cf 参照
		品名	算出式 注5)cg 参照
		品名	算出式 注5)ch 参照
		品名	算出式 注5)ci 参照
		品名	算出式 注5)cj 参照
		品名	算出式 注5)ck 参照
		品名	算出式 注5)cl 参照
		品名	算出式 注5)cm 参照
		品名	算出式 注5)cn 参照
		品名	算出式 注5)co 参照
		品名	算出式 注5)cp 参照
		品名	算出式 注5)cq 参照
		品名	算出式 注5)cr 参照
		品名	算出式 注5)cs 参照
		品名	算出式 注5)ct 参照
		品名	算出式 注5)cu 参照
		品名	算出式 注5)cv 参照
		品名	算出式 注5)cw 参照
		品名	算出式 注5)cx 参照
		品名	算出式 注5)cy 参照
		品名	算出式 注5)cz 参照
		品名	算出式 注5)da 参照
		品名	算出式 注5)db 参照
		品名	算出式 注5)dc 参照
		品名	算出式 注5)dd 参照
		品名	算出式 注5)de 参照
		品名	算出式 注5)df 参照
		品名	算出式 注5)dg 参照
		品名	算出式 注5)dh 参照
		品名	算出式 注5)di 参照
		品名	算出式 注5)dj 参照
		品名	算出式 注5)dk 参照
		品名	算出式 注5)dl 参照
		品名	算出式 注5)dm 参照
		品名	算出式 注5)dn 参照
		品名	算出式 注5)do 参照
		品名	算出式 注5)dp 参照
		品名	算出式 注5)dq 参照
		品名	算出式 注5)dr 参照
		品名	算出式 注5)ds 参照
		品名	算出式 注5)dt 参照
		品名	算出式 注5)du 参照
		品名	算出式 注5)dv 参照
		品名	算出式 注5)dw 参照
		品名	算出式 注5)dx 参照
		品名	算出式 注5)dy 参照
		品名	算出式 注5)dz 参照
		品名	算出式 注5)ea 参照
		品名	算出式 注5)eb 参照
		品名	算出式 注5)ec 参照
		品名	算出式 注5)ed 参照
		品名	算出式 注5)ee 参照
		品名	算出式 注5)ef 参照
		品名	算出式 注5)eg 参照
		品名	算出式 注5)eh 参照
		品名	算出式 注5)ei 参照
		品名	算出式 注5)ej 参照
		品名	算出式 注5)ek 参照
		品名	算出式 注5)el 参照
		品名	算出式 注5)em 参照
		品名	算出式 注5)en 参照
		品名	算出式 注5)eo 参照
		品名	算出式 注5)ep 参照
		品名	算出式 注5)eq 参照
		品名	算出式 注5)er 参照
		品名	算出式 注5)es 参照
		品名	算出式 注5)et 参照
		品名	算出式 注5)eu 参照
		品名	算出式 注5)ev 参照
		品名	算出式 注5)ew 参照
		品名	算出式 注5)ex 参照
		品名	算出式 注5)ey 参照
		品名	算出式 注5)ez 参照
		品名	算出式 注5)fa 参照
		品名	算出式 注5)fb 参照
		品名	算出式 注5)fc 参照
		品名	算出式 注5)fd 参照
		品名	算出式 注5)fe 参照
		品名	算出式 注5)ff 参照
		品名	算出式 注5)fg 参照
		品名	算出式 注5)fh 参照
		品名	算出式 注5)fi 参照
		品名	算出式 注5)fj 参照
		品名	算出式 注5)fk 参照
		品名	算出式 注5)fl 参照
		品名	算出式 注5)fm 参照
		品名	算出式 注5)fn 参照
		品名	算出式 注5)fo 参照
		品名	算出式 注5)fp 参照
		品名	算出式 注5)fq 参照
		品名	算出式 注5)fr 参照
		品名	算出式 注5)fs 参照
		品名	算出式 注5)ft 参照
		品名	算出式 注5)fu 参照
		品名	算出式 注5)fv 参照
		品名	算出式 注5)fw 参照
		品名	算出式 注5)fx 参照
		品名	算出式 注5)fy 参照
		品名	算出式 注5)fz 参照
		品名	算出式 注5)ga 参照
		品名	算出式 注5)gb 参照
		品名	算出式 注5)gc 参照
		品名	算出式 注5)gd 参照
		品名	算出式 注5)ge 参照
		品名	算出式 注5)gf 参照
		品名	算出式 注5)gg 参照
		品名	算出式 注5)gh 参照
		品名	算出式 注5)gi 参照
		品名	算出式 注5)gj 参照
		品名	算出式 注5)gk 参照
		品名	算出式 注5)gl 参照
		品名	算出式 注5)gm 参照
		品名	算出式 注5)gn 参照
		品名	算出式 注5)go 参照
		品名	算出式 注5)gp 参照
		品名	算出式 注5)gq 参照
		品名	算出式 注5)gr 参照
		品名	算出式 注5)gs 参照
		品名	算出式 注5)gt 参照
		品名	算出式 注5)gu 参照
		品名	算出式 注5)gv 参照
		品名	算出式 注5)gw 参照
		品名	算出式 注5)gx 参照
		品名	算出式 注5)gy 参照
		品名	算出式 注5)gz 参照
		品名	算出式 注5)ha 参照
		品名	算出式 注5)hb 参照
		品名	算出式 注5)hc 参照
		品名	算出式 注5)hd 参照
		品名	算出式 注5)he 参照
		品名	算出式 注5)hf 参照
		品名	算出式 注5)hg 参照
		品名	算出式 注5)hh 参照
		品名	算出式 注5)hi 参照
		品名	算出式 注5)hj 参照
		品名	算出式 注5)hk 参照
		品名	算出式 注5)hl 参照
		品名	算出式 注5)hm 参照
		品名	算出式 注5)hn 参照
		品名	算出式 注5)ho 参照
		品名	算出式 注5)hp 参照
		品名	算出式 注5)hq 参照
		品名	算出式 注5)hr 参照
		品名	算出式 注5)hs 参照
		品名	算出式 注5)ht 参照
		品名	算出式 注5)hu 参照
		品名	算出式 注5)hv 参照
		品名	算出式 注5)hw 参照
		品名	算出式 注5)hx 参照
		品名	算出式 注5)hy 参照
		品名	算出式 注5)hz 参照
		品名	算出式 注5)ia 参照
		品名	算出式 注5)ib 参照
		品名	算出式 注5)ic 参照
		品名	算出式 注5)id 参照
		品名	算出式 注5)ie 参照
		品名	算出式 注5)if 参照
		品名	算出式 注5)ig 参照
		品名	算出式 注5)ih 参照
		品名	算出式 注5)ii 参照
		品名	算出式 注5)ij 参照
		品名	算出式 注5)ik 参照
		品名	算出式 注5)il 参照
		品名	算出式 注5)im 参照
		品名	算出式 注5)in 参照
		品名	算出式 注5)io 参照
		品名	算出式 注5)ip 参照
		品名	算出式 注5)iq 参照
		品名	算出式 注5)ir 参照
		品名	算出式 注5)is 参照
		品名	算出式 注5)it 参照
		品名	算出式 注5)iu 参照
		品名	算出式 注5)iv 参照
		品名	算出式 注5)iw 参照
		品名	算出式 注5)ix 参照
		品名	算出式 注5)iy 参照
		品名	算出式 注5)iz 参照
		品名	算出式 注5)ja 参照
		品名	算出式 注5)jb 参照
		品名	算出式 注5)jc 参照
		品名	算出式 注5)jd 参照
		品名	算出式 注5)je 参照
		品名	算出式 注5)jf 参照
		品名	算出式 注5)jg 参照
		品名	算出式 注5)jh 参照
		品名	算出式 注5)ji 参照
		品名	算出式 注5)jj 参照
		品名	算出式 注5)jk 参照
		品名	算出式 注5)jl





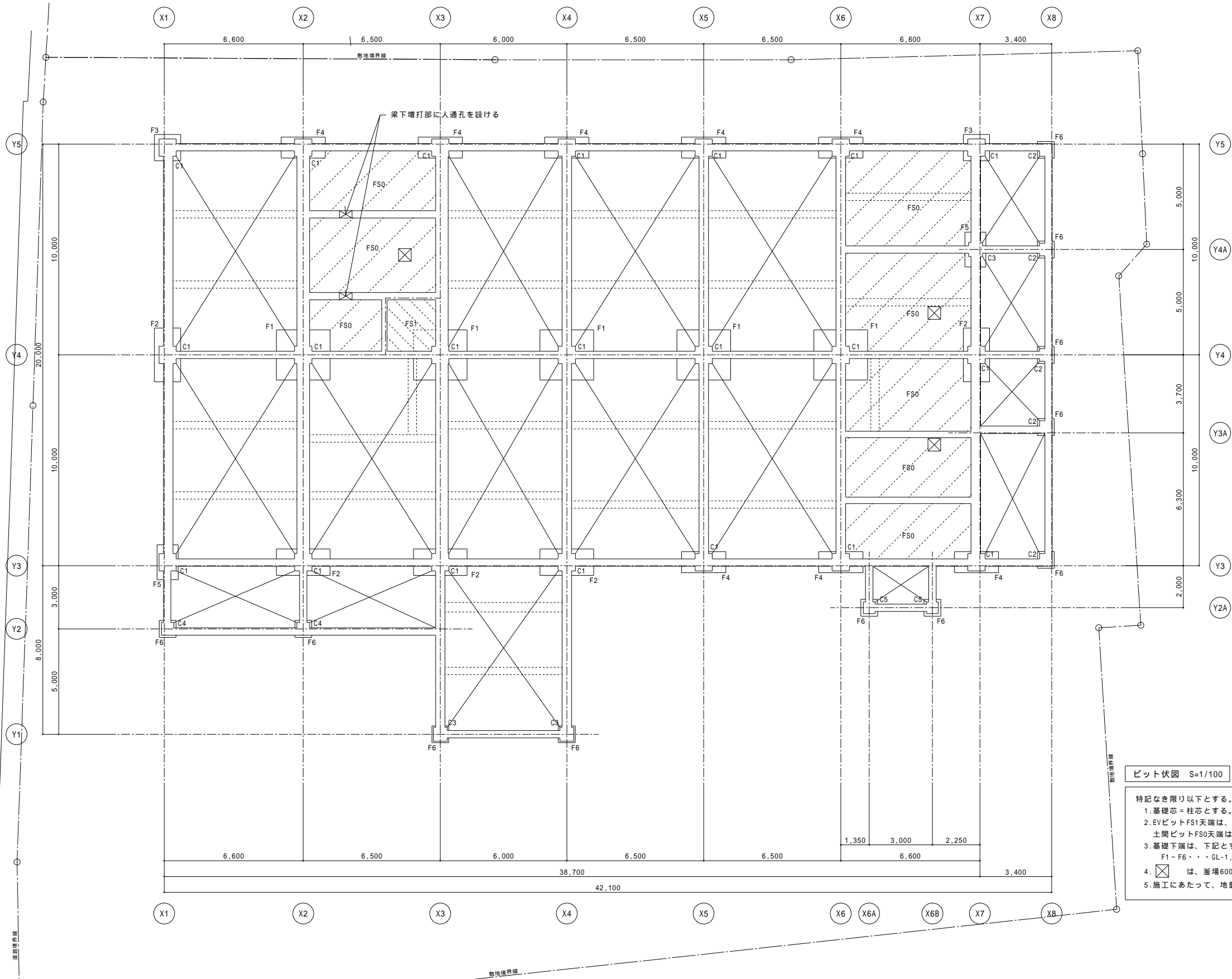
杭伏図 S=1/100

- 特記なき限り下記とする。
- 基礎下端レベルは、GL-1,900(杭頭天端GL-1,800)とする。
 - 杭芯 = 柱芯とする。
 - 施工にあたって、地盤の転圧は十分に行うこと。

印は試験堀位置を示す(3箇所)
試験堀長さは杭先端位置 + 1 m (GL-12.80m)とする。

杭 仕 様										
杭種		プレボーリング根固め工法(MFC- 工法と同等品)								
杭長		10 m								
支持層		砂礫層								
杭符号	記号	杭 径	支持力 Ra (kN)	杭全長 L (m)	杭 明 細				杭本数	備 考
					下 杭		上 杭			
					杭 種	長さ(m)	杭 種	長さ(m)		
P1	☉	3045	660	10	節付PHC杭 (A種)	6	節付PRC杭 (種)	4	15 本	杭頭天端 GL-1,800
P2	☼	4055	870	10	節付PHC杭 (A種)	6	節付PRC杭 (種)	4	16 本	杭頭天端 GL-1,800
P3	●	5065	1,110	10	節付PHC杭 (A種)	6	節付PRC杭 (種)	4	27 本	杭頭天端 GL-1,800
(合 計)									58 本	

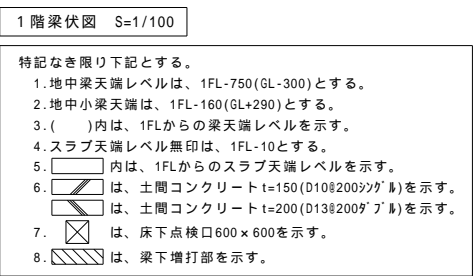
杭は全て評定品とする。
杭は全て105Nとする。
杭は1本杭とし、PRC杭は部分PRC型とする。



ビット伏図 S=1/100

特記なき限り以下とする。

- 基礎芯 = 柱芯とする。
- EVビットFS1天端は、1FL-1,250(GL-800)とする。
土間ビットFS0天端は、1FL-1,660(GL-1,210)とする。
- 基礎下端は、下記とする。
F1～F6・・・GL-1,900(杭頭天端GL-1,800)
- ⊠ は、釜場600×600×H300を示す。
- 施工にあたって、地盤の転圧は十分に行うこと。

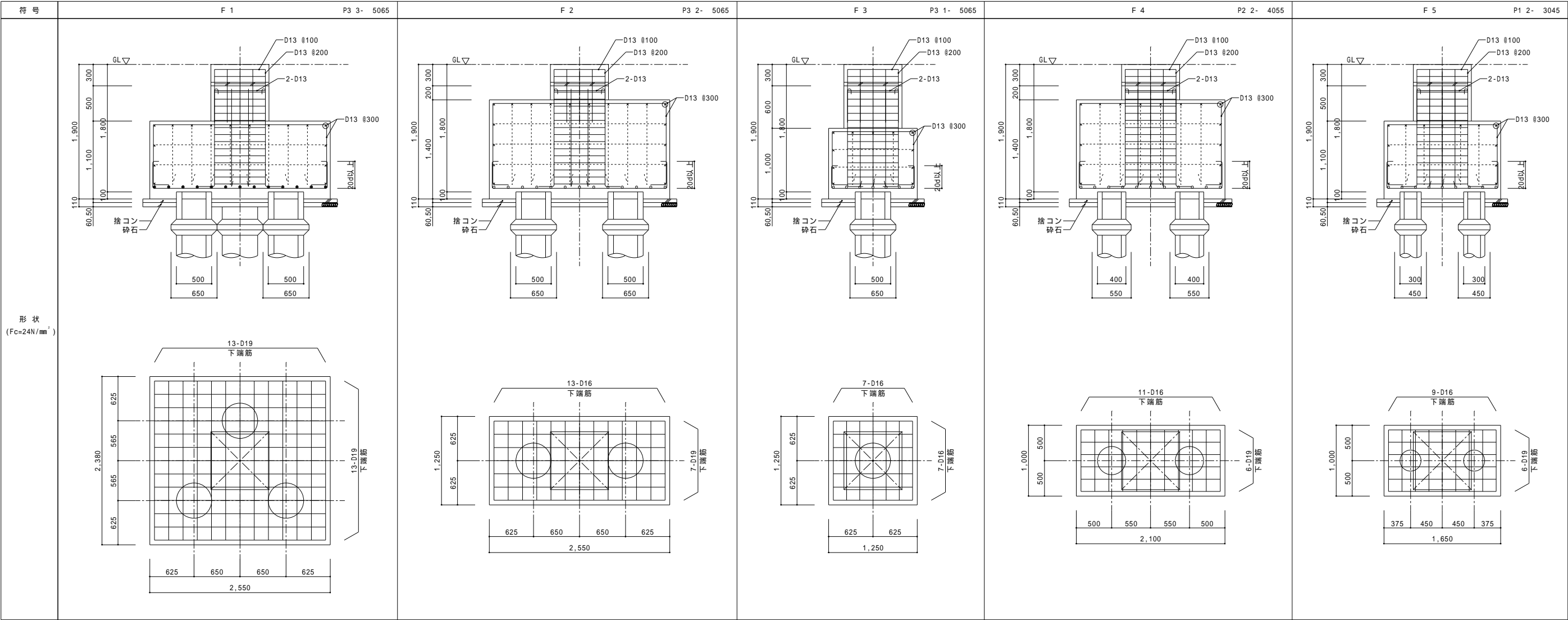


NO.

S 14

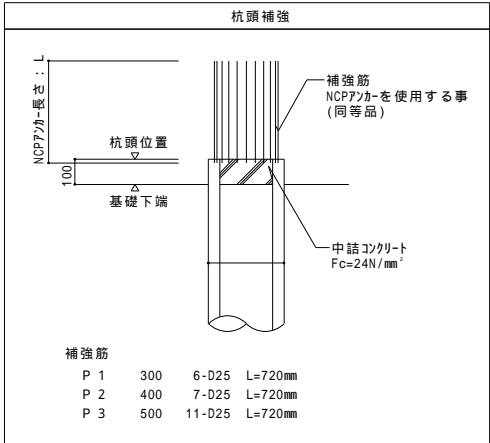
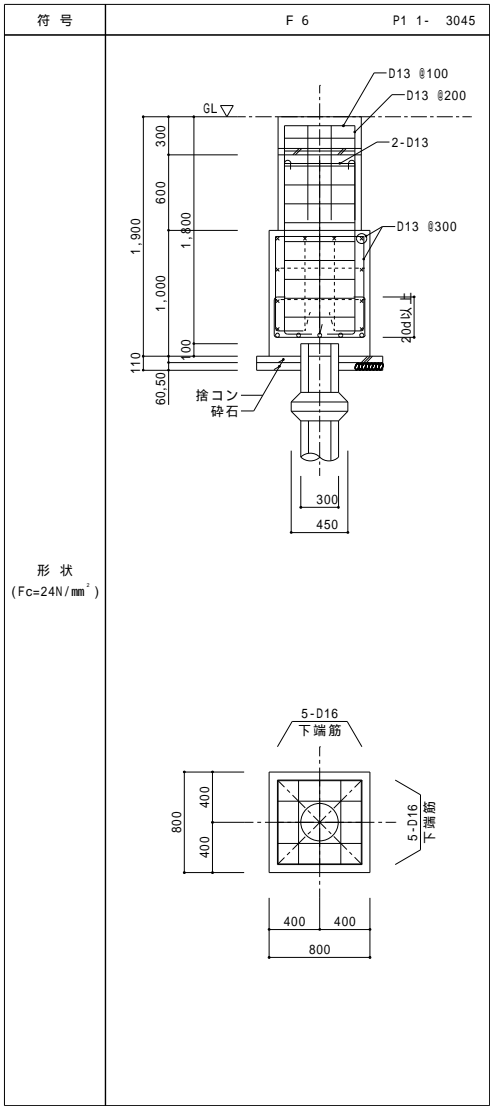
基礎リスト(1) S=1/30

基礎柱形配筋は S-08図、S-24図(柱脚リスト(1)) による。
基礎の向きは、杭伏図(S-12)による。

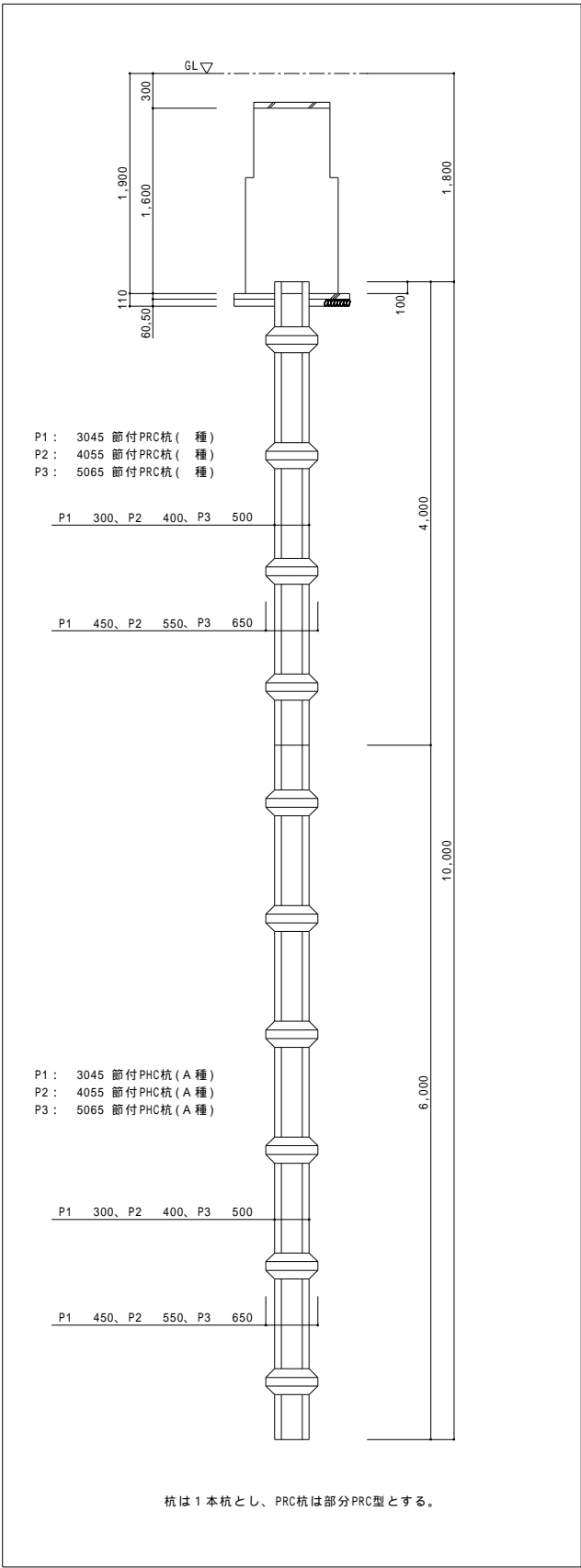


基礎リスト (2) S=1/30

基礎柱形配筋は S-08図、
S-24図(柱脚リスト(1)) による。



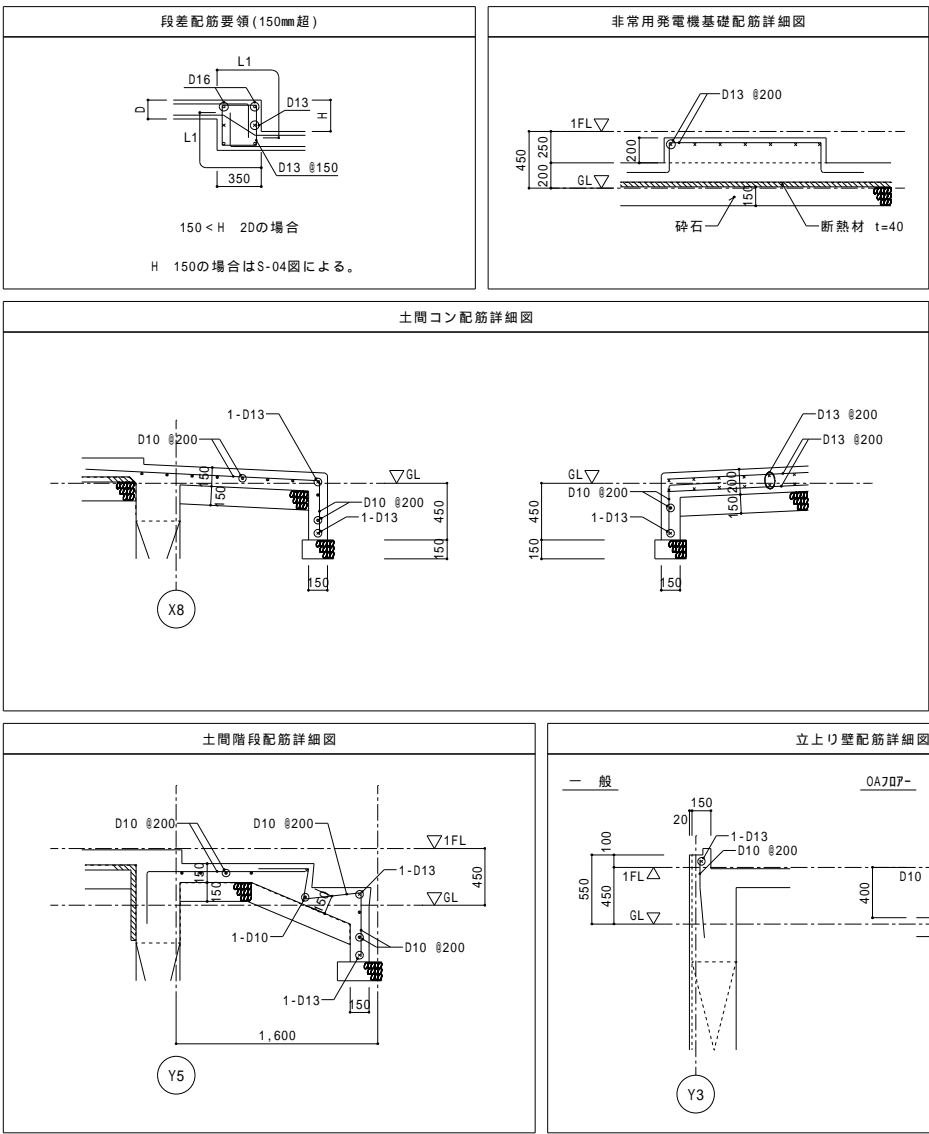
杭姿図 S=1/30



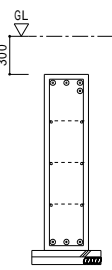
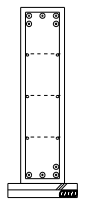
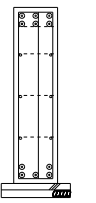
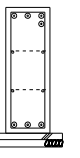
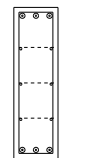
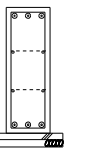
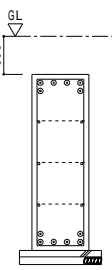
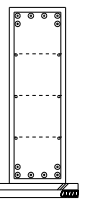
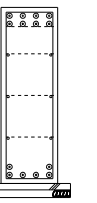
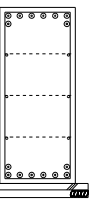
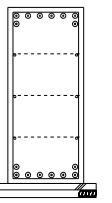
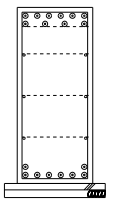
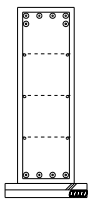
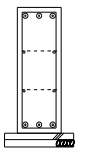


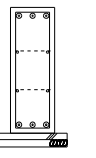
スラブリスト

記 号	スラブ厚	位 置	スラブ配筋リスト (モチアミ)		備 考
			短辺方向(主筋)	長辺方向(配力筋)	
			全 域	全 域	
S 1	t = 150	上端筋	D10・D13 #200	D10・D13 #250	
		下端筋	D10・D13 #200	D10・D13 #250	
S 2	t = 150	上端筋	D13 #200	D13 #250	
		下端筋	D13 #200	D13 #250	
S 3	t = 150	上端筋	D13 #150	D13 #200	
		下端筋	D13 #150	D13 #200	
F S 1	t = 250	上端筋	D13 #150	D13 #150	E V ビット
		下端筋	D13 #150	D13 #150	
F S 0	t = 150	上端筋	D10・D13 #200	D10・D13 #200	土間ビット
		下端筋	D10・D13 #200	D10・D13 #200	

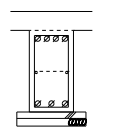
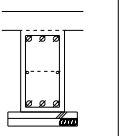
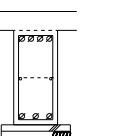
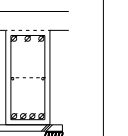
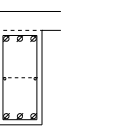
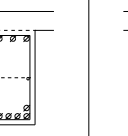
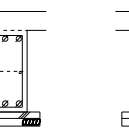
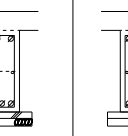
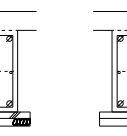
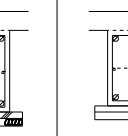
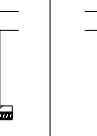
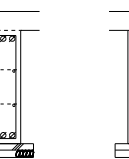
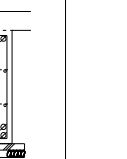
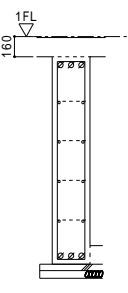
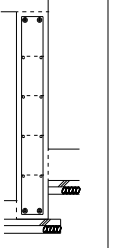
雑配筋図 (1) S=1/30



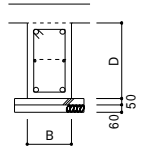
地中梁リスト S=1/30

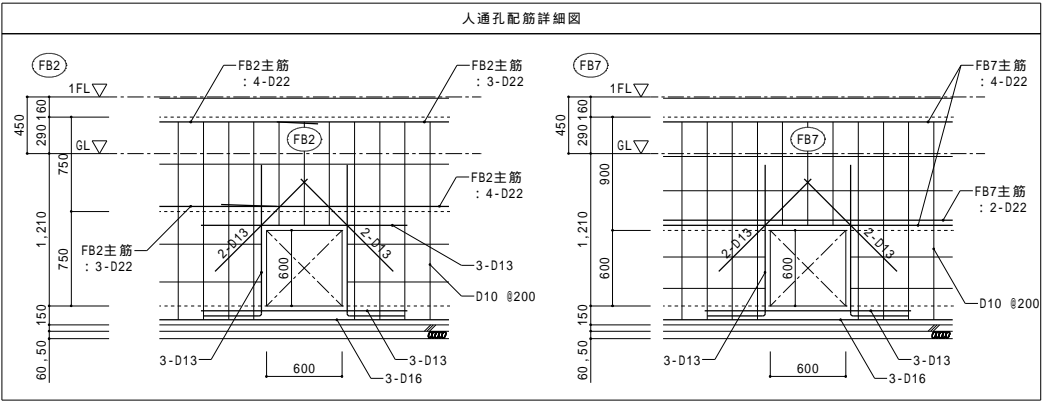
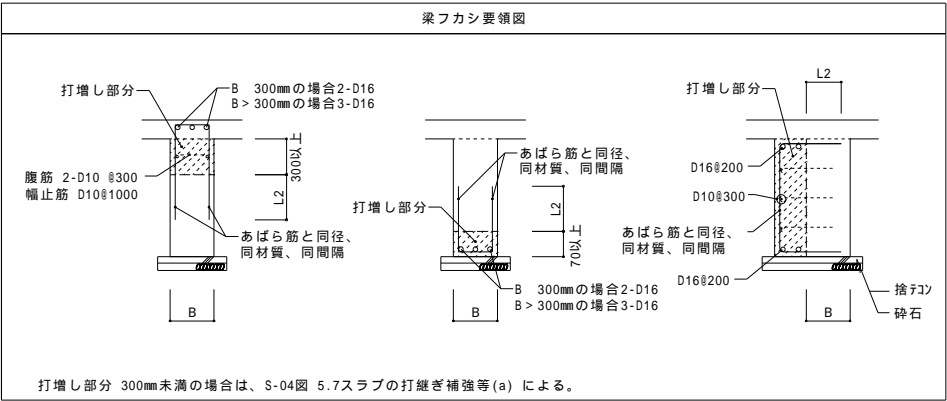
符 号	FG 1	FG 2	FG 2 A	FG 3	FG 4	FG 5		FG 1 1			FG 1 1 A			FG 1 2	FG 1 3	FG 1 4	FG 1 5	FG 1 6
位 置	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面		Y3、Y5通り側端部	中 央	Y4通り側端部	Y3、Y5通り側端部	中 央	Y4通り側端部	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面
断 面 (Fc=24N/mm ²)																		
								カットオフ筋は柱面から3,400mmとする。			カットオフ筋は柱面から3,400mmとする。							
	B × D	350 × 1,400	350 × 1,400	350 × 1,400	350 × 1,000	350 × 1,200	350 × 1,000	450 × 1,400			600 × 1,400			450 × 1,400	350 × 1,000	450 × 1,200	350 × 1,200	350 × 1,000
	上 端 筋	4 - D25	5 - D25	6 - D25	4 - D25	3 - D25	3 - D25	6 - D25	6 - D25	8 - D25	8 - D25	8 - D25	10 - D25	6 - D25	3 - D25	6 - D25	4 - D25	3 - D25
	下 端 筋	3 - D25	4 - D25	5 - D25	3 - D25	3 - D25	3 - D25	6 - D25	6 - D25	6 - D25	8 - D25	8 - D25	8 - D25	4 - D25	3 - D25	6 - D25	3 - D25	3 - D25
	ｽﾀｰﾌﾟ	□ - D13 @200	□ - D13 @150	□ - D13 @150	□ - D13 @200	□ - D13 @200	□ - D13 @200	□ - D13 @200			□ - D13 @150			□ - D13 @200	□ - D13 @200	□ - D13 @200	□ - D13 @200	□ - D13 @200
腹 筋	6 - D10	6 - D10	6 - D10	4 - D10	6 - D10	4 - D10		6 - D10			6 - D10			6 - D10	4 - D10	6 - D10	6 - D10	4 - D10

地中小梁リスト S=1/30

符 号	FB 1		FB 2		FB 3		FB 4		FB 5		FB 6	FB 7			FB 1 1	FB 1 2
位 置	両 端	中 央	両 端	中 央	両 端	中 央	両 端	中 央	両 端	中 央	全 断 面	両 端	中 央		全 断 面	全 断 面
断 面 (Fc=24N/mm ²)																
	B × D		350 × 650		350 × 750		350 × 750		350 × 650		450 × 650	400 × 600			350 × 900	
	上 端 筋	4 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22		3 - D22	2 - D19
	下 端 筋	3 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	5 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	5 - D22	3 - D22	6 - D22		3 - D22	2 - D19
	ｽﾀｰﾌﾟ	□ - D10 @200		□ - D10 @200		□ - D10 @200		□ - D10 @200		□ - D10 @150		□ - D10 @150			□ - D10 @200	□ - D10 @200
腹 筋	2 - D10		2 - D10		2 - D10		2 - D10		2 - D10		2 - D10	4 - D10			8 - D10	8 - D10

特 記 事 項

1. B × D
- 
2. 巾止め筋は、D10 @1,000とする。
- 鉄筋記号
- D 2 5
 - ◇ D 2 2
 - D 1 9



構造設計者 一級建築士 第241724号 ・ 構造設計一級建築士 第467号 小野芳美

青森県五所川原市金木町中給木館石259番地
日 東 綜 合 株 式 有 限 公 司
代表取締役 山中政広
TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493

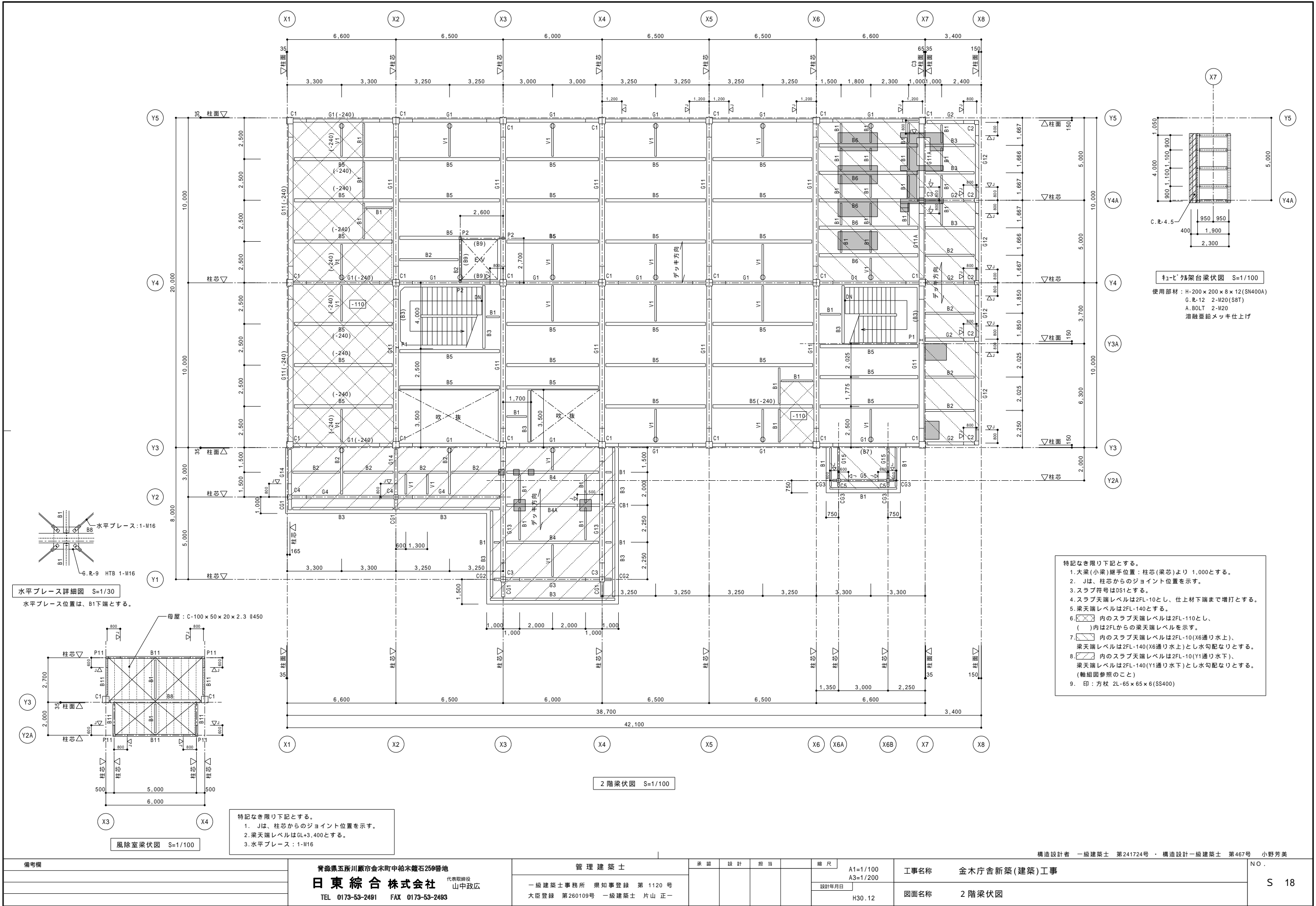
管 理 建 築 士
一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号
大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一

承認 設計 担当

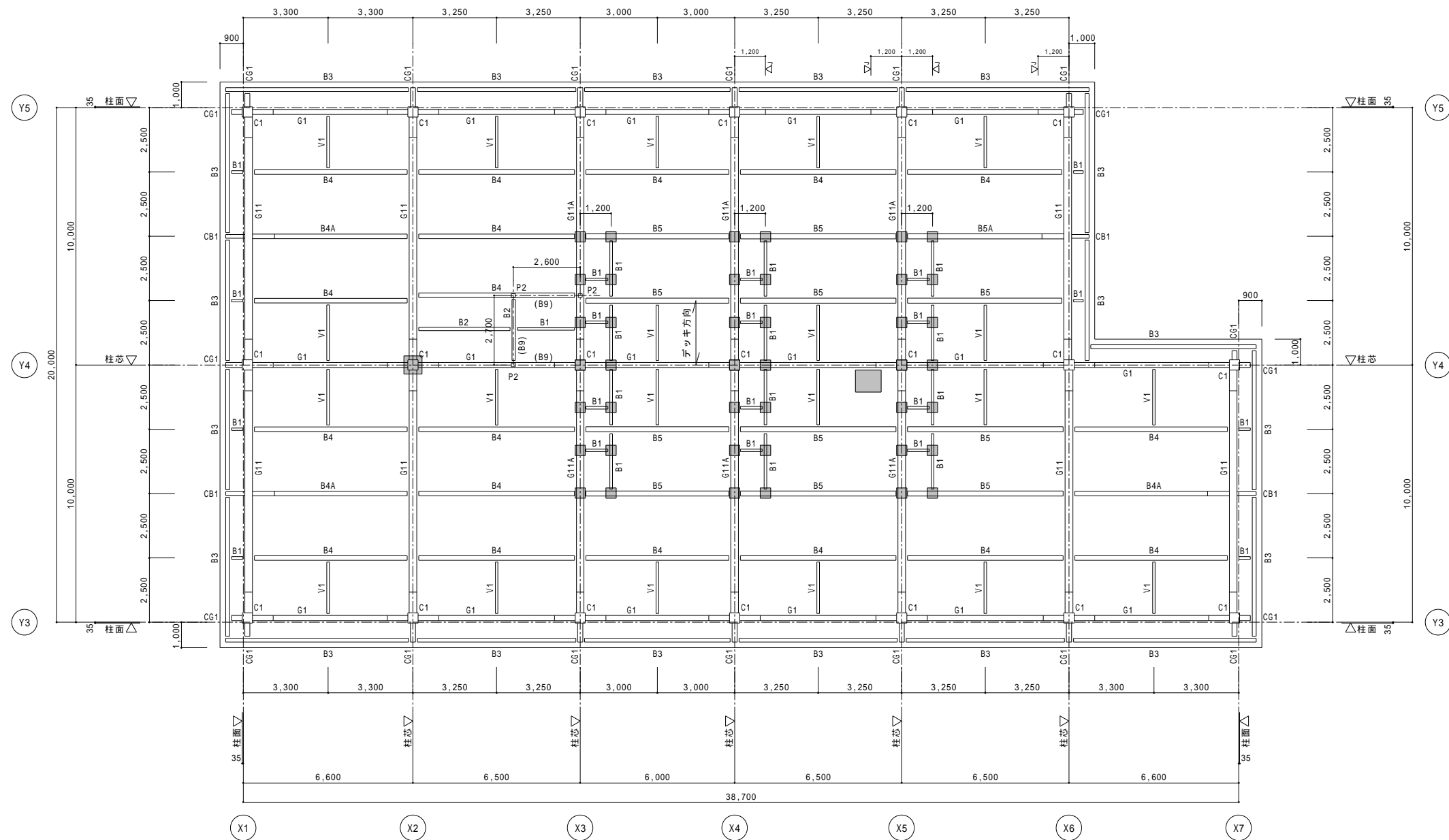
縮 尺
A1=1/30
A3=1/60
設計年月日
H30.12

工事名称 金木庁舎新築(建築)工事
図面名称 地中梁リスト

NO.



備考欄	青森県五所川原市金木町中柏木鐘石259番地	管 理 建 築 士	承 認	設 計	担 当	縮 尺	工事名称 金木庁舎新築(建築)工事	NO. S 18	
	日 東 綜 合 株 式 会 社 代表取締役 山中政広 TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493	一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一				A1=1/100 A3=1/200			
						設計年月日			
						H30.12			図面名称 2 階梁伏図



R 階梁伏図 S=1/100

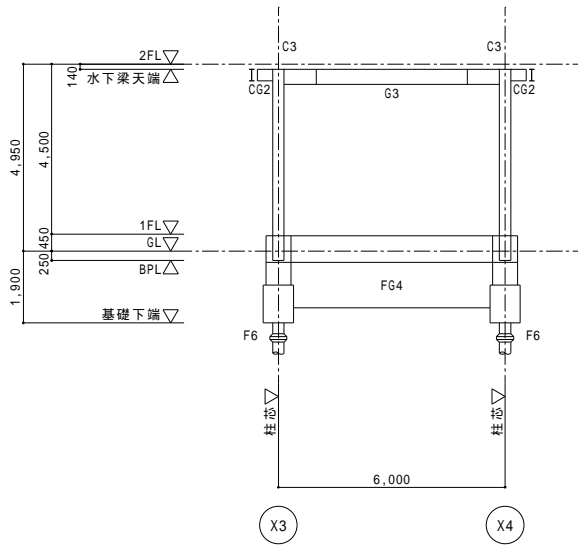
- 特記なき限り下記とする。
- 1.大梁継手位置：柱芯より 1,000とする。
 2. Jは、柱芯からのジョイント位置を示す。
 - 3.スラブ符号はDS1とする。
 - 4.スラブ天端レベルはRSL-10(水下)とし水勾配なりとする。
 - 5.梁天端レベルはRSL-140(水下)とし水勾配なりとする。

備考欄		青森県五所川原市金木町中船木館石259番地		管 理 建 築 士		承認		設計		担当		縮 尺		A1=1/100 A3=1/200		工事名称		金木庁舎新築(建築)工事		NO.	
		日 東 綜 合 株 式 有 限 公 司		代表取締役 山中政広		一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号						設計年月日						S		19	
		TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493				大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一						H30.12				図面名称		R 階梁伏図			

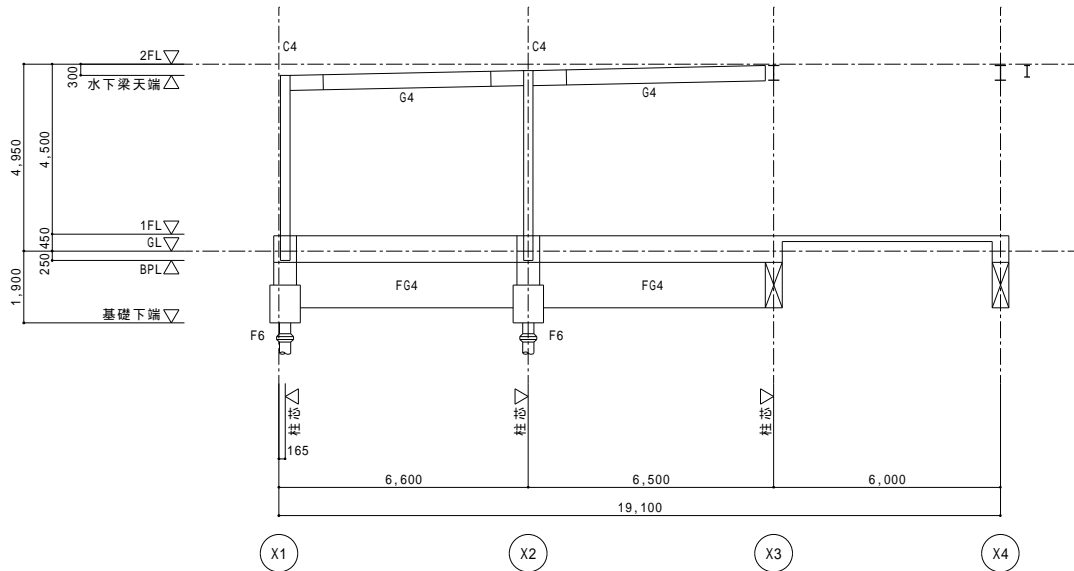
開口補強材リスト 中鉄11はスリットリッパ付（SW付）とする。

符 号	部 材		符 号	部 材	
a	L-50×50×6	G.R-6 中鉄11 2-M12	g	-100×100×3.2	G.R-6 中鉄11 2-M12
b	L-65×65×6	G.R-6 中鉄11 2-M12	h	-100×100×4.5	G.R-6 中鉄11 2-M12
c	L-75×75×6	G.R-6 中鉄11 2-M12	i	-100×100×6	G.R-6 中鉄11 2-M12
d	L-75×75×9	G.R-6 中鉄11 2-M12			
e	L-90×90×7	G.R-6 中鉄11 2-M12			
f	L-90×90×10	G.R-6 中鉄11 2-M12			

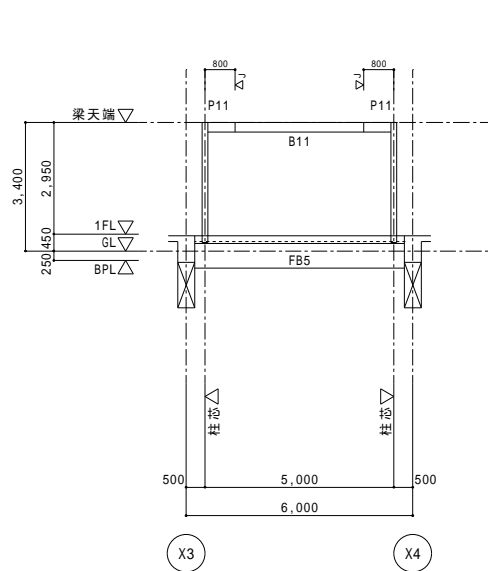
- 特記なき限り下記とする。
- 大梁継手位置：柱芯（梁芯）より 1,000とする。
 - Jは、柱芯からのジョイント位置を示す。
 - は外壁（押出成形メント板）の開口を示す。



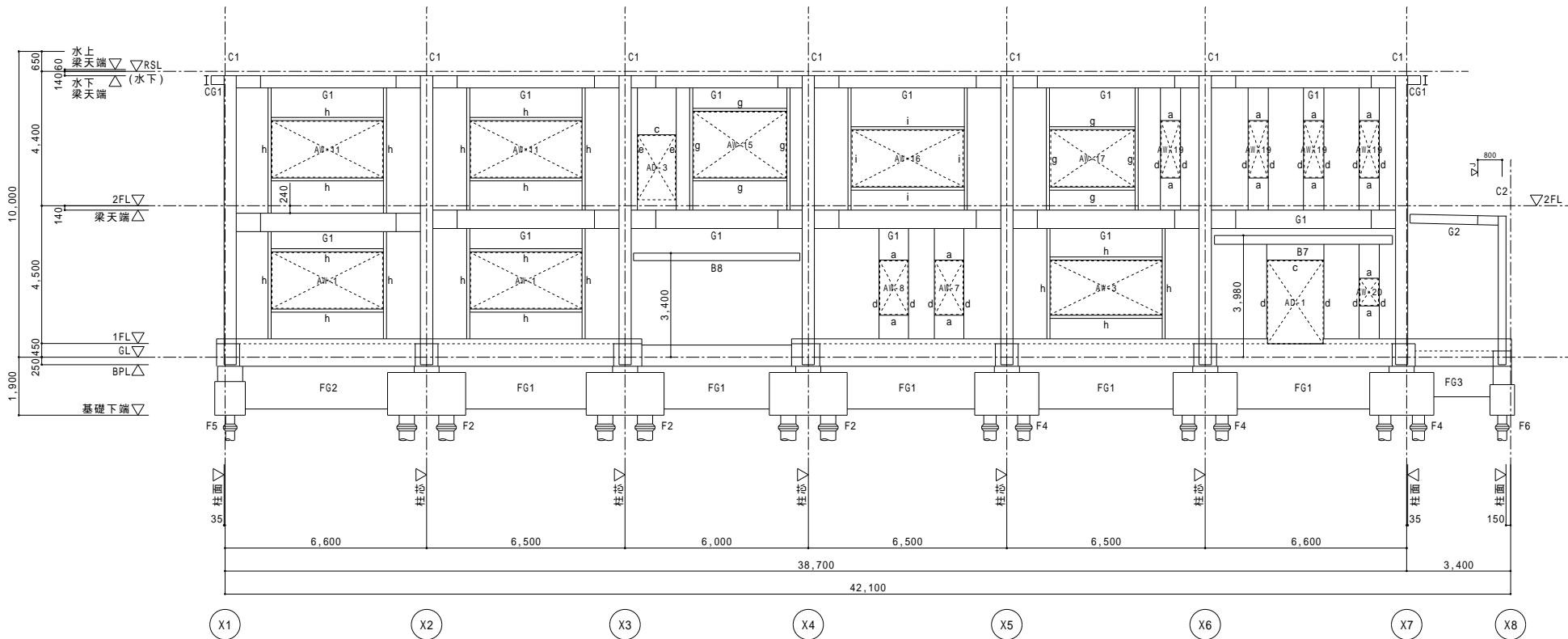
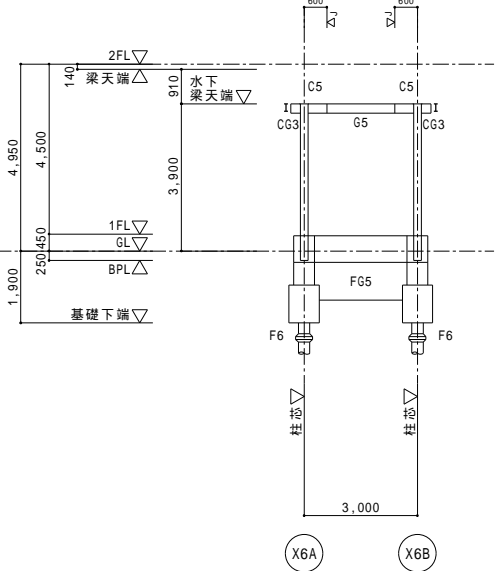
Y1通り軸組図 S=1/100



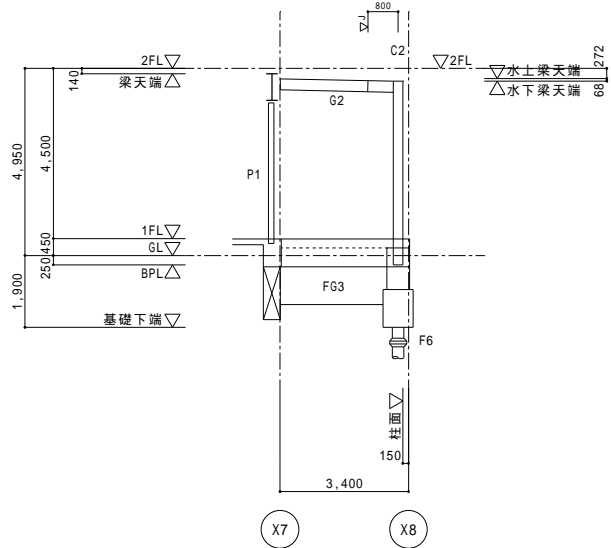
Y2通り軸組図 S=1/100



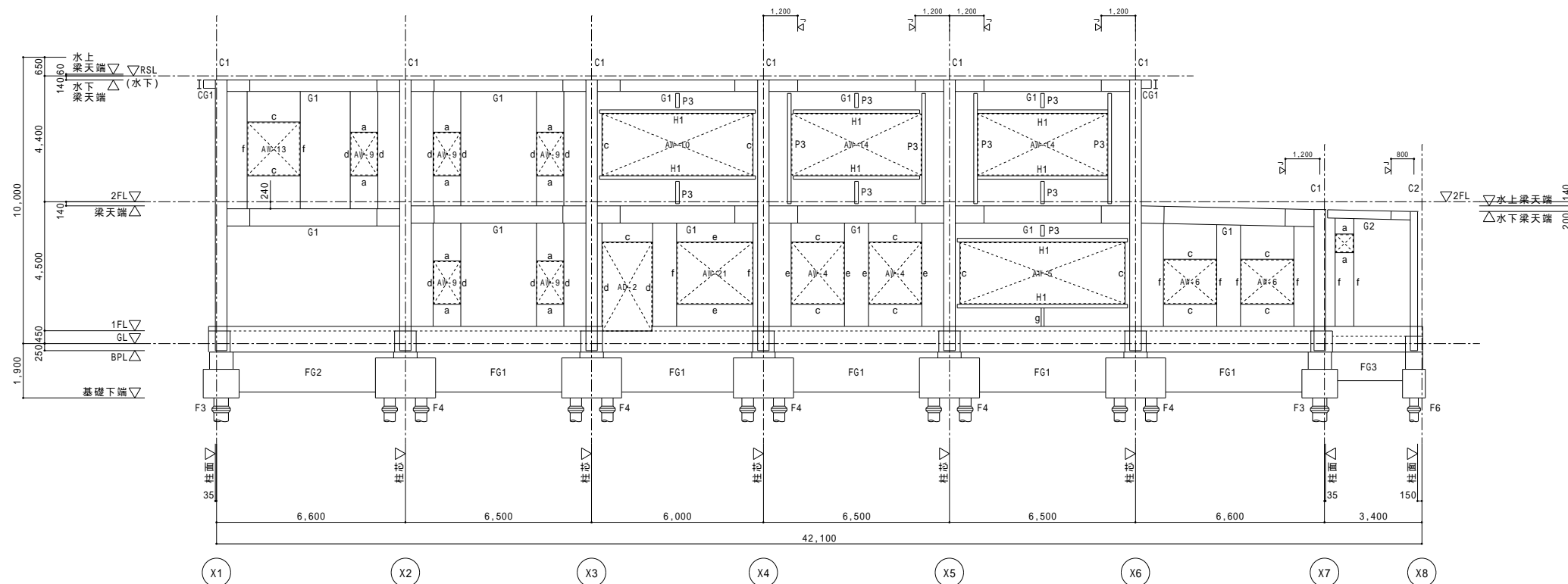
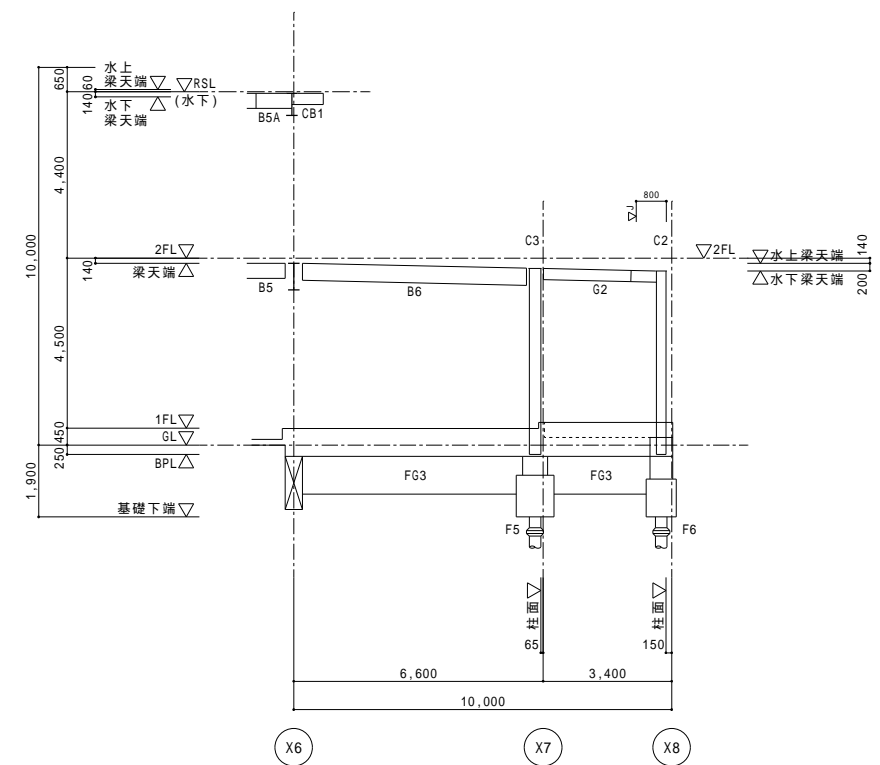
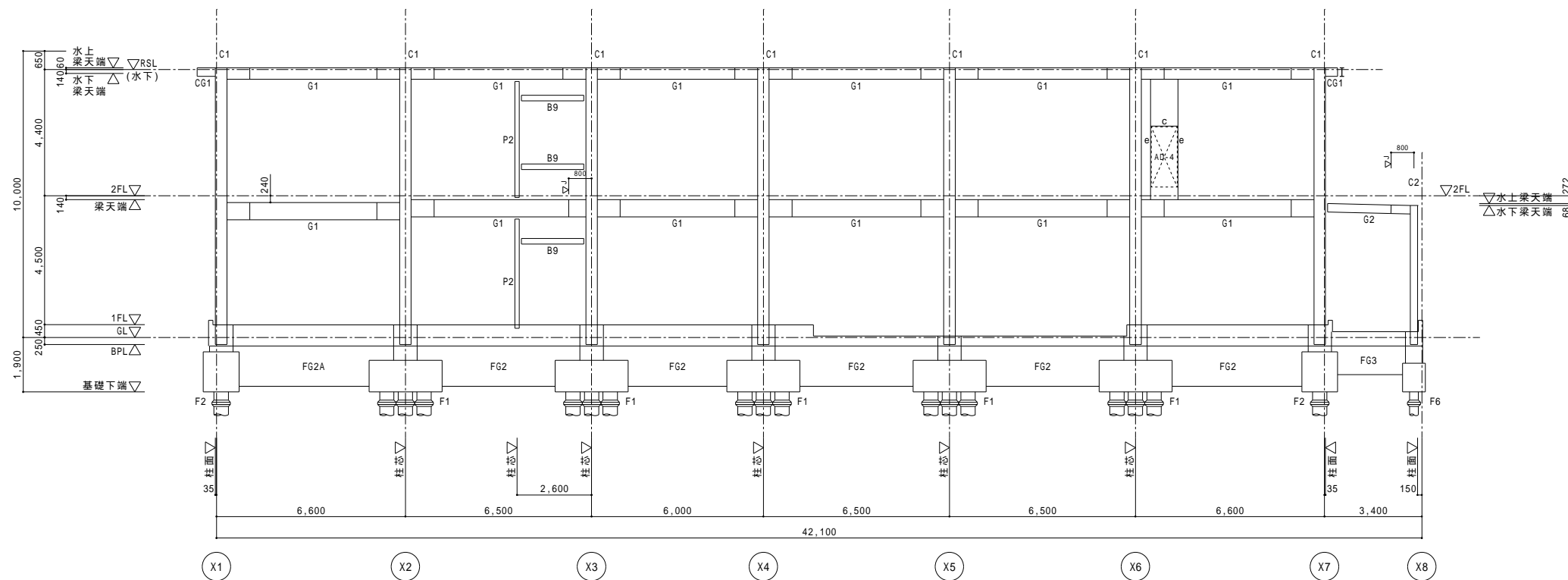
Y2A通り軸組図 S=1/100



Y3通り軸組図 S=1/100




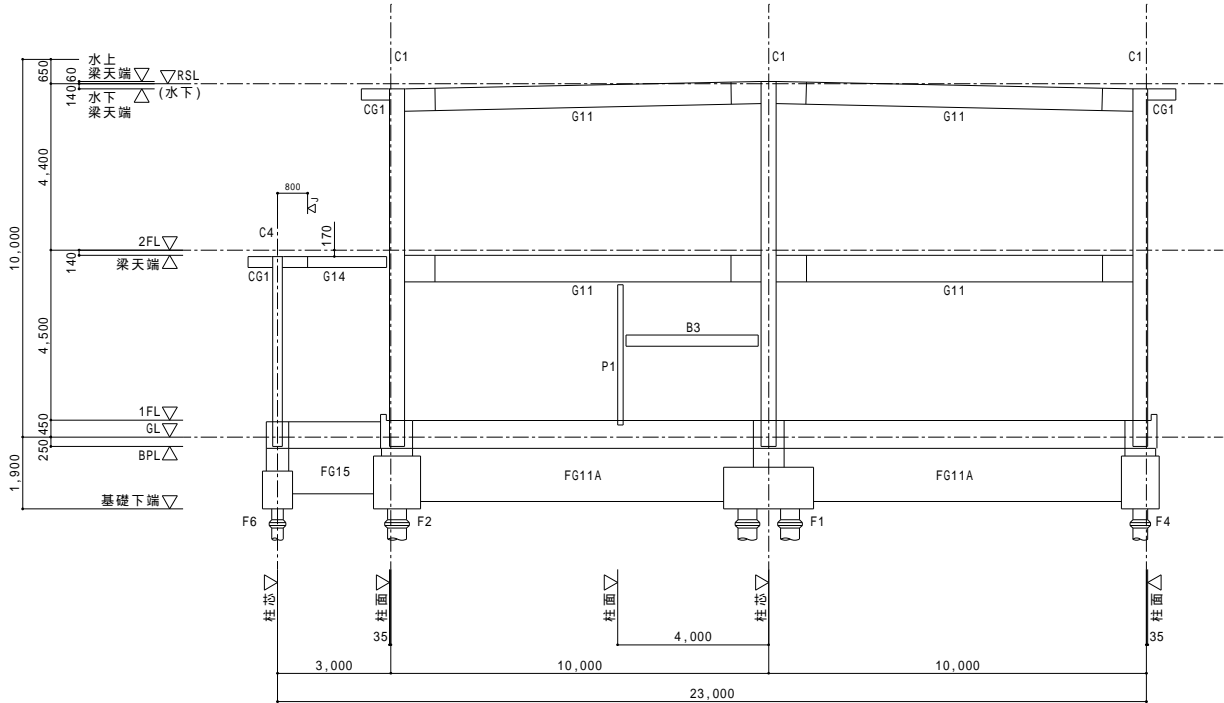
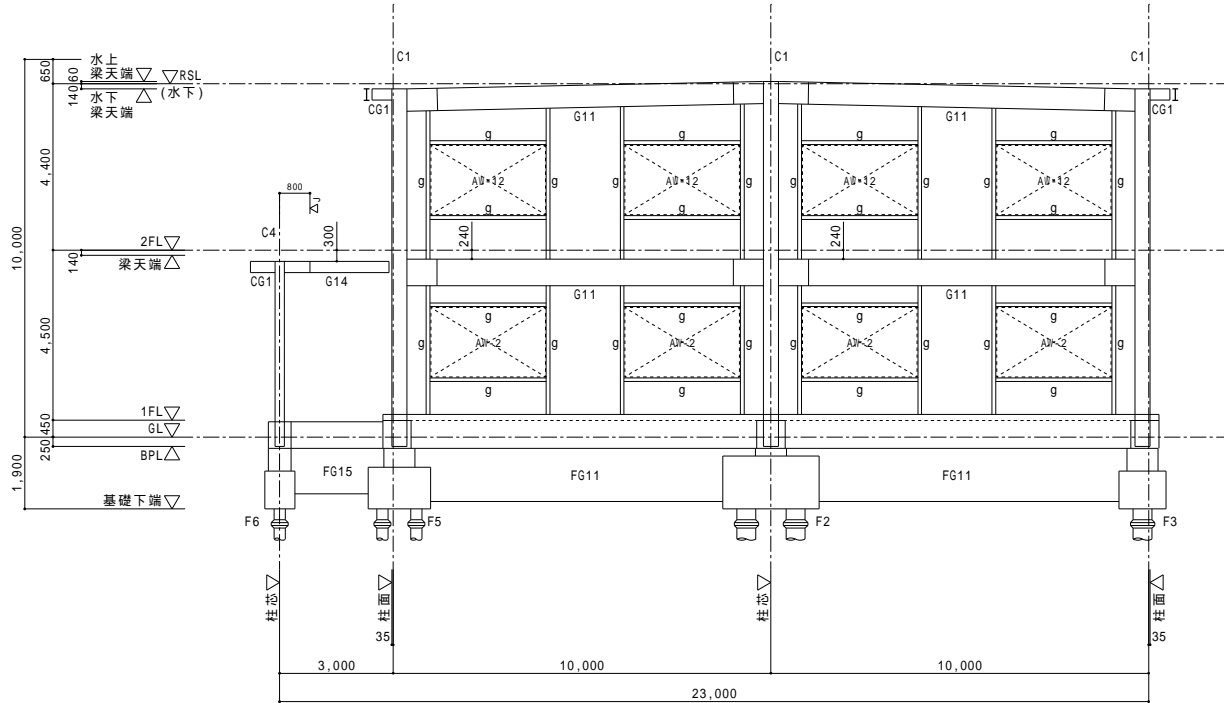
Y3A通り軸組図 S=1/100



開口補強材リスト		中継材はスリリングワッシャー付(SW付)とする。	
符 号	部 材	符 号	部 材
a	L-50×50×6 G. R-6 中継材 2-M12	g	-100×100×3.2 G. R-6 中継材 2-M12
b	L-65×65×6 G. R-6 中継材 2-M12	h	-100×100×4.5 G. R-6 中継材 2-M12
c	L-75×75×6 G. R-6 中継材 2-M12	i	-100×100×6 G. R-6 中継材 2-M12
d	L-75×75×9 G. R-6 中継材 2-M12		
e	L-90×90×7 G. R-6 中継材 2-M12		
f	L-90×90×10 G. R-6 中継材 2-M12		

特記なき限り下記とする。

1. 大梁継手位置：柱芯(梁芯)より 1,000とする。
2. Jは、柱芯からのジョイント位置を示す。
3. は外壁(押出成形AL板)の開口を示す。



Y2

Y3

Y4

開口補強材リスト

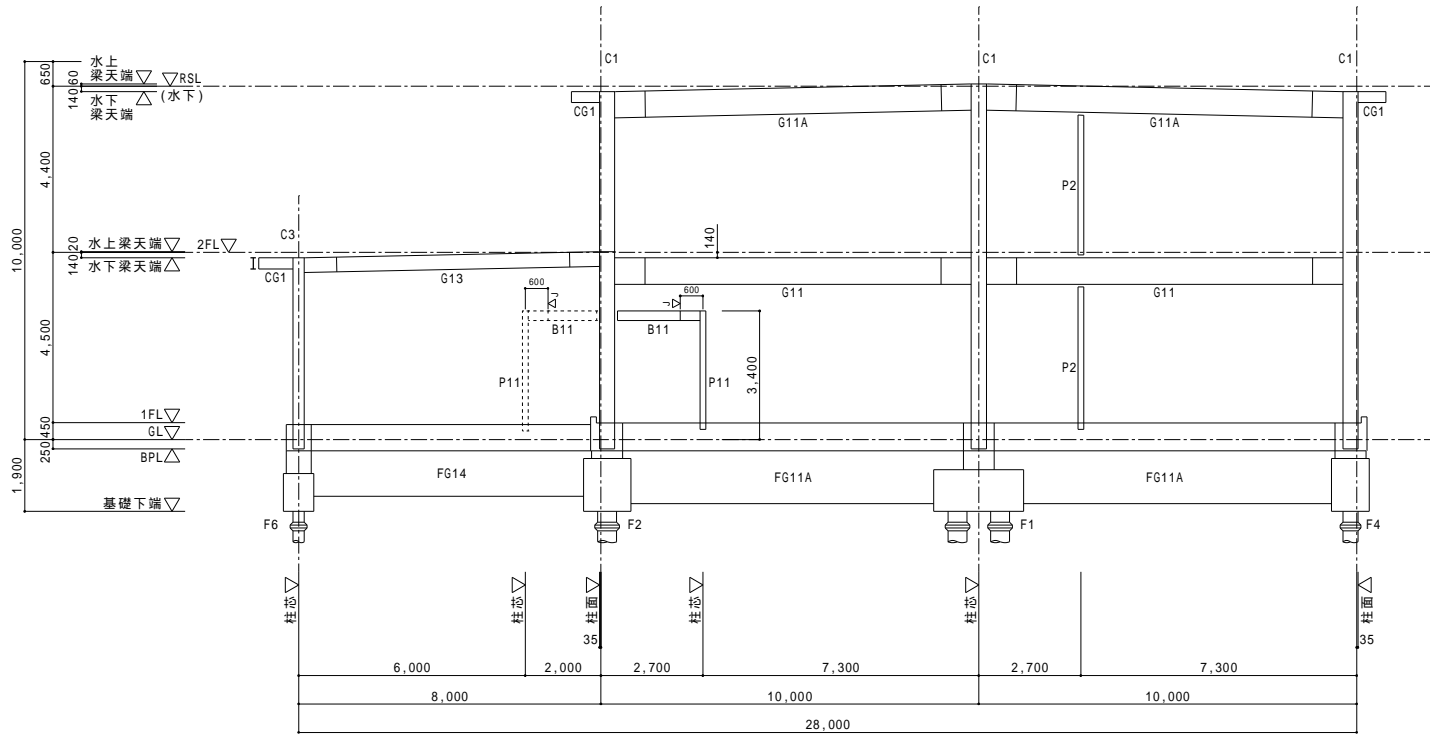
中鉄110はスリットリッパ付(S11付)とする。

符 号	部 材		符 号	部 材	
a	L-50×50×6	G.R-6 中鉄110 2-M12	g	-100×100×3.2	G.R-6 中鉄110 2-M12
b	L-65×65×6	G.R-6 中鉄110 2-M12	h	-100×100×4.5	G.R-6 中鉄110 2-M12
c	L-75×75×6	G.R-6 中鉄110 2-M12	i	-100×100×6	G.R-6 中鉄110 2-M12
d	L-75×75×9	G.R-6 中鉄110 2-M12			
e	L-90×90×7	G.R-6 中鉄110 2-M12			
f	L-90×90×10	G.R-6 中鉄110 2-M12			

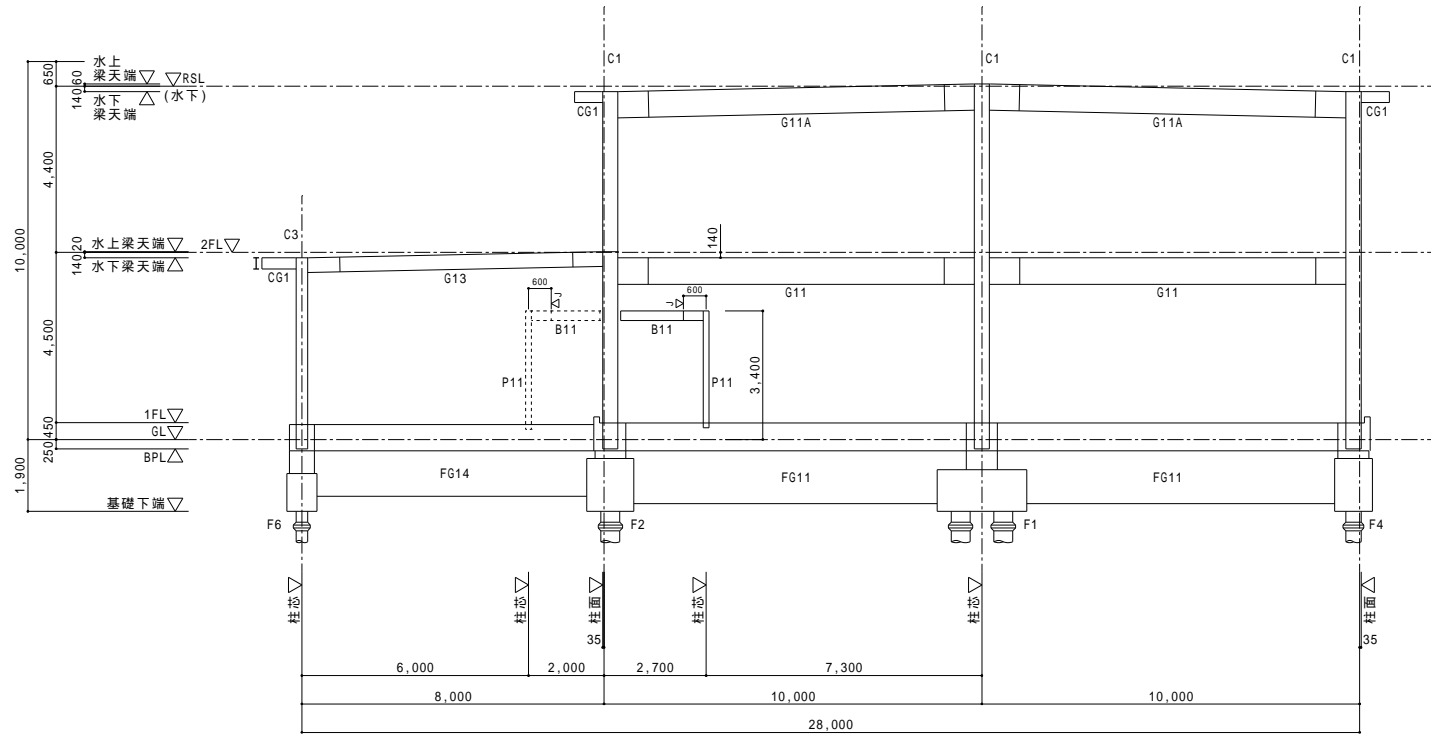
X1通り軸組図 S=1/100

X2通り軸組図 S=1/100

- 特記なき限り下記とする。
- 大梁継手位置：柱芯(梁芯)より 1,000とする。
 - Jは、柱芯からのジョイント位置を示す。
 - は外壁(押出成形板)の開口を示す。

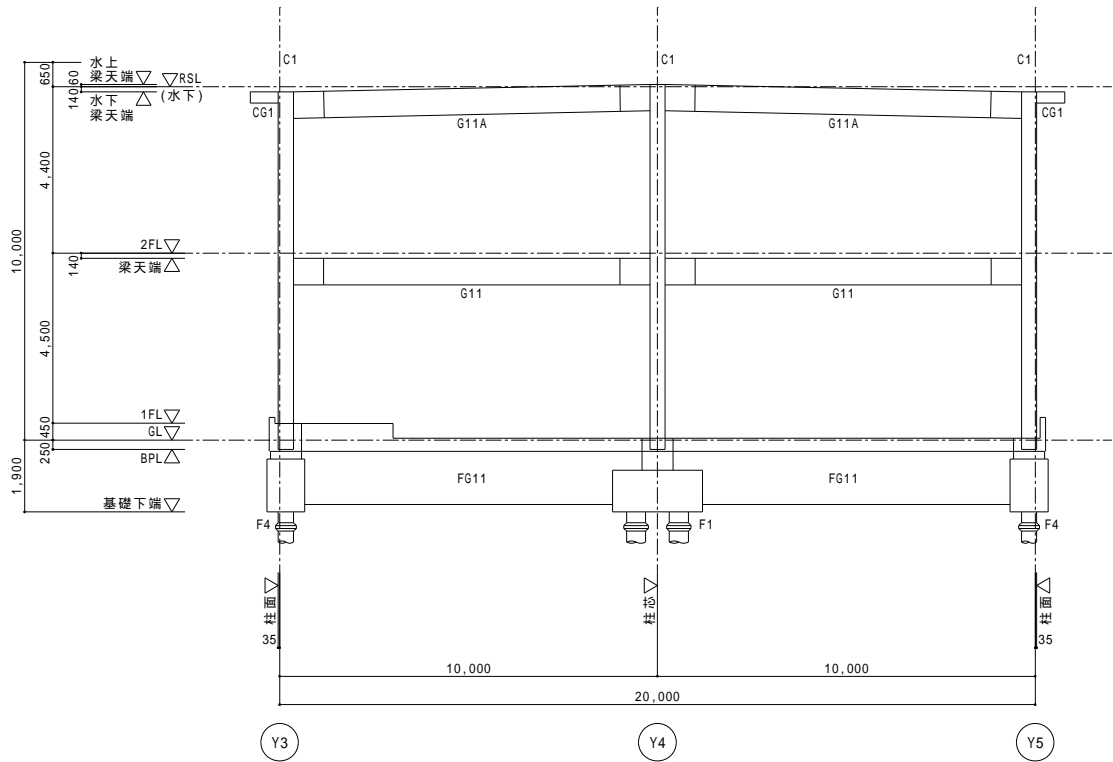


X3通り軸組図 S=1/100

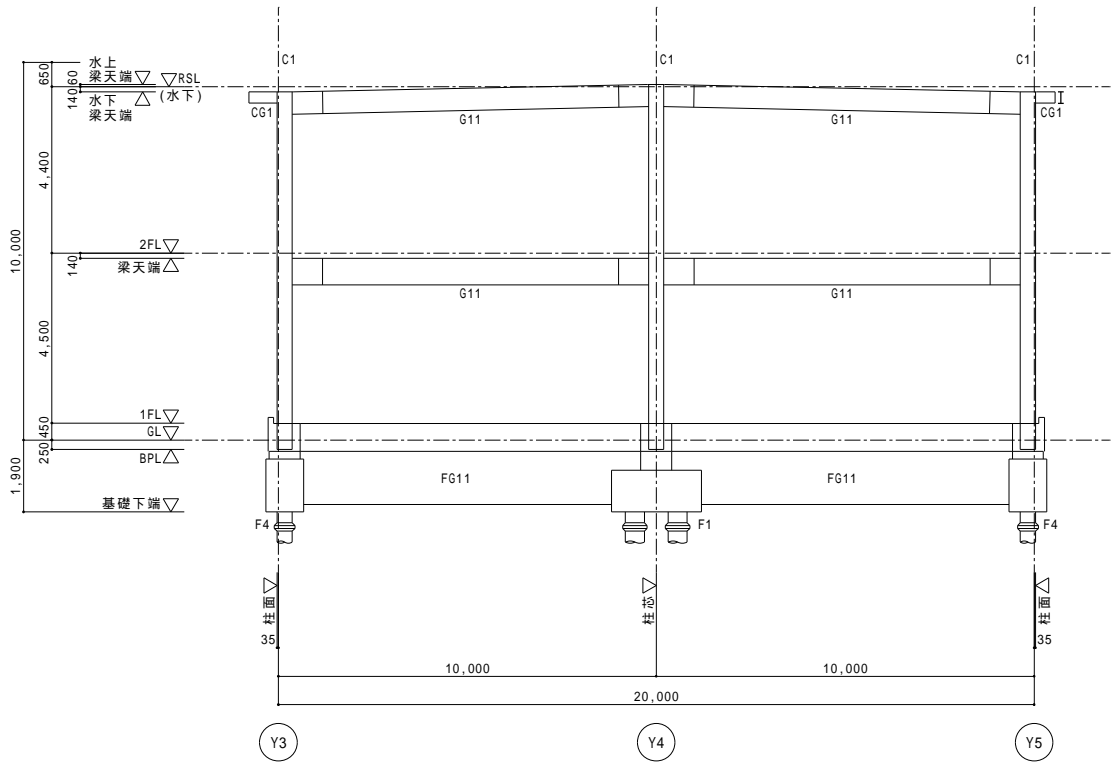


X4通り軸組図 S=1/100

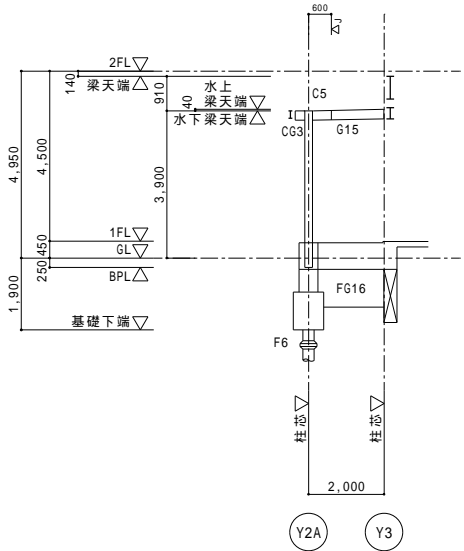
備考欄		青森県五所川原市金木町中船木館石259番地		管 理 建 築 士		承認		設計		担当		縮 尺		工事名称		金木庁舎新築(建築)工事		NO.			
		日 東 綜 合 株 式 会 社		代表取締役 山中政広		一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号						A1=1/100 A3=1/200						S 22			
		TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493				大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一						設計年月日				図面名称		軸組図(3)			
												H30.12									



X5通り軸組図 S=1/100



X6通り軸組図 S=1/100

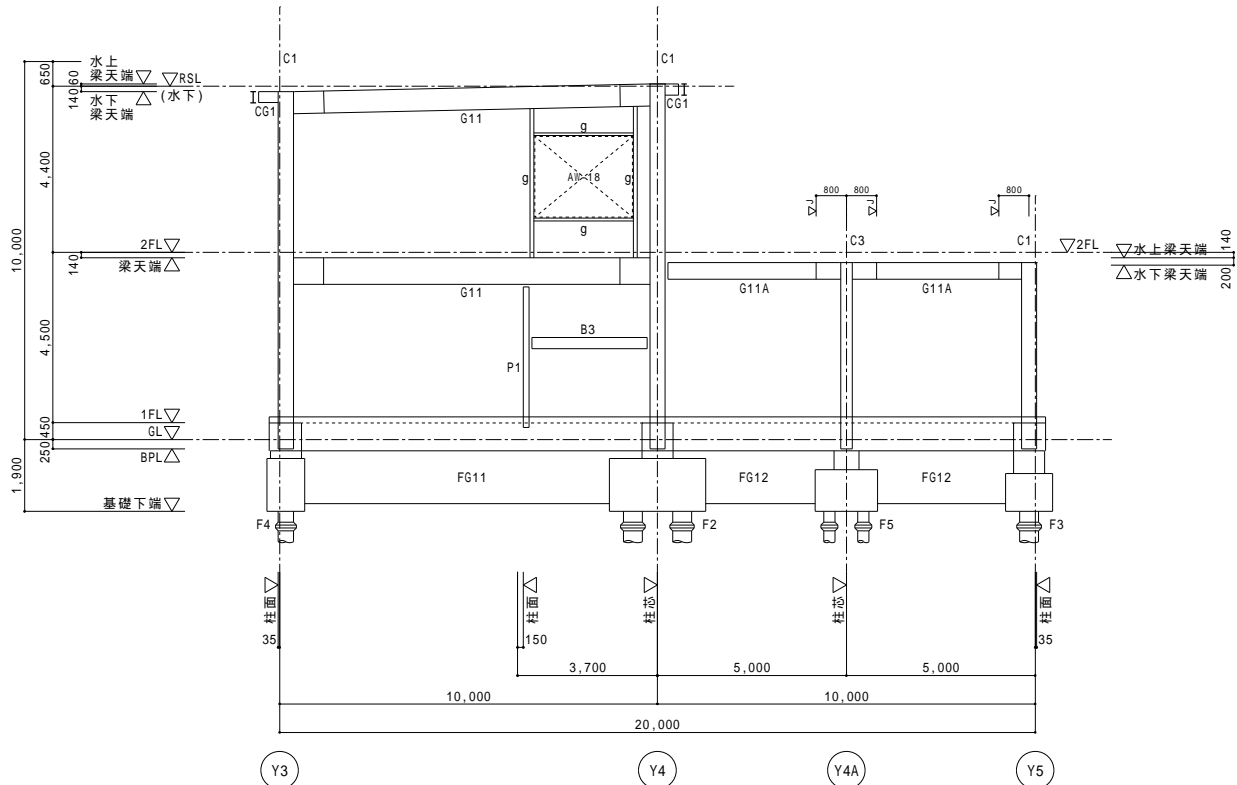


X6A通り軸組図 S=1/100

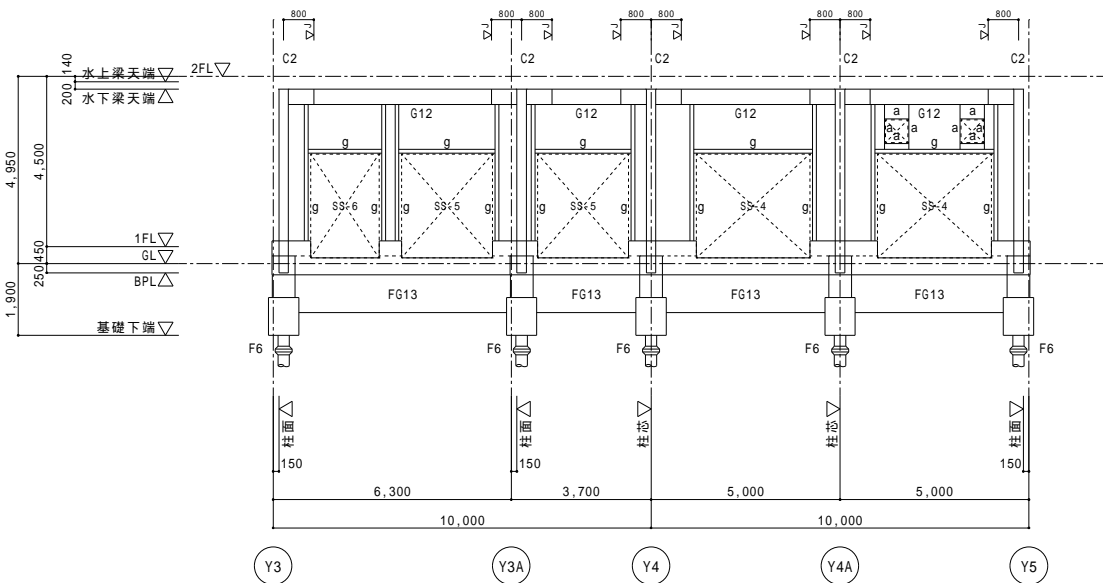
X6B通り軸組図 S=1/100

開口補強材リスト 中鉄 1 本はスリットリッパ付 (SW付) とする。

符 号	部 材		符 号	部 材	
a	L-50 × 50 × 6	G. R-6 中鉄 1 本 2-M12	g	-100 × 100 × 3.2	G. R-6 中鉄 1 本 2-M12
b	L-65 × 65 × 6	G. R-6 中鉄 1 本 2-M12	h	-100 × 100 × 4.5	G. R-6 中鉄 1 本 2-M12
c	L-75 × 75 × 6	G. R-6 中鉄 1 本 2-M12	i	-100 × 100 × 6	G. R-6 中鉄 1 本 2-M12
d	L-75 × 75 × 9	G. R-6 中鉄 1 本 2-M12			
e	L-90 × 90 × 7	G. R-6 中鉄 1 本 2-M12			
f	L-90 × 90 × 10	G. R-6 中鉄 1 本 2-M12			



X7通り軸組図 S=1/100



X8通り軸組図 S=1/100

- 特記なき限り下記とする。
- 大梁継手位置：柱芯(梁芯)より 1,000とする。
 - Jは、柱芯からのジョイント位置を示す。
 - は外壁(押出成形メント板)の開口を示す。

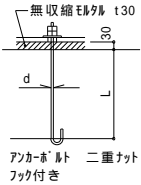
鉄骨部材リスト		特記外 H.T.B S10T G.R SN400B	中ボルトはスプリングワッシャー付(SW付)とする	
符 号	断 面	使用材料	継 手 (ピン接合)	備 考
B 1	H - 200 × 100 × 5.5 × 8	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
B 2	H - 250 × 125 × 6 × 9	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
B 3	H - 300 × 150 × 6.5 × 9	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
B 4	H - 350 × 175 × 7 × 11	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
B 4 A	H - 350 × 175 × 7 × 11	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照 ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
B 5	H - 400 × 200 × 8 × 13	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
B 5 A	H - 400 × 200 × 8 × 13	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照 ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
B 6	H - 450 × 200 × 9 × 14	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
B 7	H - 294 × 200 × 8 × 12	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
B 8	H - 244 × 175 × 7 × 11	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
B 9	H - 194 × 150 × 6 × 9	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
B 1 1	H - 250 × 125 × 6 × 9	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照 ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
V 1	H - 200 × 100 × 5.5 × 8	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
H 1	H - 125 × 125 × 6.5 × 9	SN400A	ヨコ違い	ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
C G 1	H - 294 × 200 × 8 × 12	SN400B		
C G 2	H - 300 × 150 × 6.5 × 9	SN400B		
C G 3	H - 250 × 125 × 6 × 9	SN400B		
C B 1	H - 300 × 150 × 6.5 × 9	SN400B		
P 1	H - 150 × 150 × 7 × 10	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
P 2	- 150 × 150 × 9	STKR400		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
P 3	H - 125 × 125 × 6.5 × 9	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
P 1 1	- 150 × 150 × 6	STKR400		
水平ブレース	1 - M16 (JIS規格品)	SNR400B	G.R - 6 1 - M16	
母屋	C - 100 × 50 × 20 × 2.3 #450	SSC400	R - 6 (SS400) 中ボルト(SW付) 2 - M12	
開口補強材	- 100 × 100 × 2.3	STKR400	2R - 4.5(SS400) 中ボルト(SW付) 2 - M12	
コーナー材	- 100 × 100 × 2.3	STKR400	2R - 4.5(SS400) 中ボルト(SW付) 2 - M12	
鉄骨階段	ササラ桁：R-16×300	SS400	G.R - 12 2 - M20	
	踏板：R-6	SS400		
	踊り場根太：L-75×75×6 #300	SS400	G.R - 6 2 - M16	

鉄骨部材ピン接合継手リスト S=1/30		特記なき限り 1 . ガセットプレート、スプライスプレート：SN400B とする。 2 . ボルト (HTB)：S10T F10Tとする。				
部 材	H - 200 × 100 × 5.5 × 8	H - 250 × 125 × 6 × 9	H - 300 × 150 × 6.5 × 9	H - 350 × 175 × 7 × 11	H - 400 × 200 × 8 × 13	H - 450 × 200 × 9 × 14
継 手	B 1、V 1	2 G 1 5 B 2、B 1 1	B 3	B 4、B 4 A	2 G 4 B 5、B 5 A	B 6
ピン接合継手	G.R - 6 2 - M16	G.R - 9 3 - M16	G.R - 9 3 - M20	G.R - 9 3 - M20	G.R - 9 4 - M20	G.R - 12 5 - M20
備 考						

部 材	H - 194 × 150 × 6 × 9	H - 244 × 175 × 7 × 11	H - 294 × 200 × 8 × 12	H - 440 × 300 × 11 × 18	H - 125 × 125 × 6.5 × 9
継 手	B 9	B 8	2 G 2、2 G 1 4 B 7	2 G 1 1 A	H 1
ピン接合継手	G.R - 9 2 - M16	G.R - 9 2 - M20	G.R - 9 3 - M20	G.R - 12 5 - M20	G.R - 6 2 - M16
備 考					

部 材	H - 150 × 150 × 7 × 10	- 150 × 150 × 9	H - 125 × 125 × 6.5 × 9
継 手	P 1	P 2	P 3
ピン接合継手	G.R - 9 2 - M20	G.R - 6 中ボルト 2 - M12	G.R - 6 2 - M16
備 考		G.R 使用材料 STKR400	

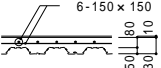
柱脚リスト (2) S=1/30		アンカ・ボルト 二重ナット フック付き			
P 1	H - 150 × 150 × 7 × 10	P 2	- 150 × 150 × 9	P 1 1	- 150 × 150 × 6
B.R- 16 × 180 × 180 (SN400B)		B.R- 16 × 320 × 180 (SN400B)		B.R- 16 × 320 × 320 (SN400B)	
A.BOLT 2 - M16 (SS400)		A.BOLT 2 - M16 (SS400)		A.BOLT 4 - M16 (SS400)	
L = 400		L = 400		L = 400	
B.R- 16 × 180 × 180 (SN400B)		B.R- 16 × 320 × 180 (SN400B)		B.R- 16 × 320 × 320 (SN400B)	
A.BOLT 2 - M16 (SS400)		A.BOLT 2 - M16 (SS400)		A.BOLT 4 - M16 (SS400)	
L = 400		L = 400		L = 400	




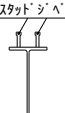
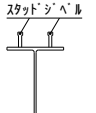
構造設計者 一級建築士 第241724号 ・ 構造設計一級建築士 第467号 小野芳美											
備考欄	青森県五所川原市金木町中給木館石259番地			管 理 建 築 士			縮 尺		A1=1/30 A3=1/60		工事名称 金木庁舎新築(建築)工事 図面名称 部材リスト(2) NO . S 25
	日 東 綜 合 株 式 会 社 代表取締役 山中政広 TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493			一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一			設計年月日				

合成スラブリスト

特記なき限り
1.溶接金網 JIS G 3551 に準じる

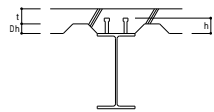
符 号	デ ッ キ	ｽﾀｯﾌ 厚	断 面	配 筋	備 考
DS1	QL99 - 50 - 12	80+10		異形鉄筋 溶接金網 補 強 筋	

スタッドジベル要領

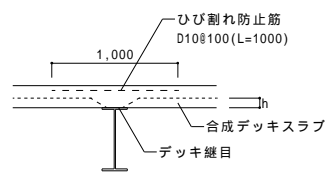
形 状			
大 梁	150以下	174以上, 250以下	300
小 梁	1 - 16 @300	2 - 16 @300	2 - 16 @300

・ｽﾀｯﾌ 厚とｽﾀｯﾄﾞ 高さ
(1)ﾃﾞｯｷｽﾗﾌﾞ

ﾃﾞｯｷ高 (Dh)	ｽﾀｯﾌ 厚 (t)	ｽﾀｯﾄﾞ 高さ (h)
50	80+10	80

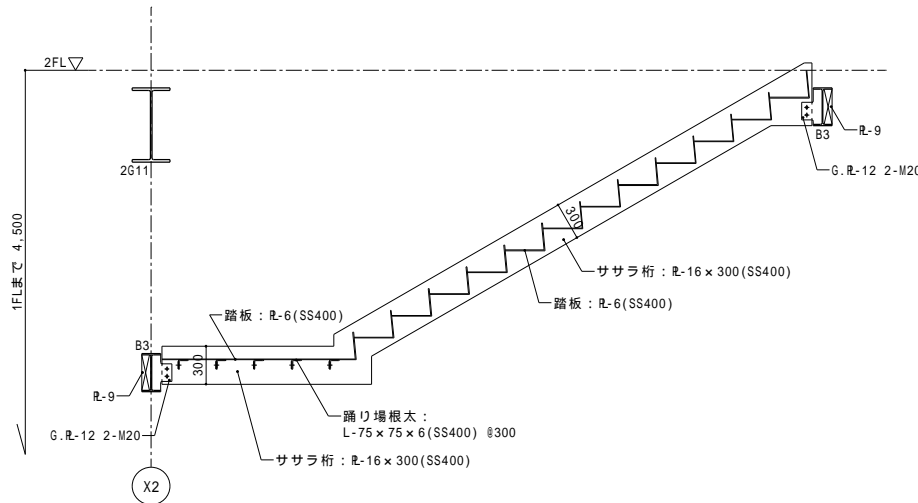
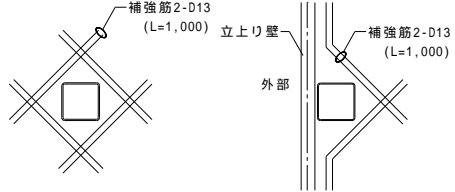


梁上部床ひび割れ補強要領図
* 合成ｽﾗﾌﾞ の範囲に適用する

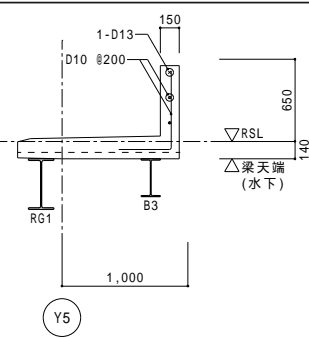
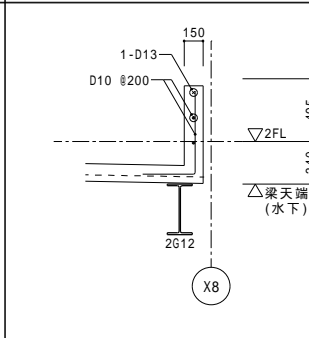
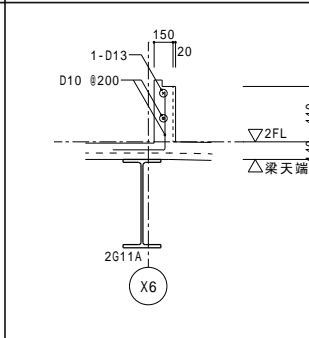
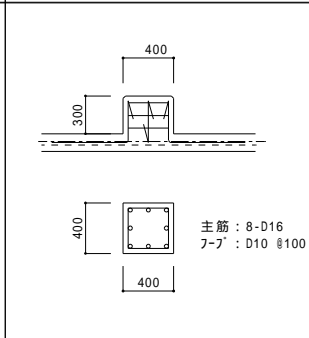
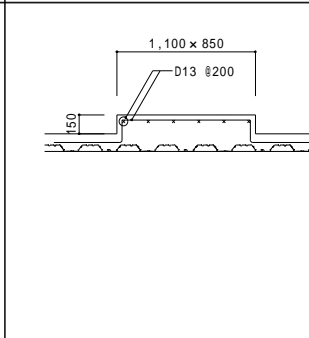
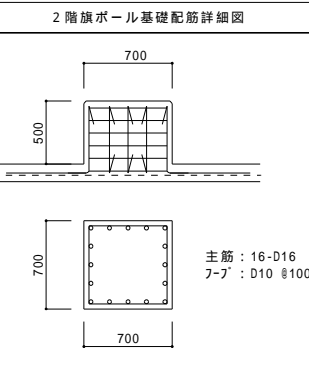
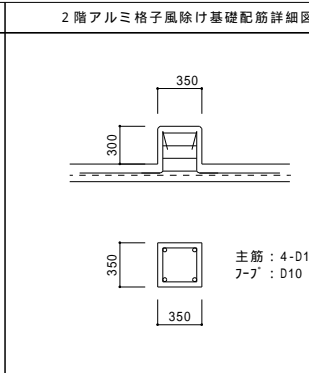
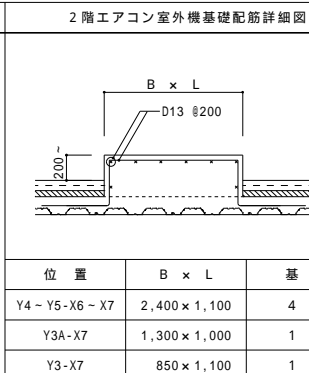
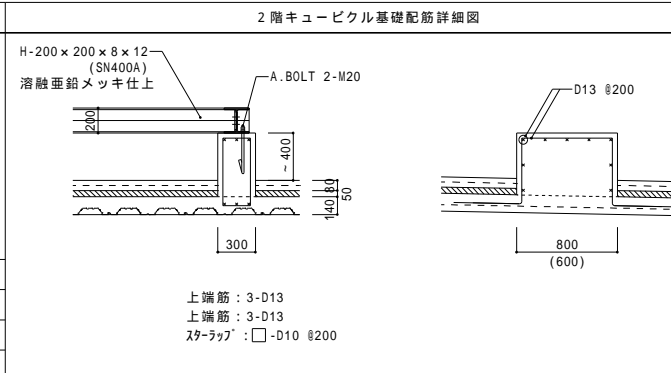
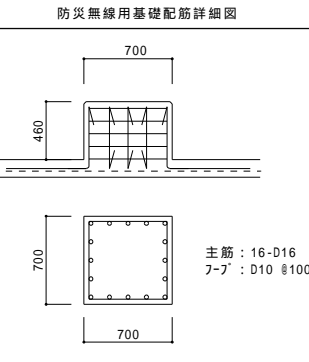
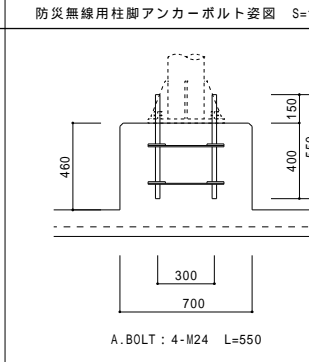


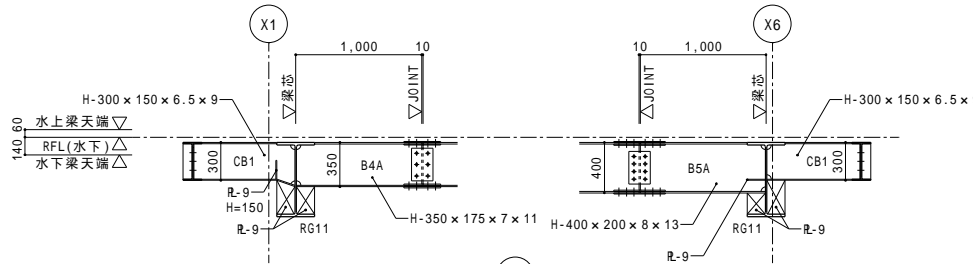
・補強筋範囲は鉄骨大梁上、及び鉄骨小梁上のﾃﾞｯｷ継目とする。

ﾃﾞｯｷｽﾗﾌﾞ 柱廻り補強要領図 S=1/30

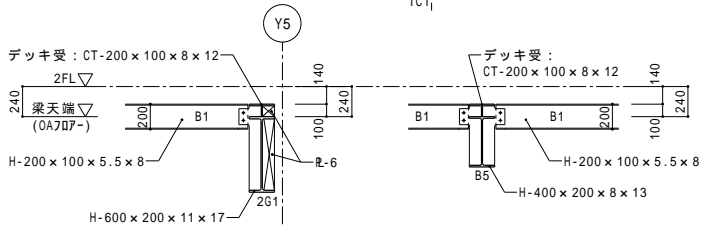
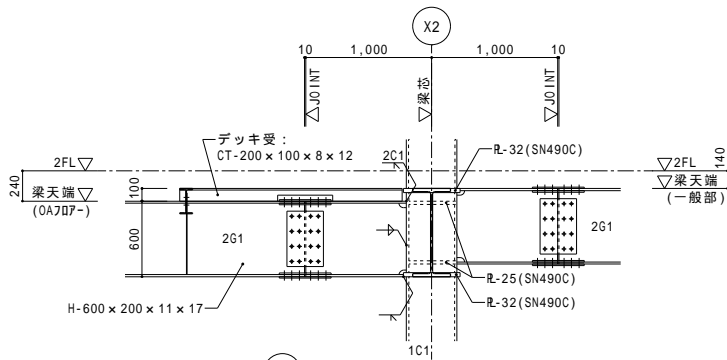
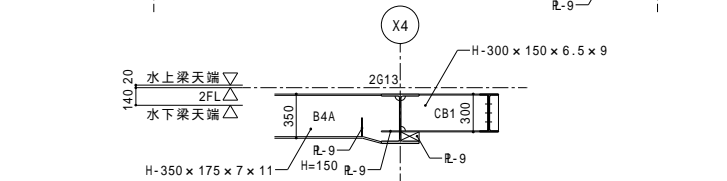


雑配筋図 (2) S=1/30

<p>R 階バラベツ配筋詳細図</p> 	<p>2 階バラベツ配筋詳細図</p> 	<p>2 階立上り壁配筋詳細図</p> 	<p>R 階太陽光基礎配筋詳細図</p> 	<p>R 階ハト小屋基礎配筋詳細図</p> 												
<p>2 階旗ポール基礎配筋詳細図</p> 	<p>2 階アルミ格子風除け基礎配筋詳細図</p> 	<p>2 階エアコン室外機基礎配筋詳細図</p>  <table border="1"><thead><tr><th>位置</th><th>B x L</th><th>基数</th></tr></thead><tbody><tr><td>Y4 ~ Y5-X6 ~ X7</td><td>2,400 x 1,100</td><td>4 基</td></tr><tr><td>Y3A-X7</td><td>1,300 x 1,000</td><td>1 基</td></tr><tr><td>Y3-X7</td><td>850 x 1,100</td><td>1 基</td></tr></tbody></table>	位置	B x L	基数	Y4 ~ Y5-X6 ~ X7	2,400 x 1,100	4 基	Y3A-X7	1,300 x 1,000	1 基	Y3-X7	850 x 1,100	1 基	<p>2 階キュービクル基礎配筋詳細図</p>  <p>上端筋 : 3-D13 上端筋 : 3-D13 ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ : □-D10 #200</p>	
位置	B x L	基数														
Y4 ~ Y5-X6 ~ X7	2,400 x 1,100	4 基														
Y3A-X7	1,300 x 1,000	1 基														
Y3-X7	850 x 1,100	1 基														
<p>防災無線用基礎配筋詳細図</p> 	<p>防災無線用柱脚アンカーボルト姿図 S=1/20</p>  <p>A.BOLT : 4-M24 L=550</p>															



CB1取合詳細図 S=1/30

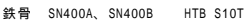


梁段差 (0A7D7-) 取合詳細図 S=1/30



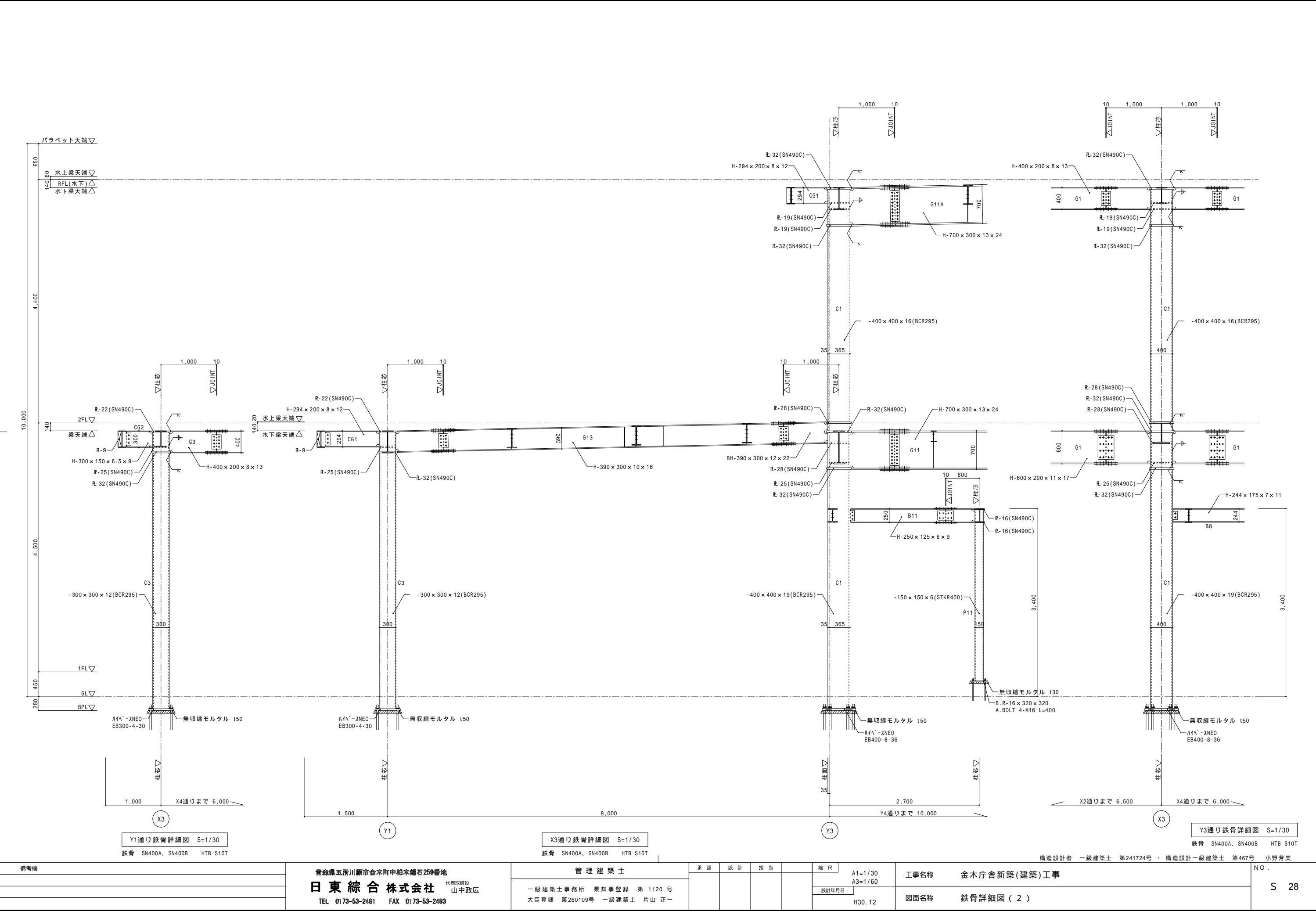
構造設計者 一級建築士 第241724号 ・ 構造設計一級建築士 第467号 小野芳美

備考欄	青森県五所川原市金木町中給木鐘石259番地 日 東 綜 合 株 式 会 社 代表取締役 山中政広 TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493	管 理 建 築 士 一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一	承認 設計 担当	縮 尺 A1=1/30、1/20 A3=1/60、1/40 設計年月日 H30.12	工事名称 金木庁舎新築(建築)工事 図面名称 部材リスト (3)	NO. S 26
-----	---	---	----------	--	---	-------------



NO.

S 2



備考欄

青森県五所川原市金木町中泊水産石259番地

日東綜合株式会社

代表取締役 山中政広

TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493

管理建築士
一級建築士事務所 県知事登録 第1120号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一

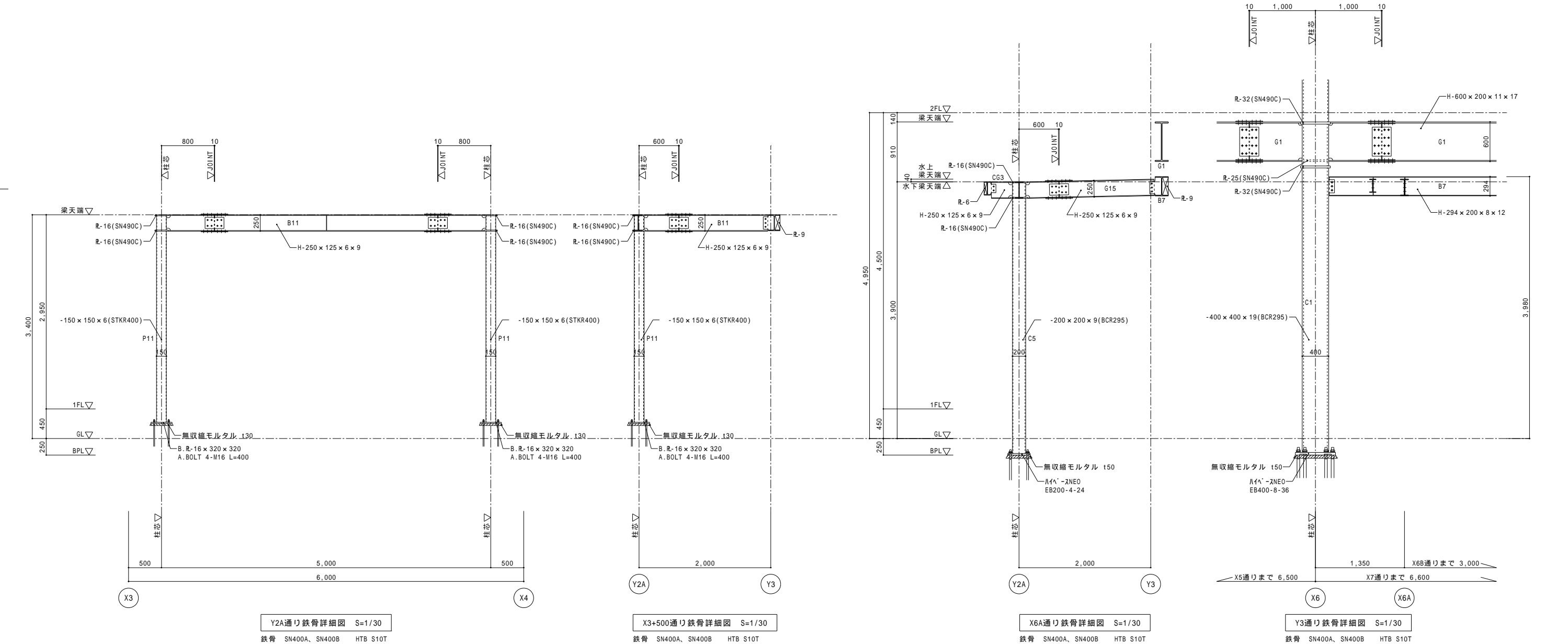
承認	設計	担当	

縮尺
A1=1/30 A3=1/60
設計年月日
H30.12

工事名称	金木庁舎新築(建築)工事
図面名称	鉄骨詳細図(2)

NO.
S 28

構造設計者 一級建築士 第241724号・構造設計一級建築士 第467号 小野芳美



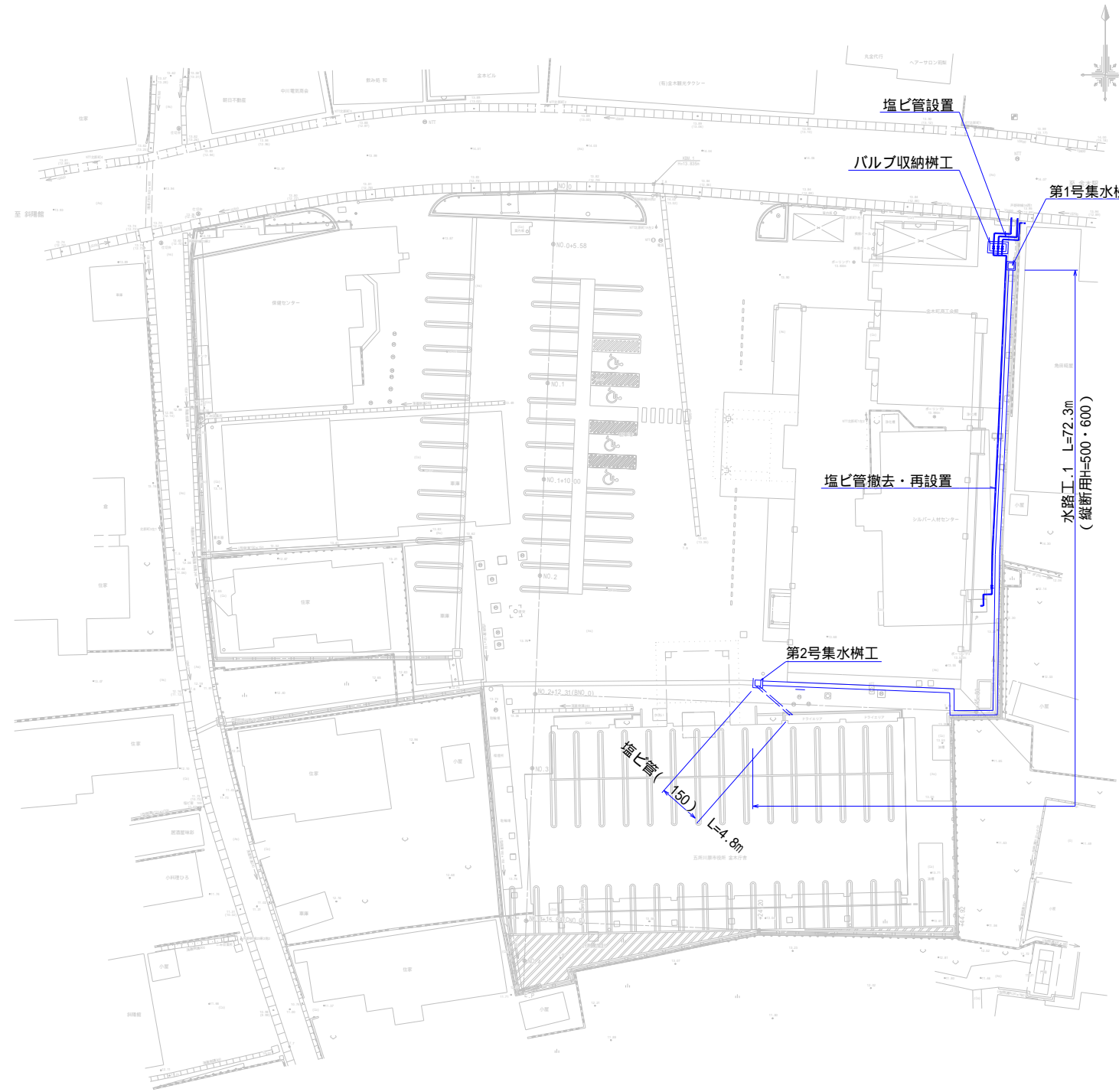
備考欄	青森県五所川原市金木町中船木館石259番地 日 東 綜 合 株 式 会 社 TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493	管 理 建 築 士 一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一	構造設計者 一級建築士 第241724号 ・ 構造設計一級建築士 第467号 小野芳美				縮 尺 A1=1/30 A3=1/60 設計年月日 H30.12	工事名称 金木庁舎新築(建築)工事	図面名称 鉄骨詳細図(4)	NO. S 30
			承 認	設 計	担 当					

平成	年度	工事
工事番号	第	号
路線名	金 木 庁 舎	
河川		
施行所	青森県五所川原市金木町 地内	
排水計画詳細図	縮尺	図 示
図面番号	葉中	
五 所 川 原 市 役 所		
青 森 県		

排水計画詳細図

配置計画図

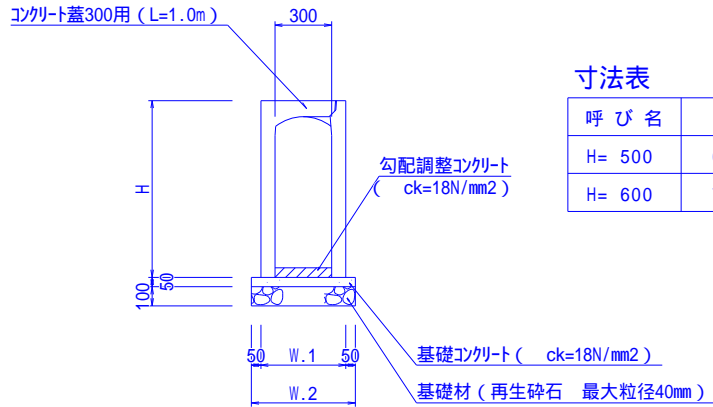
S=1:300



自由勾配側溝標準図

S=1:20

縦断用



寸法表

呼 び 名	H	W.1	W.2
H= 500	635	410	510
H= 600	735	430	530

塩ビ管 (150)

S=1:20



自由勾配側溝300型数量表

工 事 名	名 称	縦断用(m)		蓋 版(枚)	
		500	600	コンクリート	グレーチング
建築工事	水路工. 1	45.9	26.4	36	

集水樹工数量表

工 事 名	名 称	箇 所
建築工事	第1号集水樹工	1
	第2号集水樹工	1
	バルブ収納樹工	1

塩ビ管数量表

工 事 名	名 称	延長(m)
建築工事	塩ビ管(150)	4.8

割付計画平面図

計画平面図

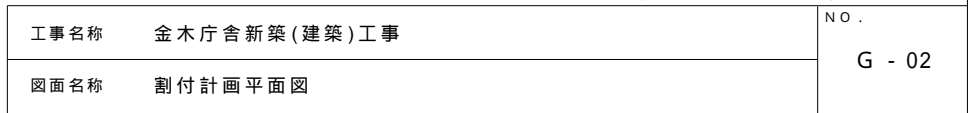
S=1:200

Y座標

-31749.222
-31725.759
-31726.724
-31727.379
-31727.615
-31732.523
-31732.103
-31752.513
-31772.045
-31771.801
-31777.570
-31779.192
-31781.216
-31806.960
-31784.863
-31808.862
-31809.892
-31810.472
-31811.291
-31770.248
-31776.250
-31765.059
-31771.561
-31758.527
-31758.823
-31759.312
-31759.800
-31738.957
-31773.951
-31773.765
-31738.771
-31733.111
-31778.103
-31733.020
-31778.012
-31764.535
-31765.808
-31776.005
-31777.294
-31782.000
-31783.306
-31787.005
-31788.302

点 名	X座標	Y座標
T.3	100382.448	-31831.761
T.4	100384.922	-31816.842
T.5	100344.775	-31813.214
T.6	100330.071	-31811.505
T.7	100293.261	-31801.183
T.8	100382.770	-31762.505
T.9	100345.365	-31760.148
T.10	100328.386	-31733.024

点 名	X座標	Y座標
A路線		
NO.0	100382.111	-31773.801
NO.0+5.58	100376.536	-31773.825
NO.1	100362.127	-31774.404
NO.1+10.00	100352.135	-31774.806
NO.2	100342.143	-31775.207
NO.2+12.31(BNO.0)	100329.843	-31775.702
NO.3	100322.159	-31776.011
NO.3+15.84(CNO.0)	100306.332	-31776.647
NO.4	100302.176	-31776.814
E.P	100299.168	-31776.935
B路線		
BNO.0	100329.843	-31775.702
+45.80	100328.007	-31729.939

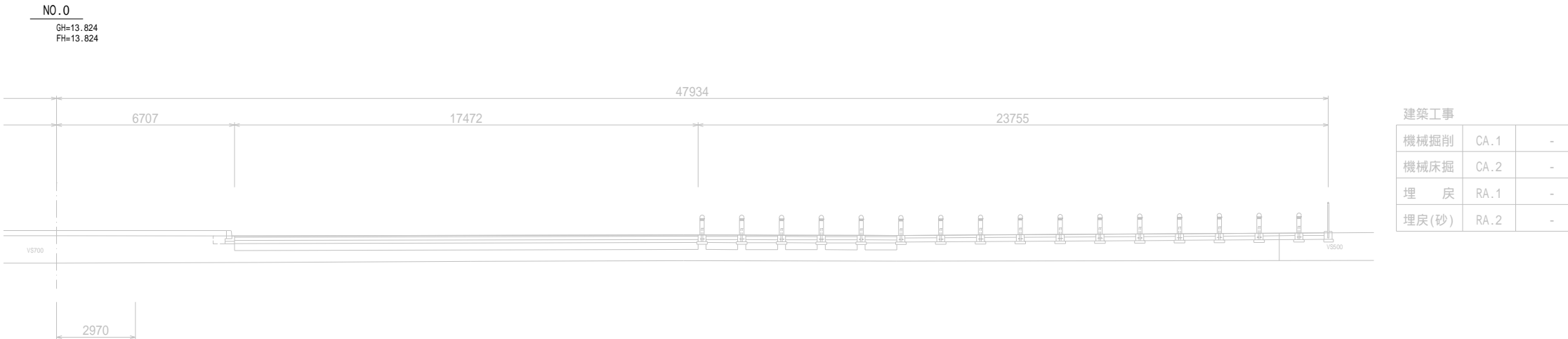
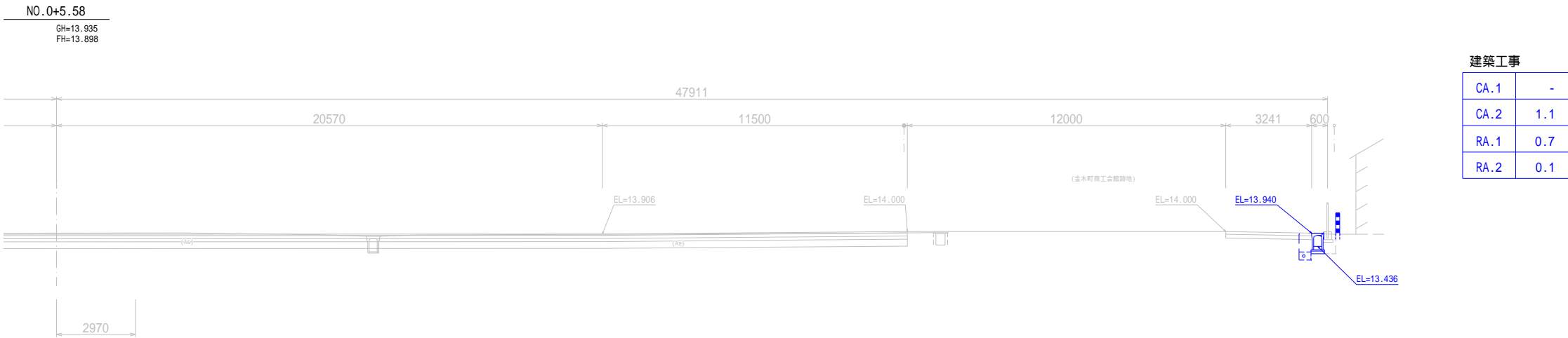
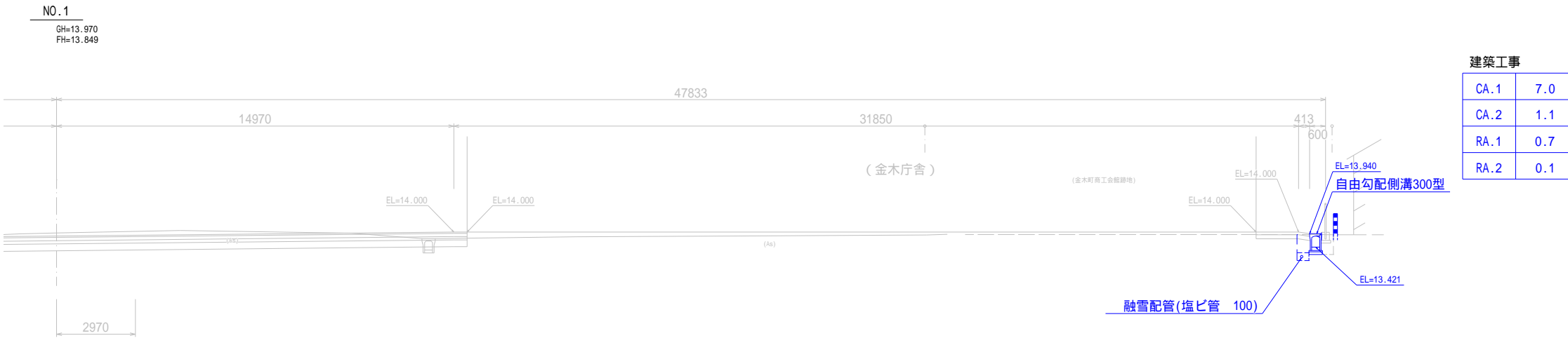


- 03

平成	年度	工事	
工事番号	第	号	
路線名	金 木 庁 舎		
施行所	青森県五所川原市金木町 地内		
計画横断面図	縮尺	1:100	
図面番号	葉中		
五 所 川 原 市 役 所			
青 森 県			

NO.0～NO.1(1/4)

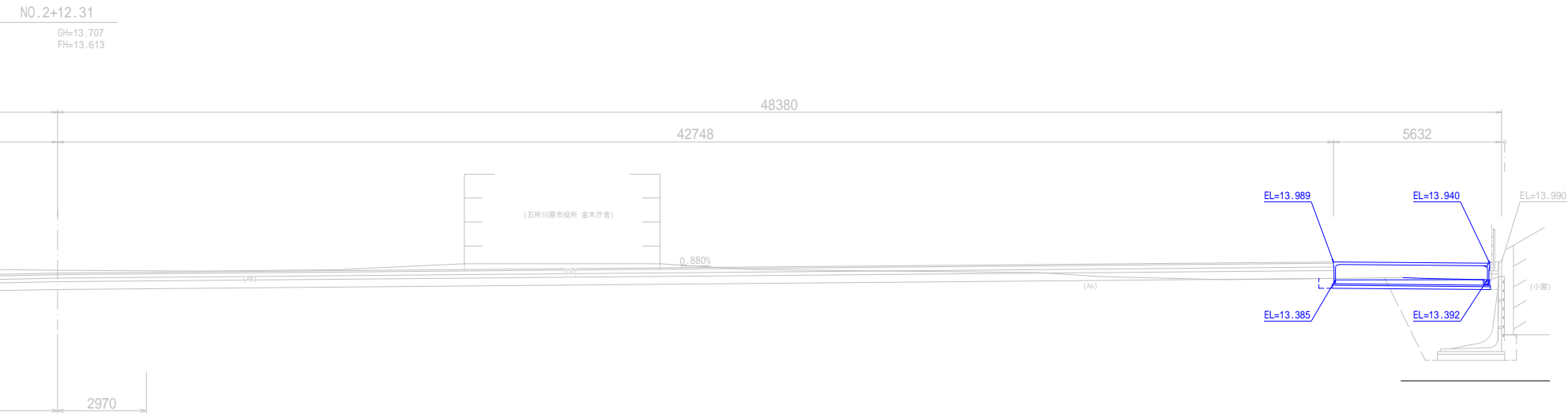
計画横断図(1)



平成	年度	工事
工事番号		第 号
路線名	金 木 庁 舎	
施行所	青森県五所川原市金木町 地内	
計画横断面図	縮尺	1:100
図面番号	葉中	
五 所 川 原 市 役 所		
青 森 県		

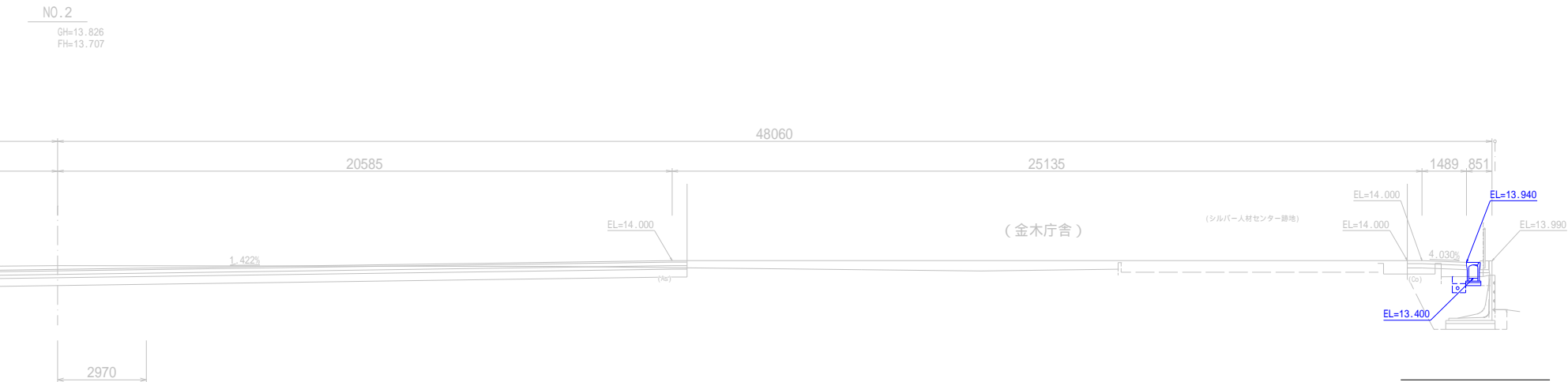
NO.1+10.00～NO.2+12.31(2)

計画横断面図（ 2 ）



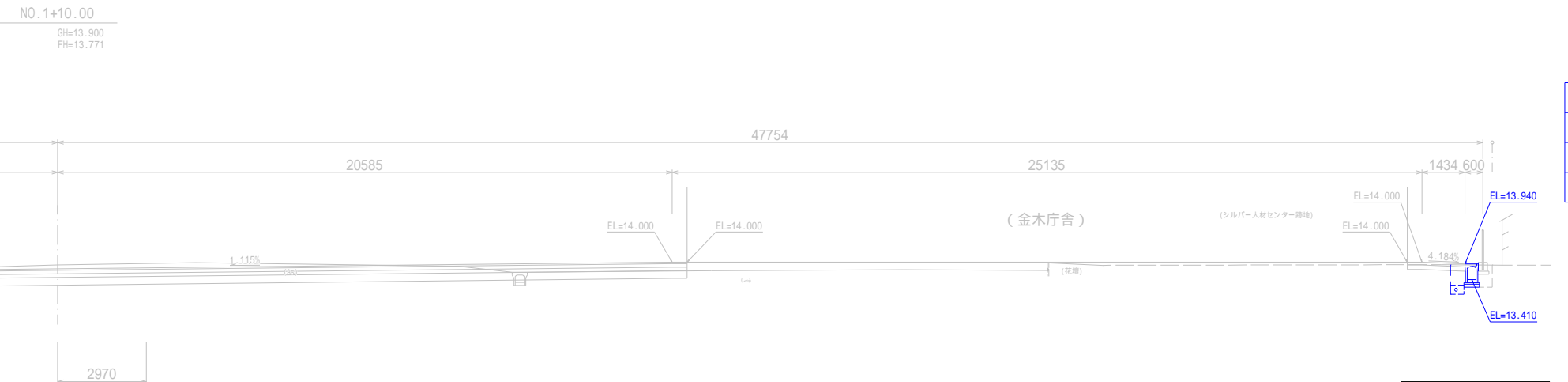
建築工事

CA.1	-
CA.2	-
B A	-
R A	-



建築工事

CA.1	-
CA.2	0.5
RA.1	0.2
RA.2	0.1



建築工事

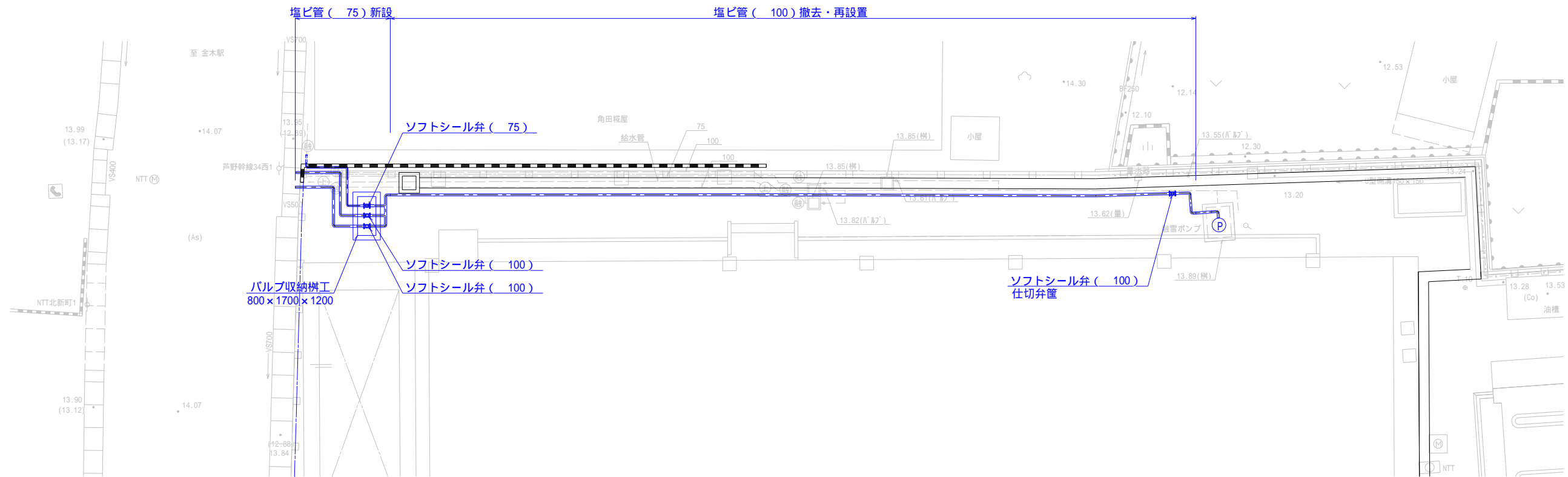
機械掘削	CA.1	-
機械床掘	CA.2	1.1
埋 戻	RA.1	0.7
埋戻(砂)	RA.2	0.1

平成	年度	工事
工事番号	第	号
路線名	金 木 庁 舎	
施行所	青森県五所川原市金木町 地内	
融雪配管詳細図	縮尺	図 示
図面番号	葉中	
五 所 川 原 市 役 所		
青 森 県		

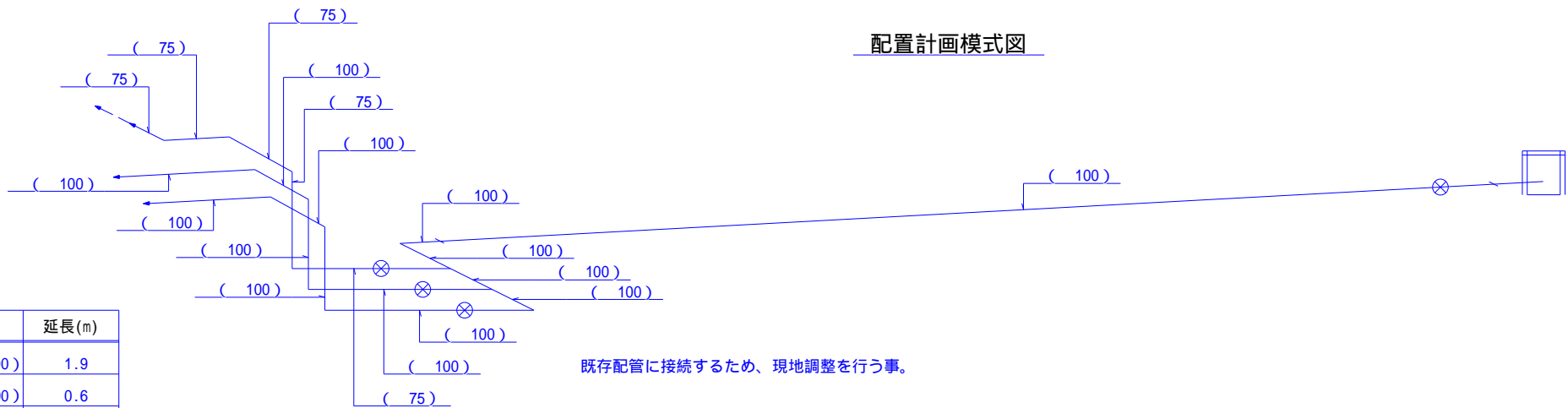
融雪配管詳細図

配置計画平面図

S=1:100

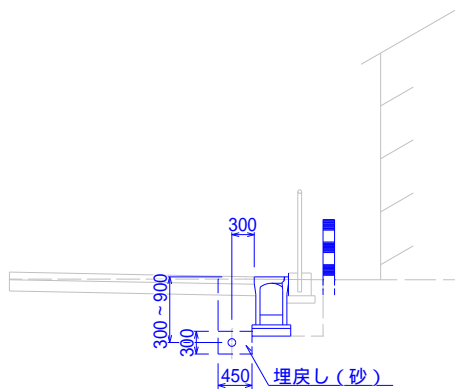


配置計画模式図



標準断面図

S=1:50

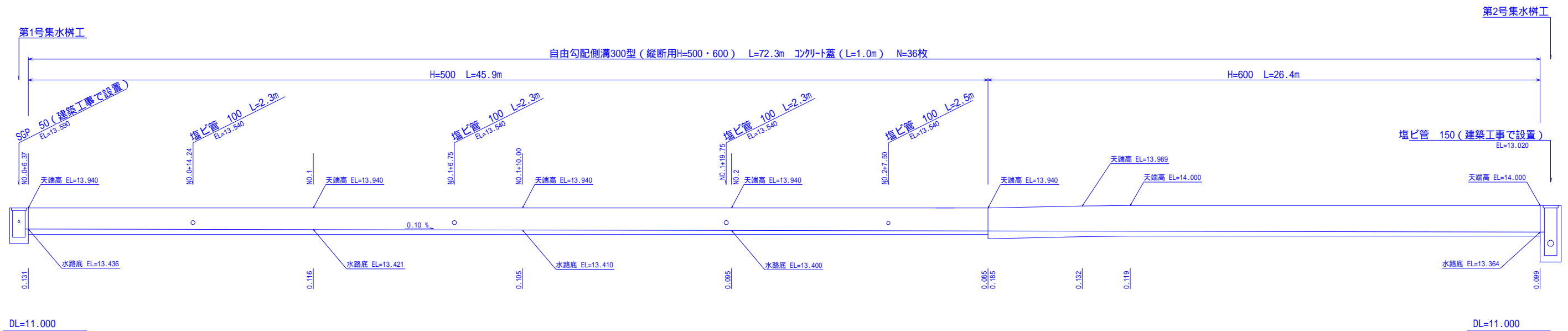


番号	延長(m)	番 号	延長(m)
(100)	36.0	(100)	1.9
(100)	0.2	(100)	0.6
(100)	0.5	(100)	1.9
(100)	0.4	(100)	1.9
(100)	0.6	(100)	2.2
(75)	1.6	(100)	0.6
(75)	0.6	(100)	1.7
(75)	1.7	(100)	1.7
(75)	1.8		
(75)	0.2		

平成	年度	工事
工事番号	第	号
路線名	金木庁舎	
施行所	青森県五所川原市金木町 地内	
自由勾配側溝展開図(1)	縮尺	V=1: 50 H=1:100
図面番号	葉中	
五所川原市役所		
青森県		

自由勾配側溝展開図(1)

水路工.1 NO.0+2.56 ~ NO.2+9.77



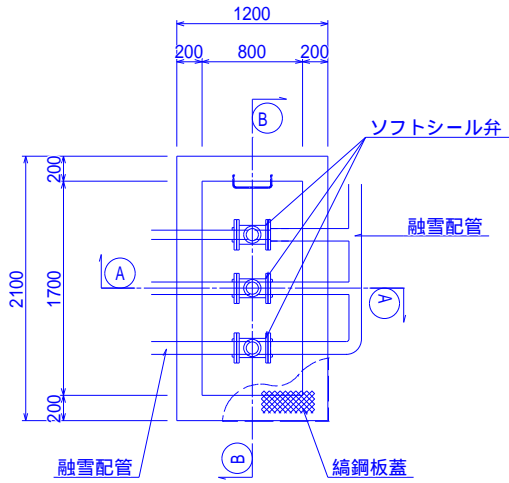
平成	年度	工事
工事番号	第	号
路線名	金 木 庁 舎	
施 行 所	青森県五所川原市金木町 地内	
バルブ収納柵工 詳細図	縮尺	図 示
図面番号	葉中	
五 所 川 原 市 役 所		
青 森 県		

バルブ収納柵工詳細図

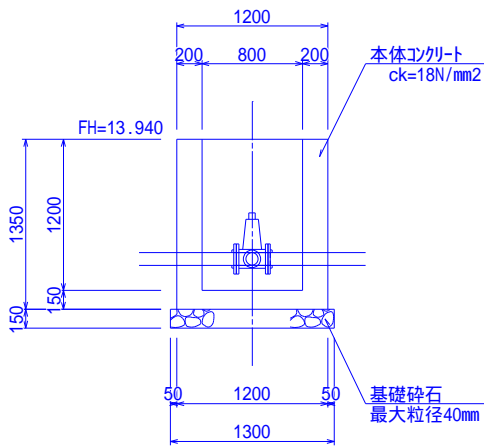
バルブ収納柵工

S=1:30

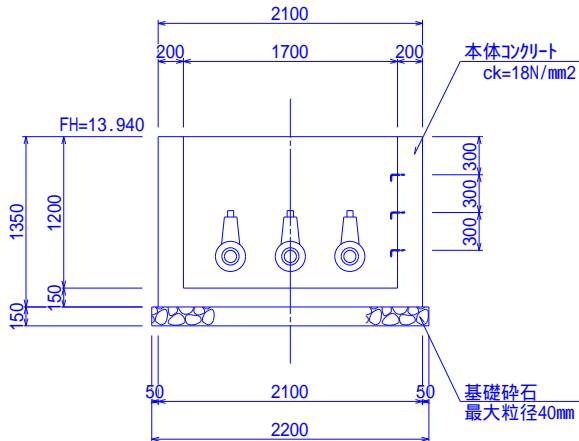
平面図



A-A断面



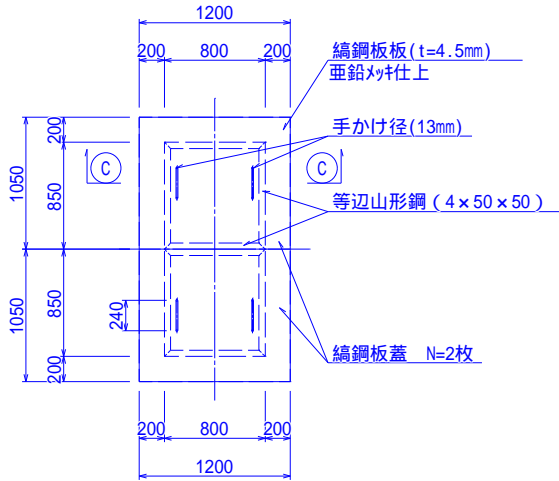
B-B断面



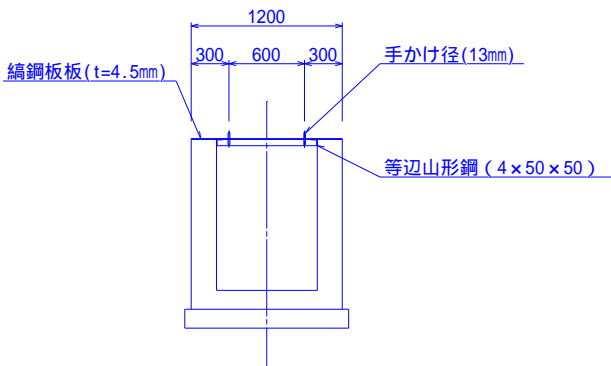
縞鋼板蓋詳細図

S=1:30

平面図

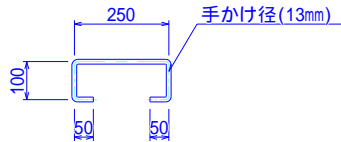


C-C断面



手かけ詳細図

S=1:10



工事名称	金木庁舎新築(建築)工事	NO. G - 09
図面名称	バルブ収納柵工詳細図	

平成	年度	工事
工事番号	第 号	
路線名	金 木 庁 舎	
施行所	青森県五所川原市金木町 地内	
旧体撤去平面図	縮尺	1:200
図面番号	葉中	
五 所 川 原 市 役 所		
青 森 県		

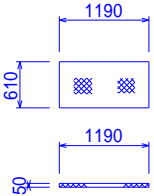
旧体撤去平面図

S=1:200

撤去数量表

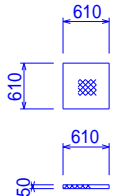
番号	名 称	単 位	合 計
①	ブロック種	m3	2.9
②	樹	m3	0.3
	蓋	m3	0.2
③	編鋼板蓋	m2	0.9
④	編鋼板蓋	m2	0.5

編鋼板蓋
(t=3.2mm)

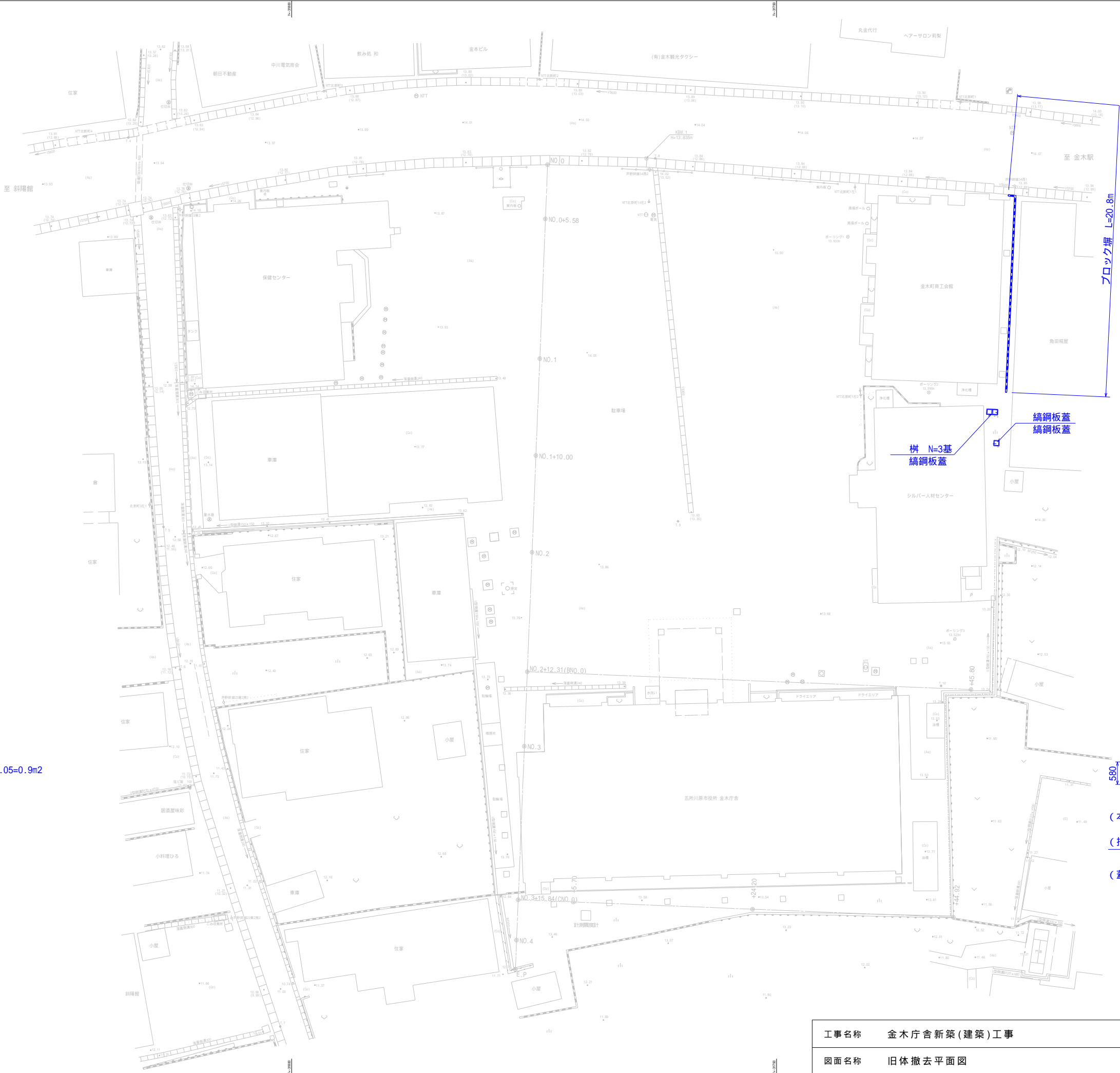


$A=0.61 \times 1.19 + (1.19 \times 2 + 0.61 \times 2) \times 0.05 = 0.9m^2$
 $V=0.9 \times 26.79kg/m^2 = 24.1kg$

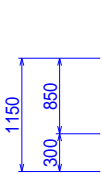
編鋼板蓋



$A=0.61 \times 0.61 + 0.61 \times 4 \times 0.05 = 0.5m^2$
 $V=0.5 \times 26.79kg/m^2 = 11.9kg$



ブロック塀

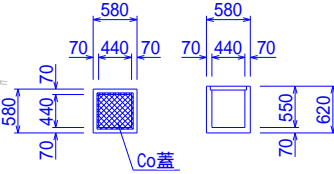


$V=0.12 \times 1.15 \times 20.8 = 2.9m^3$

編鋼板蓋
編鋼板蓋

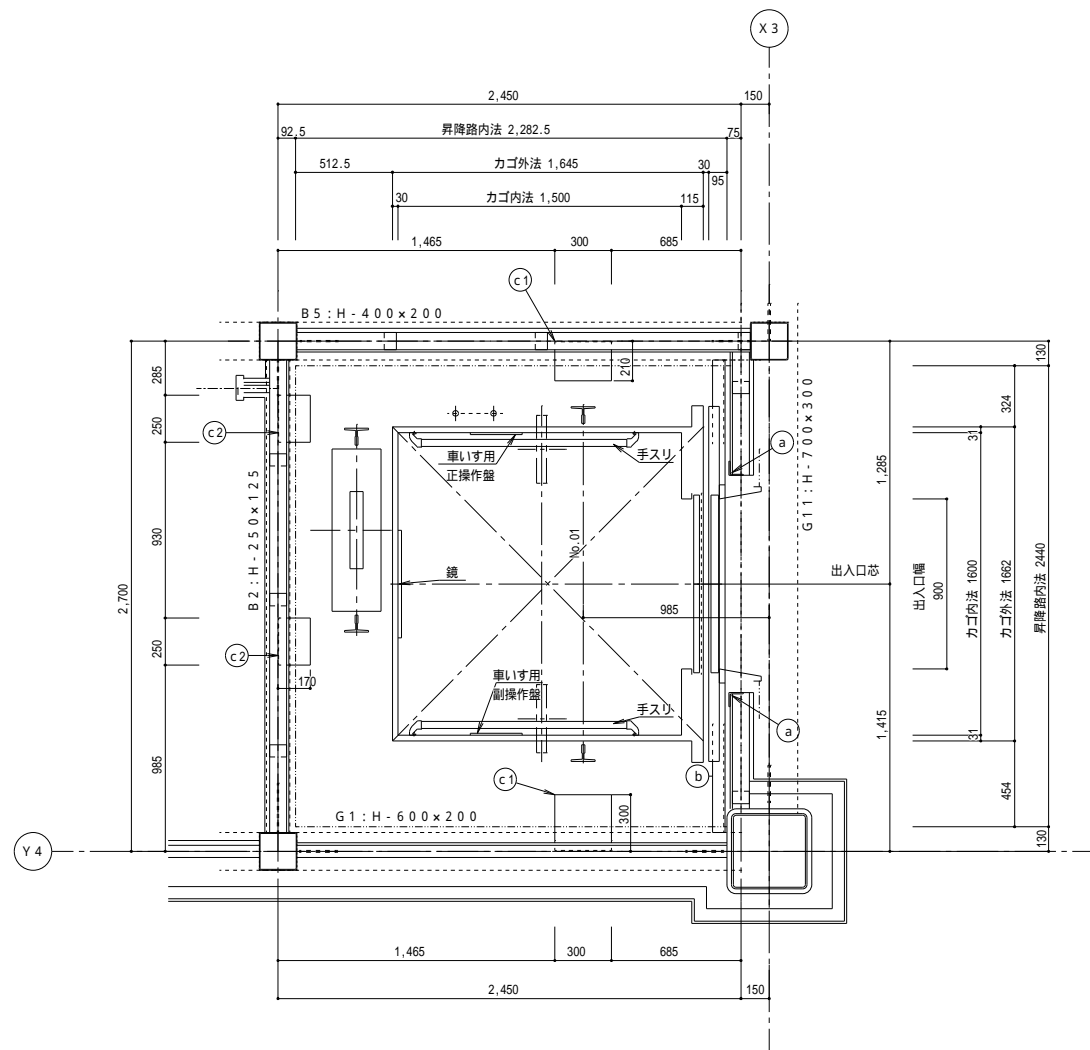
樹 N=3基
編鋼板蓋

樹
樹 N=3基
蓋 N=2枚



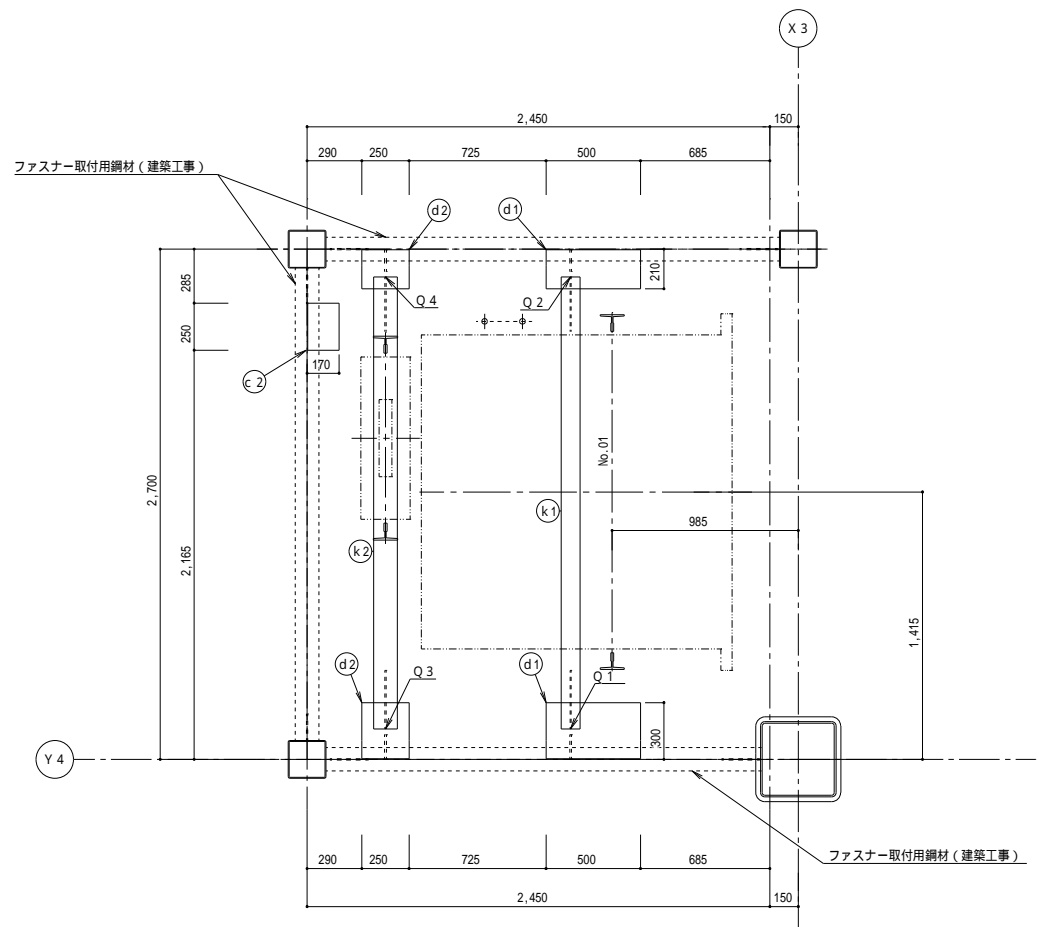
(本体) $V=0.58 \times 0.58 \times 0.62 \times 3 = 0.63m^3$
(控除) $V=0.44 \times 0.44 \times 0.55 \times 3 = 0.32m^3$
0.3m3
(蓋版) $V=0.48 \times 0.48 \times 0.50 \times 2 = 0.23m^3$

工事名称	金木庁舎新築(建築)工事	NO. G - 10
図面名称	旧体撤去平面図	



昇降路平面図 S=1/20
(2 階)

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付材	L - 75 × 75 × 6	建築工事
b	敷居取付材	[- 125 × 65 × 6 × 8	建築工事
c 1	レールブラケット取付用ファスナー	P L - t 1 2	建築工事
c 2	レールブラケット取付用ファスナー	P L - t 1 2	建築工事



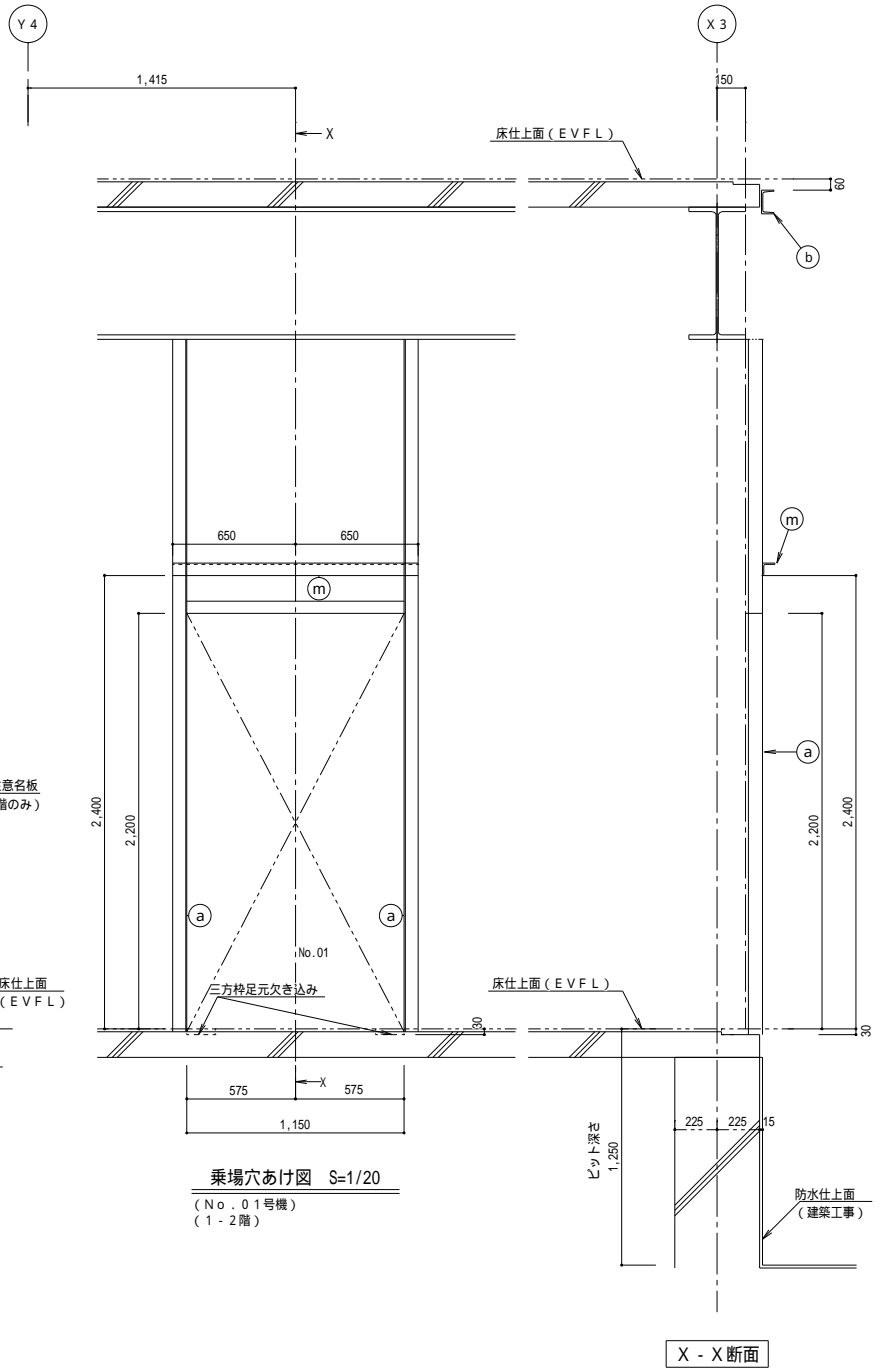
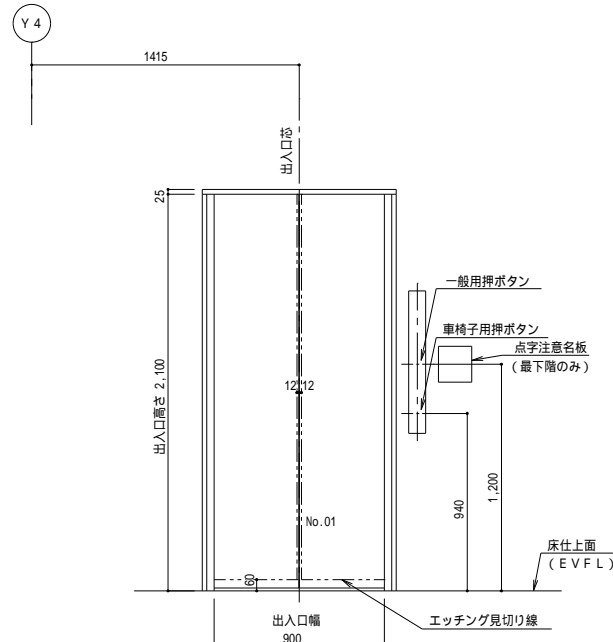
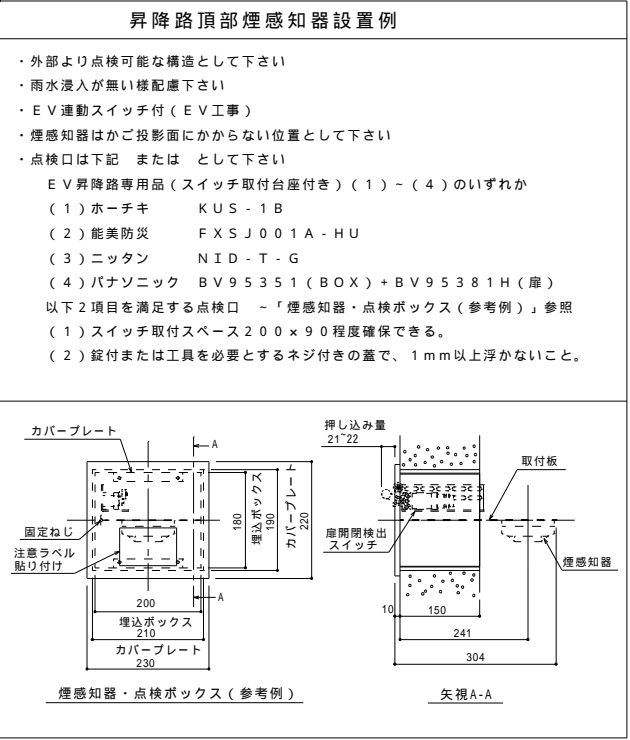
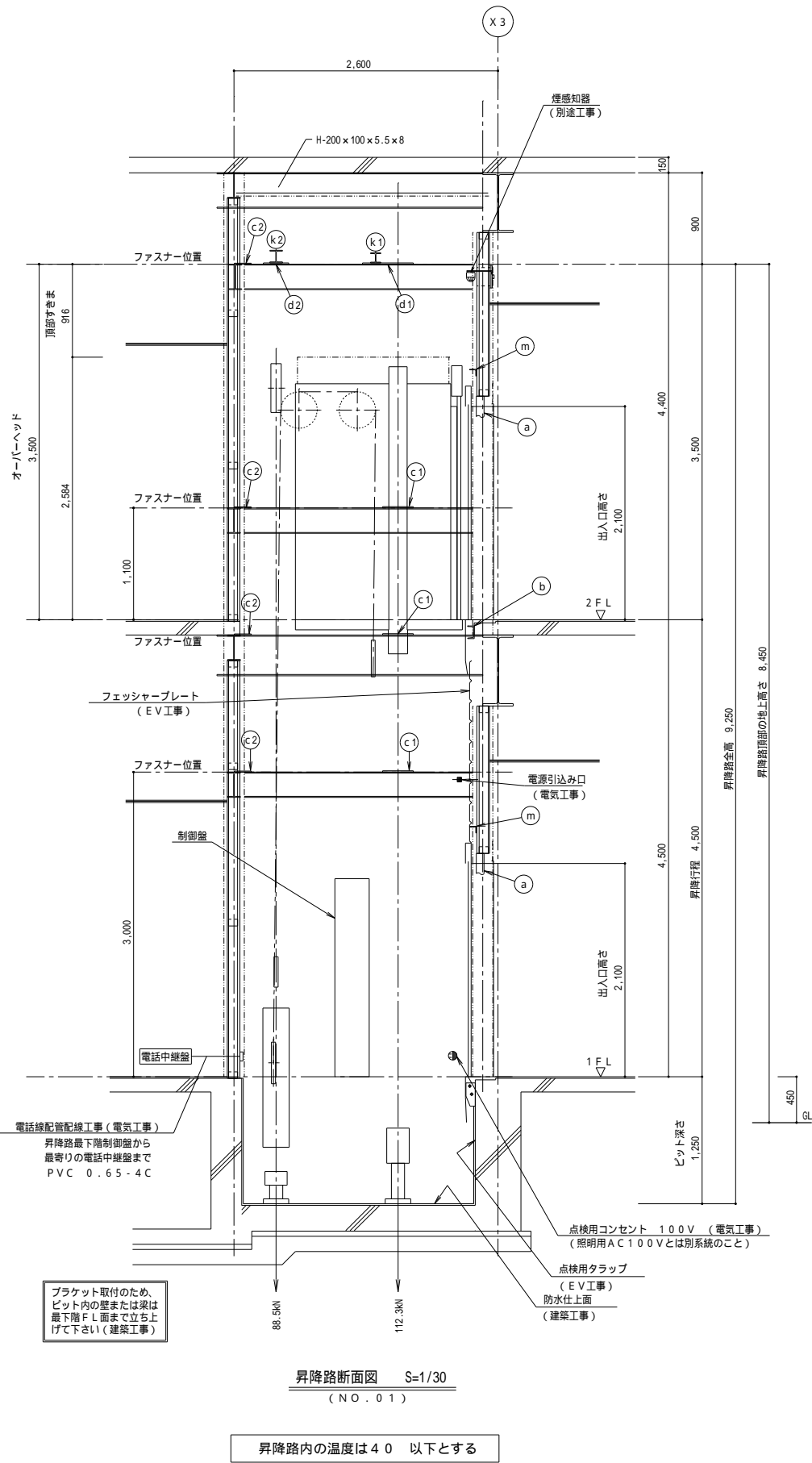
昇降路平面図 S=1/20
(頂 部) 3 階 + 3 5 0 0

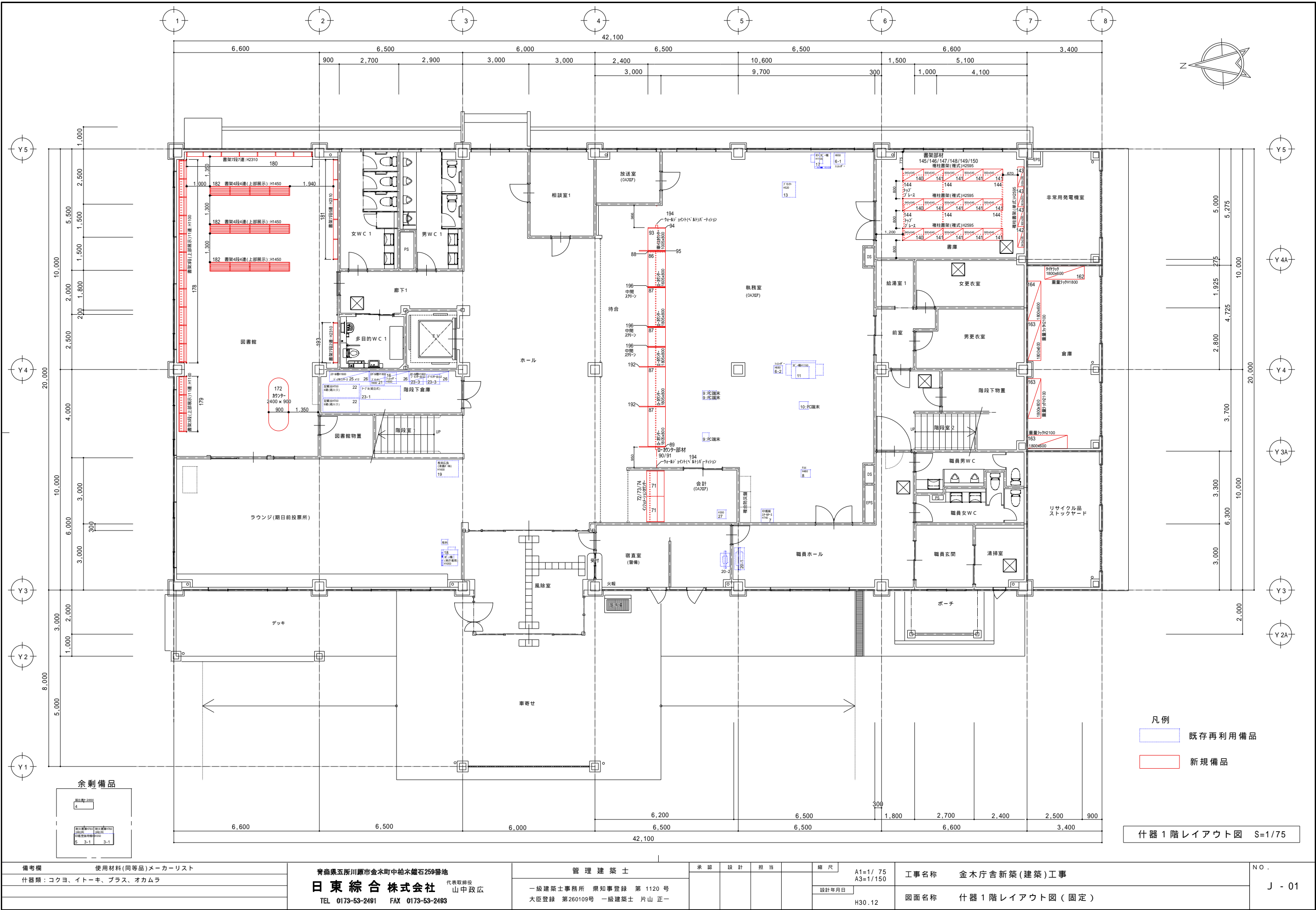
部材 記号	名 称	部 材	工事区分
c 2	レールブラケット取付用ファスナー	P L - t 1 2	建築工事
d 1	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	P L - t 1 2	建築工事
d 2	揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	P L - t 1 2	建築工事
k 1	揚重ビーム	H - 100 × 100 × 6 × 8	E V 工事
k 2	揚重ビーム	H - 125 × 125 × 6 . 5 × 9	E V 工事

最上部ファスナーにかかる荷重 No. 01			
Q 1 (k N)	Q 2 (k N)	Q 3 (k N)	Q 4 (k N)
1 8 . 1	1 7 . 7	3 2 . 3	2 3 . 4

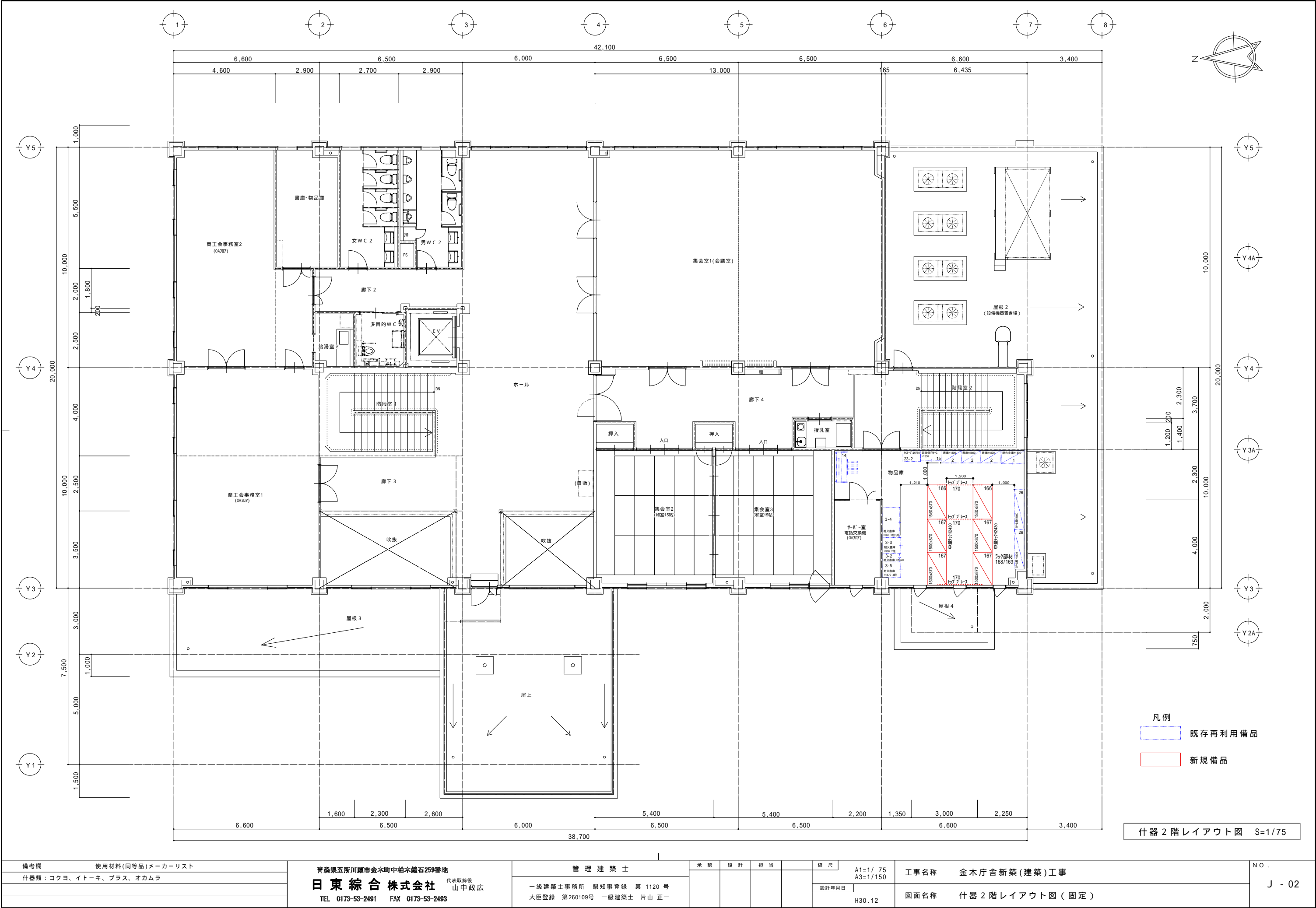
Q 1 ~ Q 4 は E V 据付時に作用する

備考欄	青森県五所川原市金木町中柏木鑑石259番地	管 理 建 築 士	承 認	設 計	担 当	縮 尺	A1=1/20 A3=1/40	工事名称	金木庁舎新築(建築)工事	NO . EV - 02
	日 東 綜 合 株 式 有 限 公 司	一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号				設計年月日				
	代表取締役 山中政広	大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一								
	TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493					H30.12	図面名称	昇降機設備図 - 2		





備考欄		使用材料(同等品)メーカーリスト		青森県五所川原市金木町中柏木鑑石259番地		管 理 建 築 士		承認		設計		担当		縮 尺		A1=1/ 75 A3=1/150		工事名称		金木庁舎新築(建築)工事		NO.	
什器類 : コクヨ、イトーキ、プラス、オカムラ				日 東 綜 合 株 式 会 社		代表取締役 山中政広		一級建築士事務所 県知事登録 第 1120 号								設計年月日		図面名称		什器 1 階レイアウト図 (固定)		J - 01	
				TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493				大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一								H30.12							



備考欄 使用材料(同等品)メーカーリスト 什器類：コクヨ、イトーキ、プラス、オカムラ	青森県五所川原市金木町中柏木鑑石259番地 日東綜合株式会社 TEL 0173-53-2491 FAX 0173-53-2493	管理建築士 一級建築士事務所 県知事登録 第1120号 大臣登録 第260109号 一級建築士 片山 正一	承認 設計 担当	縮尺 A1=1/75 A3=1/150 設計年月日 H30.12	工事名称 金木庁舎新築(建築)工事	NO. J - 02
					図面名称 什器 2 階レイアウト図 (固定)	

